

公益財団法人 豊郷病院 年報

vol.23

2023

(令和5年度版)



公益財団法人 豊郷病院

年報発刊によせて

公益財団法人 豊郷病院
業務執行理事 病院長

難波江 正浩



令和6（2024）年3月より病院長代理として就任、同年4月より病院長・業務執行理事に着任いたしました難波江正浩です。年報発刊にあたりご挨拶させていただきます。

私は昭和37（1962）年大阪府の生まれですが、昭和58（1983）年に滋賀医科大学医学部へ入学して以来永らく滋賀県在住であり勤務した病院の多くは滋賀県内でした。豊郷病院へは平成19（2007）年から令和2（2020）年まで整形外科医として在職しておりちょうどその当時弊院は2012年に財団法人から公益財団法人へと認可変更を受けました。その後一時期県外へ異動となりましたがこの度ご縁あって院長に就任いたしました。病院の運営に関してはまだまだ未熟者ですが代表理事をはじめ法人役員の方々と協力して職務を全うする所存です。

本年報は令和5（2023）年度の当法人全体の活動実績をまとめたものです。2023年度に起きた大きな波の一つは5月8日のCOVID-19の第5類感染症への分類移行ともう一つは年明け1月1日の最大震度7の能登半島地震ではないでしょうか。新型コロナが国策により2類相当感染症であった頃には医療界は大きなダメージを受けたと同時に国からの補助金による経営収支への補填という多少の恩恵もありました。5類への移行後も現場ではまだまだクラスタの発生も見られ2類であった時とほとんど変わらない負担を強いられ一方で補助は打ち切られて苦難が続く上に看護職員の離職という大きな合併症も残りました。このような逆風にも関わらず地域医療に貢献すべく法人の機能を維持し存続できたのは、地域住民の皆様や全職員各々の理解と協力の賜物であると感謝しています。

新年が平穏な年であることを願いつつ迎えた元日の午後、突然に緊急速報が飛び込んできました。直近でも福島や熊本、大阪府北部など大きな地震を度々経験している日本ですが今回は元日にそれが起こりました。神様が私たちに与えた重大な警告ととらえねばならないと思いました。弊院からも滋賀県看護協会からの要請を受けて災害支援ナースが被災地である石川県へ出向してくれました。改めて一人一人が日頃から災害に備え、法人としてもますます防災の意識を高めてゆかねばならないと再確認したところです。

2022年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻に端を発したエネルギー価格、物価の高騰さらには歯止めの効かない円安は我々医療介護業界の運営をも圧迫します。この厳しい状況の中で当法人は来年100周年を迎えようとしています。「豊かな郷で心と体の健康を 家族のように」の基本理念のもと、「より良い法人にするために」の原点運動に「フレッシュ100 トヨサト」としたテーマを掲げて活動指針とし法人職員一丸となって更なる発展を目指して歩んで参りますので引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます

2024（令和6）年6月

目 次

年報発刊によせて…………… 業務執行理事・病院長 難波江 正浩

公益財団法人 豊郷病院 基本理念

□ 法人の部

1 法人沿革……………	1
2 法人概要……………	3
3 施設認定・施設指定……………	4
4 施設基準……………	5
5 法人組織図……………	7
6 病院組織図……………	8
7 法人病院会議・委員会組織図……………	9
8 介護施設組織図……………	10
9 病院概要図……………	11
10 法人役員名簿……………	12
11 法人管理者組織名簿……………	13
12 法人部門別職員数……………	14
13 法人活動内容……………	15
14 公益財団法人 豊郷病院長期事業計画・中期計画……………	17
15 2024年度 経営方針……………	19
16 地域交流TQM活動……………	20
17 人権教育研修……………	21

I 医療事業の部

〈診療部門〉医師理念

1 診療部事業経過……………	23
2 各科の事業・業績報告……………	24
循環器内科……………	24
呼吸器内科・呼吸器外科……………	24
消化器内科……………	25
内科（糖尿病）……………	26
外科・消化器外科……………	26
泌尿器科……………	26
整形外科……………	27
脳神経外科……………	27
眼 科……………	28
耳鼻咽喉科……………	29
小児科……………	30
皮膚科……………	30
婦人科……………	30
脳神経内科……………	30
精神科……………	31
歯科口腔外科……………	32
麻酔科……………	33
リハビリテーション科……………	34
放射線科……………	36
機能別病棟……………	40
臨床検査科……………	41
医療安全室……………	43
感染管理室……………	44
血液浄化センター……………	45
内視鏡センター……………	46
健診センター……………	47
認知症疾患医療センター……………	47
回復期リハビリテーションセンター……………	48
在宅療養サポートセンター(とよサポ)……………	49
3 愛知・犬上医師連絡会……………	50
4 公開セミナー・出前講座・健康フェスティバル……………	51
5 全職員研修会……………	52

6	災害総合避難訓練	53
7	ボランティア活動	53
8	院内（外）地域交流活動	54
9	実習生受入状況	55
10	受賞・表彰関係	58
11	各種委員会報告	59

〈薬剤部門・医療技術部門〉薬剤部理念

1	薬剤部事業報告	73
2	医療技術部事業報告	74
	栄養科	74
	放射線科	76
	臨床検査科	76
	臨床工学科	76

〈看護部門〉看護部理念

1	看護部組織系統図	79
2	看護部運営委員会組織図	80
3	看護サービス提供組織図	81
4	看護部 単位別目標及び評価	82
5	各種委員会	94
6	看護教育委員会事業報告書	99
7	看護院内研究発表会	101

〈地域連携室部門・医療福祉相談室部門〉医療福祉相談室理念

1	地域連携室事業報告	105
2	医療福祉相談室事業報告	108

〈事務部門・診療情報管理室部門・各種統計資料〉事務部理念

1	事務部・診療情報管理室事業報告	113
2	各種統計資料	117

II 介護事業の部 きらら・ゆうゆう 経営理念 けやき・らくらく

1	介護事業・各事業所業績	137
2	介護事業・各事業所別事業報告	138
	訪問リハビリテーション・アイルとよさと	138
	訪問看護ステーション・レインボウとよさと・サテライトはたしょう・ひこね	139
	介護老人保健施設・パストラールとよさと	143
	居宅介護支援センター・マックスとよさと・ひこね	148
	彦根市デイサービスセンター きらら	150
	彦根市グループホーム ゆうゆう	153
	彦根市地域包括支援センター きらら	154
	甲良町デイサービスセンター けやき	157
	甲良町グループホーム らくらく	159
	認知症初期支援チーム オレンジファイブ	160

III 教育研究事業の部

	臨床精神医学研究所報告	163
--	-------------	-----

基本理念

豊かな郷で心と体の健康を 家族のように

1. 郷土愛と博愛の創立精神に基づき、地域の医療・保健・福祉を支える。
2. 医学の進歩に同調し、わかりやすく信頼される医療を行う。
3. 温もりと心をこめたサービスで、快適な療養環境を築く。
4. 患者さまの権利を尊重し人権をまもる。
5. 職員の労働環境に配慮し、効率よい安定した病院経営を行う。



公益財団法人 豊郷病院



法人の部

2023（令和5）年度世界経済はやっとコロナ禍からの脱却が見えてきた一方、世界の紛争の長期化で欧州の停滞や中国経済の低迷と他方米国経済は金融引き締めにもかかわらず、堅調に推移しております。我が国においても、コロナから脱却しゆるやかな回復基調をとり戻しましたが一方、好調な企業業績は賃金には徐々に浸透してきたがまだ投資に結びつかず、内需は物価高もあって力強さが感じられない状況です。

令和5年6月より第11代代表理事に川上賢三先生が就任しました。

さて、医療事業では、過去3年間コロナで低迷した業績が2023年も再び続き、5類へ移行したものの病院の3-2、3-6、5-2病棟で又老健でもクラスターの発生があり、引き続いて厳しい運営となり加えて看護師の退職も加わり大きな影響を受けました。そのことから1-3病棟のコロナ病棟を国の方針通り廃止しましたが、看護師不足から元の認知症病棟に戻すことが困難となりやむを得ず休止としました。尚、看護師不足については、採用担当を増員して学校訪問、見学会、職場体験等の定期的受入と従来のハローワーク、ホームページだけでなく、ネット業界など今迄と違ったやり方で積極的に動き又、職員が退職しない施策や職場環境作りと質の向上にも努めております。

また、例年通りであれば12月～3月迄の年後半の冬場に上期の落ち込みが回復出来るところ本年はこの時期暖冬の影響か苦戦を致しました。その結果、コロナ感染症の長期に亘る影響から前年比外来△10%、入院△4%となりました。その上、コロナ病棟確保補助金も大幅な減額となり又1-3病棟の休止等も相まって落ち込みました。

一方、介護事業につきましては老健施設でクラスターの発生がありましたが、職員が一致協力し目的に向かって努力した結果、類型のうち「超強化型」に移行することが出来ました。その結果、前期に比べ収益の向上が計れ次年度にも引き続いていきます。

1 法人沿革

大正14年(1925)	4月27日	内務大臣の許可を得て、九代目伊藤長兵衛翁(1868～1941)の寄付により、財団法人 豊郷病院設立
15年(1926)	7月6日	本館竣工 病床18床、内科・外科・耳鼻咽喉科・X線科開設
昭和9年(1934)	10月5日	産婦人科新設
16年(1941)	11月19日	高松宮殿下 御成
	12月10日	創立者 伊藤長兵衛翁逝去
17年(1942)	3月1日	眼科新設
27年(1952)	2月20日	呼吸器科新設 病床80床となるように
	12月1日	整形外科新設
	12月19日	豊郷村外11ヶ町村伝染病院組合立の伝染病床併設
28年(1953)	4月1日	歯科新設
29年(1954)	1月29日	准看護婦養成所開設
32年(1957)	4月1日	精神科・神経科新設 許可病床290床となる
33年(1958)	10月1日	総合病院の指定
40年(1965)	5月31日	診療棟、病舎、鉄筋コンクリート3階建てに改築 許可病床372床となる
42年(1967)	3月1日	救急病院の指定
	8月30日	精神科病棟3階建増築
45年(1970)	3月1日	医療相談室開設
46年(1971)	11月30日	病棟、外来診療棟、リハビリ及び管理棟増築
47年(1972)	2月1日	血液センター豊郷出張所開設
	11月1日	脳神経外科新設
50年(1975)	5月20日	豊郷町外7ヶ市町伝染病組合立の伝染病棟改築15床
60年(1985)	11月20日	病院創立60周年(60年史刊行)
62年(1987)	7月1日	肛門科新設
	7月6日	泌尿器科新設
63年(1988)	11月1日	財団法人豊郷病院総合近代化工事着工
平成2年(1990)	7月1日	一般病棟30床増床 総394床
3年(1991)	8月1日	准看護婦養成所から准看護学院に変更
7年(1995)	6月1日	認知症疾患医療センターならびに認知症外来開設
8年(1996)	3月25日	第7代理事長 成宮秀男就任
	6月1日	老人保健施設パストラルとよさと開設(法人70周年記念事業)
9年(1997)	12月5日	訪問看護ステーションレインボウとよさと開設 第7代理事・病院長 友吉唯夫就任
11年(1999)	4月1日	皮膚科新設
	11月1日	医療相談室から医療福祉相談室に名称変更
	12月1日	訪問看護ステーションレインボウはたしょう開設
12年(2000)	4月1日	介護保険制度発足 寄付行為の目的を「医療事業と介護事業」に改定 同時に各サービス事業開設 居宅介護支援センターマックスとよさと開設 ヘルパーステーションピンポンとよさと開設
	7月1日	精神科 デイケア開始、第8代理事・病院長 佐藤公彦就任
	10月1日	小児科新設
13年(2001)	5月1日	訪問リハビリテーションアイルとよさと開設

- 14年(2002) 2月12日 彦根市デイサービスセンターきらら、グループホームゆうゆう、在宅介護支援センター開設
10月 1日 近代化建築事業・3病棟新館開所
- 15年(2003) 3月10日 甲良町デイサービスセンターけやき、グループホームらくらく開設
4月 1日 療養病棟開設 32床
7月 1日 血液浄化センター開設 18床、地域連携室開設
- 16年(2004) 8月 1日 訪問看護ステーション レインボウとよさと サテライトひこね開設
居宅介護支援センター レインボウひこね開設
9月 1日 歯科口腔外科新設
12月 8日 診療情報管理室設置
- 17年(2005) 11月 1日 訪問看護ステーション レインボウひこね開設
12月 2日 言語療法室開設
- 18年(2006) 9月25日 日本医療機能評価認定 (ver4)
- 20年(2008) 1月 1日 医療安全室開設
4月 1日 麻酔科開設
8月 1日 亜急性期病床開設
- 22年(2010) 4月 1日 豊郷病院附属臨床精神医学研究所設立
5月 1日 精神療養病棟開設
- 23年(2011) 3月31日 事業目的を「医療事業・介護事業・教育研究事業」に改定
9月25日 日本医療機能評価認定 (ver6)、第10代 理事・病院長 蔦本尚慶就任(4月)
- 24年(2012) 4月 1日 公益財団法人豊郷病院認可・彦根市地域包括支援センターきらら開設
5月 1日 回復期リハビリテーション病棟開所(30床)
7月 1日 第8代 代表理事 佐藤公彦就任
- 25年(2013) 10月 1日 居宅介護支援センター マックスひこね開設
- 26年(2014) 3月 1日 びわこメディカルネットワーク事業参入
9月 1日 一般病棟のうち地域包括ケア病棟(51床)承認開設
11月28日 第9代 代表理事 友吉唯夫就任
- 27年(2015) 12月10日 創立90周年式典・創業者75回忌法要
- 28年(2016) 3月19日 地域交流第1回 TQM 発表会
4月 1日 認知症初期集中支援チーム“オレンジファイブ”及び在宅療養サポートセンター“とよサポ”発足
- 29年(2017) 2月25日 地域交流第2回 TQM 発表会
3月 3日 日本医療機能評価機構認定3回目(3rdG:ver.1.1.)
5月 1日 電子診療録(電子カルテ)導入
- 30年(2018) 5月24日 地域交流第3回 TQM 発表会
6月22日 第10代 代表理事 佐藤公彦就任
8月 1日 第10代 理事・病院長 横田徹就任
- 31年(2019) 3月19日 地域交流第4回 TQM 発表会
- 令和元年(2019) 5月 1日 新元号「令和」
7月 1日 療養病棟(32床)を地域包括ケア病棟へ
- 2年(2020) 2月20日 地域交流第5回 TQM 発表会
4月 7日 「新型コロナ緊急事態宣言」
- 4年(2022) 9月28日 COVID-19病棟整備(1-3病棟9床転換)
11月 4日 日本医療機能評価認定4回目
- 5年(2023) 6月23日 第11代 代表理事 川上賢三就任
- 4年(2022) 3月13日 第6回 TQM 発表会
4月 1日 第11代 理事・病院長 難波江正浩就任

2 法人概要

〈法人の事業目的〉

1. 医療事業 2. 介護事業 3. 教育研究事業

医療事業

日本医療機能評価機構認定病院 4回目認定 (2022.11.4)

〈病床数〉

一般病棟	186床	(内 一般病床、地域包括ケア病床51床、回復期リハビリテーション病床30床)
療養病棟	32床	(地域包括ケア病床・初期認知症対応型)
精神病棟	120床	(精神科急性期治療病床60床、精神療養病床60床)
計	338床	

〈診療科目〉

内科・外科・消化器外科・整形外科・消化器内科	認知症疾患医療センター オアシス
呼吸器内科・呼吸器外科・循環器内科	内視鏡センター
脳神経外科・眼科・泌尿器科	血液浄化センター
耳鼻咽喉科・歯科・歯科口腔外科	健診センター
小児科・婦人科・皮膚科	在宅療養サポートセンターとよさば
精神科・心療内科・脳神経内科	
リハビリテーション科・放射線科	

介護事業

〈施設指定・事業所及び利用定員〉

- 豊郷病院/居宅療養管理指導 …………… 在宅
- 訪問看護ステーション レインボウとよさと …………… 在宅
- 訪問看護サテライト レインボウはたしょう …………… 在宅
- 訪問看護ステーション レインボウひこね …………… 在宅
- 訪問リハビリテーション アイルとよさと …………… 在宅
- 介護老人保健施設 パストラールとよさと …………… 入所100床
- 短期入所療養介護 パストラールとよさと …………… (内4床)
- 通所リハビリテーション パストラールとよさと …………… 定員20人/日
- 彦根市デイサービスセンター きらら …………… 定員40人/日
- 彦根市グループホーム ゆうゆう …………… 利用者9床
- 彦根市地域包括支援センター きらら …………… 支援センター (要支援)
- 甲良町デイサービスセンター けやき …………… 定員25人/日
- 甲良町グループホーム らくらく …………… 利用者9床
- 居宅介護支援センター マックスとよさと …………… 支援センター (要介護)
- 居宅介護支援センター マックスひこね …………… 支援センター (要介護)
- 認知症初期集中支援チーム オレンジファイブ …………… 在宅

教育研究事業

臨床精神医学研究所
准看護学院…2022 (令和4) 年4月～休校

(2024年4月現在)

3 施設認定・施設指定

施設認定

日本医療機能評価機構認定病院
日本呼吸器科学会認定施設
日本外科学会専門医制度修練施設（関連施設）
日本泌尿器科学会専門医関連教育施設
日本整形外科学会専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
日本静脈経腸栄養学会・NST稼働認定施設
日本手外科学会手外科専門医制度研修施設

施設指定

保険医療機関
労災保険指定医療機関
生活保護法指定医療機関
結核指定医療機関
原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱医療機関
救急告示病院
精神保護及び精神障害者福祉に関する法律に基づく指定病院
認知症疾患医療センター
指定自立支援医療機関（更生医療）
指定自立支援医療機関（育成医療）
指定自立支援医療機関（精神通院医療）
難病医療費助成指定医療機関
小児慢性特定疾病医療費助成指定医療機関
臨床研修病院（協力型臨床研修病院）

その他

滋賀医科大学学外臨床実習協力病院
滋賀医療技術専門学校実習病院
滋賀医科大学医学部附属病院呼吸器外科専門医関連施設

(2024年4月現在)

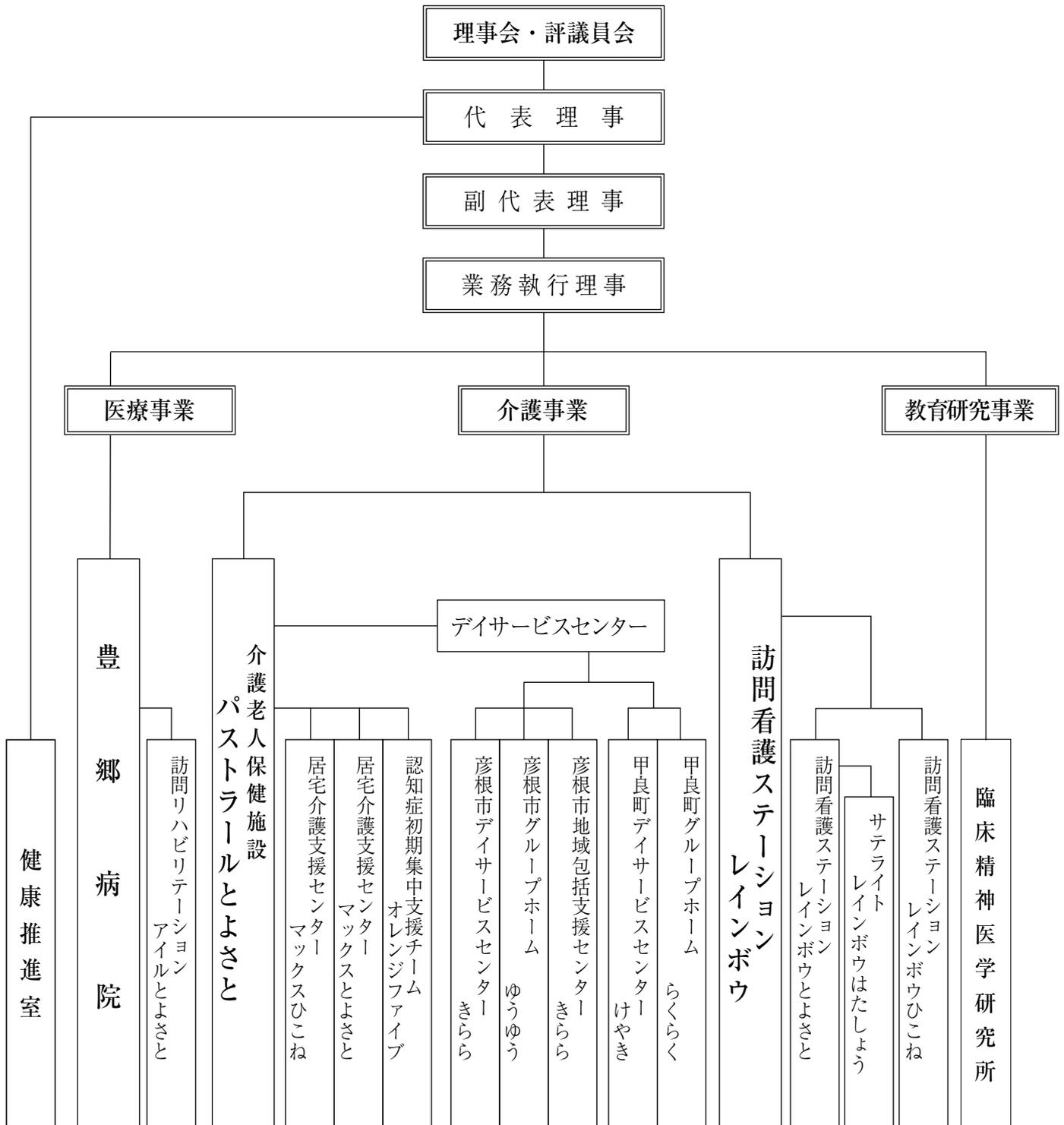
4 施設基準

受理届出名称	受 理 記 号	受 理 番 号	算 定 開 始 年 月 日
初診料（歯科）の注1に掲げる基準	歯 初 診	第 1 5 号	平成30年 4 月 1 日
歯科外来診療環境体制加算 1	外 来 環 1	第 2 3 3 号	平成30年 5 月 1 日
一般病棟入院基本料	一 般 入 院	第 7 9 5 号	令和 4 年10月 1 日
救急医療管理加算	救 急 医 療	第 3 号	令和 2 年 4 月 1 日
診療録管理体制加算 1	診 療 録 1	第 1 号	平成26年 4 月 1 日
医師事務作業補助体制加算 1	事 補 1	第 1 0 号	令和 2 年 4 月 1 日
急性期看護補助体制加算	急 性 看 補	第 1 1 号	令和 4 年10月 1 日
看護補助加算	看 補	第 7 5 4 号	平成22年 5 月 1 日
療養環境加算	療	第 9 3 号	平成26年 9 月 1 日
重症者等療養環境特別加算	重	第 7 4 号	平成14年10月 1 日
精神科身体合併症管理加算	精合併加算	第 7 号	平成20年 4 月 1 日
栄養サポートチーム加算	栄 養 チ	第 2 6 号	平成31年 1 月 1 日
医療安全対策加算 1	医 療 安 全 1	第 1 7 号	平成30年 4 月 1 日
感染対策向上加算 3	感 染 対 策 3	第 1 1 号	令和 4 年 4 月 1 日
患者サポート体制充実加算	患 サ ポ	第 1 1 号	平成24年 4 月 1 日
精神科救急搬送患者地域連携受入加算	精救急受入	第 2 号	平成24年 6 月 1 日
後発医薬品使用体制加算 1	後 発 使 1	第 4 8 号	令和 4 年 4 月 1 日
データ提出加算	デ ー タ 提	第 2 3 号	平成31年 4 月 1 日
入退院支援加算	入 退 支	第 2 1 号	令和 4 年 9 月 1 日
認知症ケア加算	認 ケ ア	第 3 9 号	平成31年 3 月 1 日
せん妄ハイリスク患者ケア加算	せん妄ケア	第 2 号	令和 2 年 4 月 1 日
精神疾患診療体制加算	精 疾 診	第 1 号	平成28年 4 月 1 日
回復期リハビリテーション病棟入院料 2	回 2	第 1 6 号	令和 4 年10月 1 日
地域包括ケア病棟入院料 2 及び地域包括ケア入院医療管理料 2	地包ケア 2	第 4 号	令和 5 年 4 月 1 日
精神科急性期治療病棟入院料 2	精 急 2	第 2 号	平成30年 1 月 1 日
精神療養病棟入院料	精 療	第 2 1 号	平成26年 4 月 1 日
看護職員処遇改善評価料 3 7	看処遇 3 7	第 1 号	令和 4 年10月 1 日
入院時食事療養／生活療養（I）	食	第 2 7 8 号	平成 2 年 7 月 1 日
糖尿病合併症管理料	糖 管	第 3 0 号	平成25年11月 1 日
がん性疼痛緩和指導管理料	が ん 疼	第 8 5 号	平成29年 8 月 1 日
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算	救 搬 看 体	第 1 号	平成30年 4 月 1 日
外来腫瘍化学療法診療料 1	外 化 診 1	第 2 号	令和 4 年 4 月 1 日
連携充実加算	外 化 連	第 1 5 号	令和 4 年 4 月 1 日
ニコチン依存症管理料	ニ コ	第 2 4 8 号	令和 2 年 7 月 1 日
がん治療連携指導料	が ん 指	第 4 5 0 号	平成28年 6 月 1 日

こころの連携指導料(Ⅱ)	こ連指Ⅱ	第4号	令和4年4月1日
薬剤管理指導料	薬	第22号	平成22年5月1日
医療機器安全管理料1	機安1	第4号	平成20年4月1日
歯科治療時医療管理料	医管	第65号	平成28年11月1日
在宅療養後方支援病院	在後病	第7号	令和4年12月1日
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算	遠隔持陽	第39号	令和3年1月1日
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	持血測1	第8号	平成27年9月1日
検体検査管理加算(Ⅰ)	検Ⅰ	第53号	平成20年4月1日
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	歩行	第15号	平成25年3月1日
コンタクトレンズ検査料1	コン1	第140号	平成28年4月1日
小児食物アレルギー負荷検査	小検	第21号	平成23年5月1日
CT撮影及びMRI撮影	C・M	第109号	平成27年4月1日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	抗悪処方	第10号	平成22年4月1日
外来化学療法加算1	外化1	第40号	平成24年9月1日
無菌製剤処理料	菌	第31号	平成20年4月1日
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	心Ⅰ	第23号	令和3年10月1日
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	脳Ⅰ	第28号	平成24年4月1日
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	運Ⅰ	第26号	平成24年4月1日
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	呼Ⅰ	第9号	平成24年4月1日
がん患者リハビリテーション料	がんリハ	第22号	平成29年8月1日
認知療法・認知行動療法1	認1	第9号	令和2年10月1日
精神科作業療法	精	第8号	平成13年8月1日
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	抗治療	第6号	平成29年8月1日
人工腎臓	人工腎臓	第1号	平成30年4月1日
導入期加算1	導入1	第1号	平成30年4月1日
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	透析水	第23号	平成25年12月1日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	肢梢	第16号	平成28年4月1日
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	歯CAD	第621号	令和5年6月1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	ペ	第26号	平成10年5月1日
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	腎	第27号	平成26年11月1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	胃瘻造	第8号	平成26年4月1日
クラウン・ブリッジ維持管理料	補管	第491号	平成12年4月1日
酸素の購入単価	酸単	第4900号	令和5年4月1日

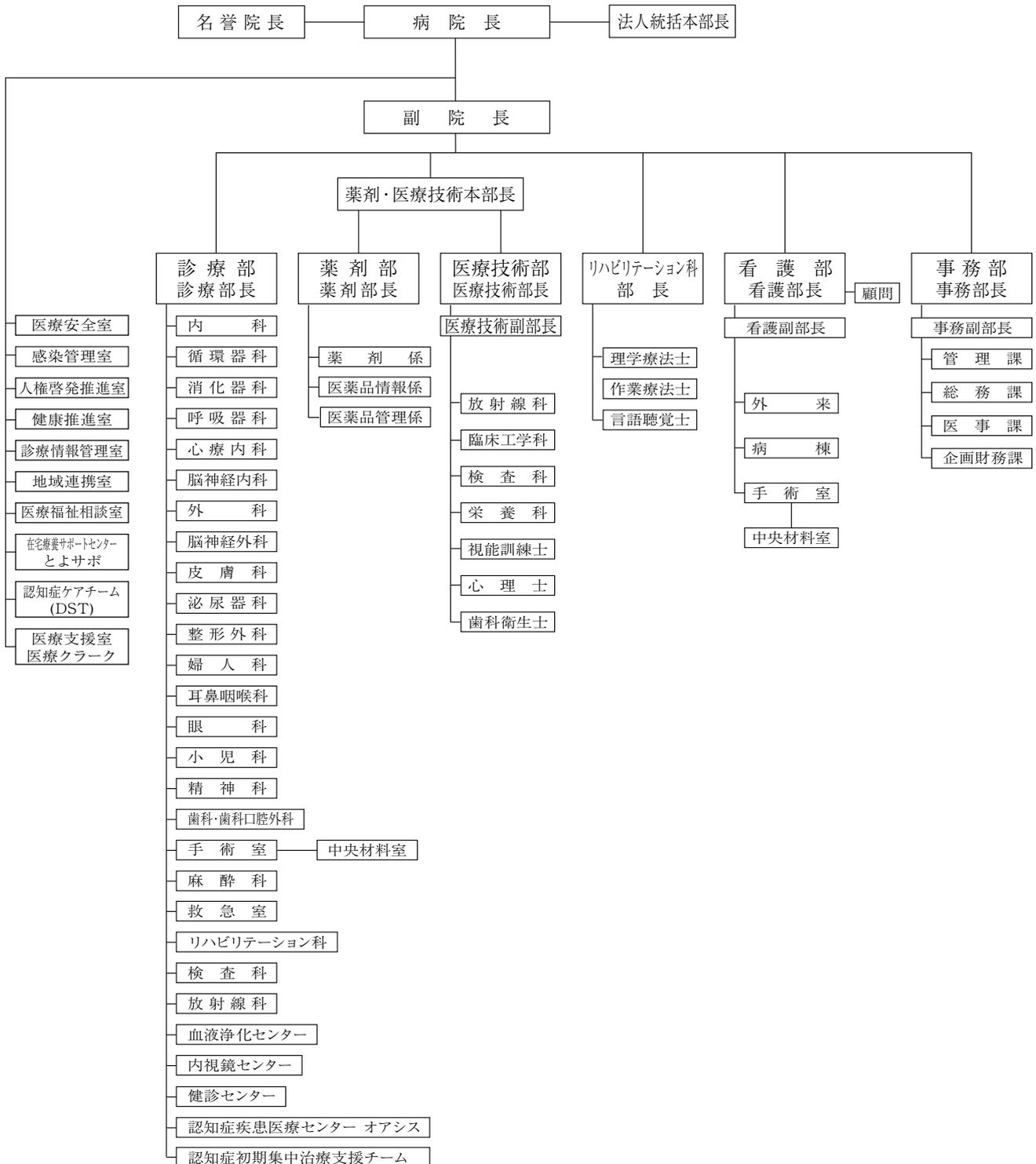
(2024年4月現在)

5 法人組織図



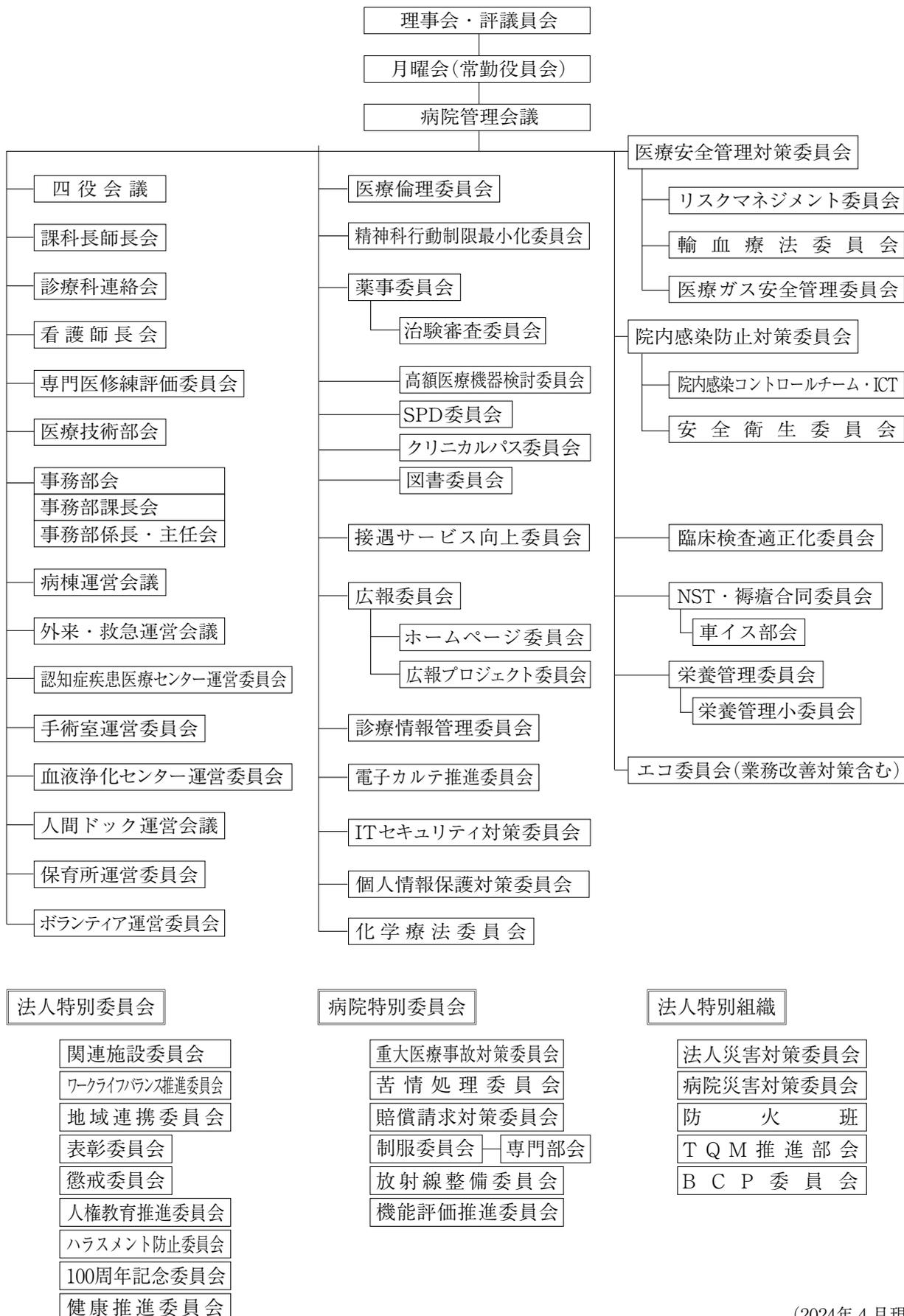
(2024年4月現在)

6 病院組織図



(2024年4月現在)

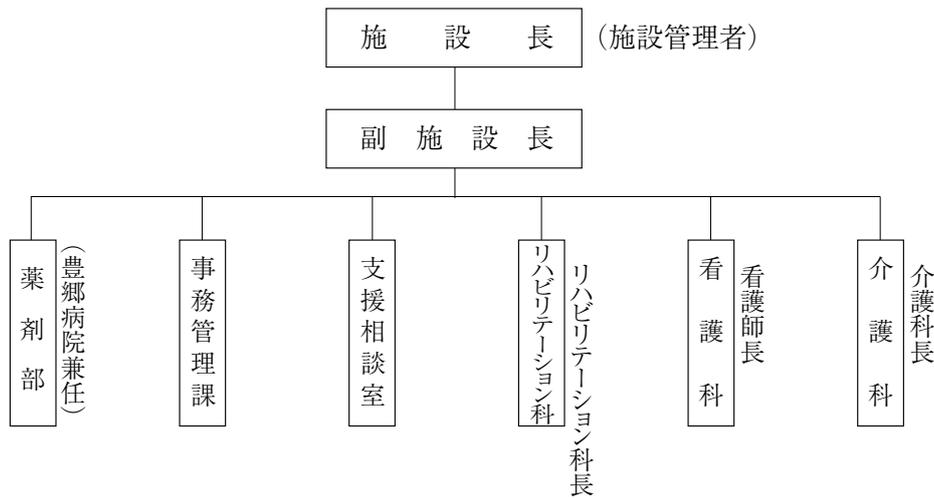
7 法人会議・委員会 組織図



(2024年4月現在)

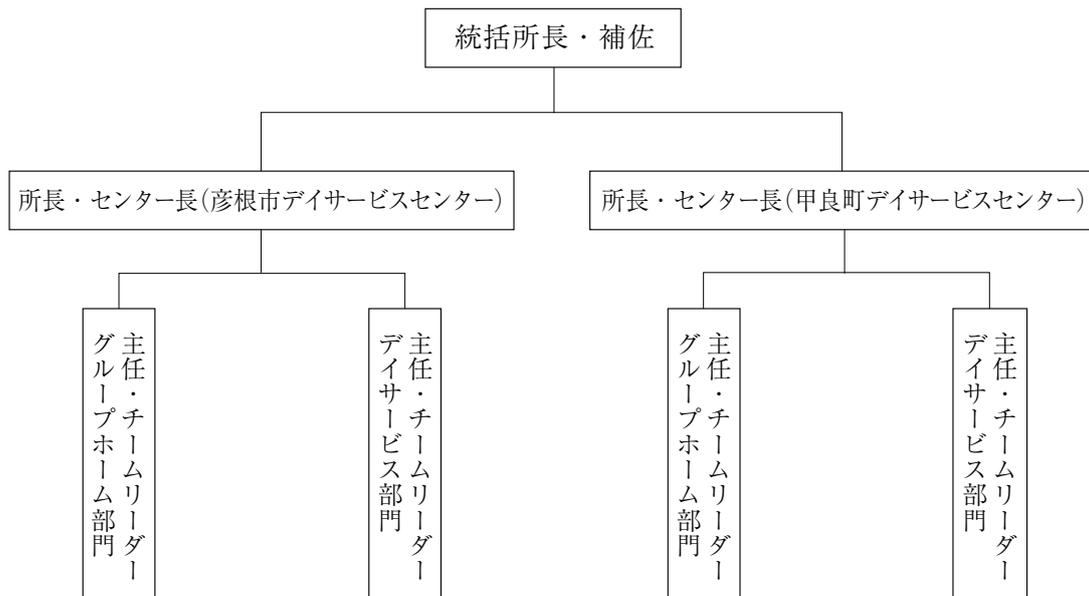
8 介護施設組織図

介護老人保健施設 パストラルとよさと 組織図



デイサービスセンター 組織図

彦根市デイサービスセンター きらら 甲良町デイサービスセンター けやき
彦根市グループホーム ゆうゆう 甲良町グループホーム らくらく



(2024年4月現在)

9 病院概要図

病院概要

1. 病床数

一般病床 186床
 (内 地域包括ケア病床51床
 内 回復期リハビリテーション病床30床)

療養病床 32床
 (地域包括ケア病床・初期認知症対応型)

精神科病床 120床
 (内 急性期病床60床
 内 療養病床 60床)

2. 診療科目

内科、外科、消化器外科、整形外科、消化器内科、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、脳神経外科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、歯科・歯科口腔外科、小児科、婦人科、皮膚科、麻酔科、精神科、心療内科、神経内科、リハビリテーション科、放射線科

3. 診療日

平日(月～金)、第1・3土曜日
【受付時間】
 平日
 午前8時30分～12時
 第1・3土曜日
 午前8時30分～11時

4. その他施設

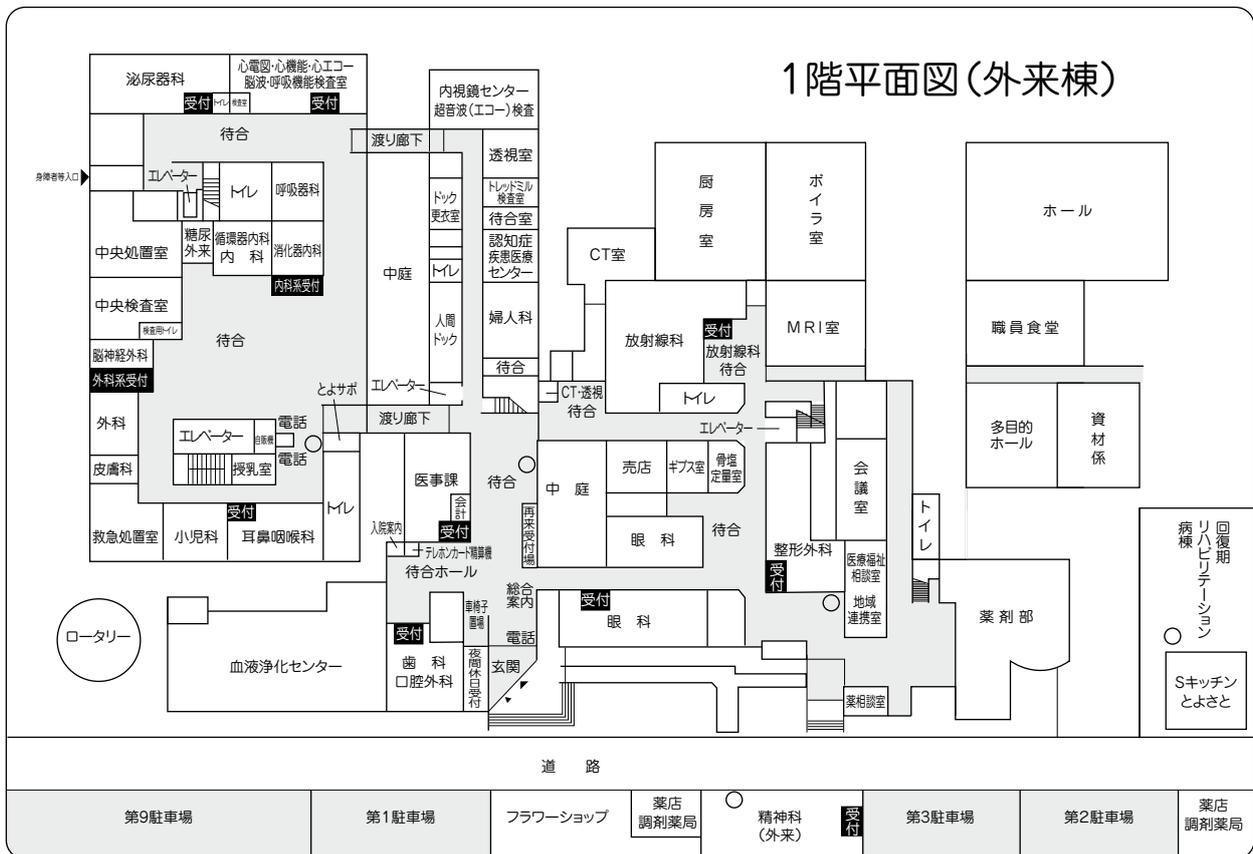
- ・総合リハビリテーション施設
- ・血液浄化センター
- ・認知症疾患医療センターオアシス
- ・内視鏡センター
- ・健診センター
- ・在宅療養サポートセンターとよサポ

各階概要〈新館〉

屋上	機械棟、コージェネシステム他	
6F	精神病棟(急性期)	
5F	入 院 病 棟	精神病棟(療養)
4F		一般病棟
3F		一般病棟
2F	一般病棟 (地域包括病床)	
1F	外 来 棟	脳波・心機能・心電図・心エコー・泌尿器科・循環器内科・消化器内科・内科・呼吸器内科・小児科・耳鼻咽喉科・脳神経外科・外科・皮膚科・救急外来・脳神経内科

※整形外科・婦人科・眼科・歯科・精神科・認知症疾患医療センターオアシスの外来及びリハビリテーション科・放射線科・手術室は従来通り旧病棟

病院平面図



10 法人役員名簿

	役員名	氏名	現職
理事	代表理事	川上賢三	
	副代表理事	波床将材	精神科顧問・臨床精神医学研究所 所長
	理事	佐藤公彦	名誉院長
	業務執行理事	難波江正浩	病院長
	業務執行理事	横田徹	名誉院長
	業務執行理事	種村榮二	法人統括本部長
	理事	松末吉隆	滋賀医科大学名誉教授
	理事	上本伸二	滋賀医科大学長
	理事	川村喜三郎	薬剤・医療技術本部長
	理事	川村宏	事務部長
評議員	評議員	世一市郎	
	評議員	若山喜久穂	
	評議員	若林保幸	
	評議員	菅原幸一	介護事業部長・老健副施設長
監事	監事	山本洋昭	
	監事	西山憲和	
	監事	藤田敦	顧問税理士
	監事	伊藤豊	

(2024年6月現在)

11 法人管理者組織名簿

部 署	役 職	氏 名
	代表理事	川 上 賢 三
	副代表理事	波 床 将 材
	名誉院長	佐 藤 公 彦
	名誉院長	横 田 徹
	院長	難 波 江 正 浩
	法人統括本部長	種 村 榮 二
	病院長特別補佐・副院長	曾 我 弘 樹
	副院長	阪 上 悌 司
副院長	土 井 久 和	
副院長	井 内 武 和	
診 療 部	診療部長	曾 我 弘 樹
健 康 推 進 室	室長	前 田 航 規
内 科	副院長(消化器内科)	土 井 久 和
	部長(糖尿病内科)	高 木 敬 文
	部長(循環器内科)	富 田 行 則
	部長(循環器内科)	川 島 明 代 志
	部長(消化器内科)	門 元 優
呼 吸 器 科	代表理事	川 上 賢 三
	名誉院長	佐 藤 公 彦
	部長	坂 下 拓 人
外 科	名誉院長	横 田 徹
	副院長	井 内 武 和
泌 尿 器 科	病院長特別補佐・副院長	曾 我 弘 樹
	部長	前 田 航 規
	医長	中 村 真 俊
皮 膚 科		(非常勤医師)
脳 神 経 外 科		(非常勤医師)
整 形 外 科	院長	難 波 江 正 浩
	部長	宮 原 健 一 郎
眼 科	部長	富 田 靖 之
	医長	三 ツ 石 智
婦 人 科		(非常勤医師)
耳 鼻 咽 喉 科	部長	大 道 千 奈 津
小 児 科	部長	三 村 由 卯
精 神 科	顧問	波 床 将 材
	副院長・精神科統括部長	阪 上 悌 司
	部長	成 田 実
	部長	中 江 尊 保
	部長	岡 村 恭 子
	医長	有 福 淳 大
医員	鈴 木 伸 吾	
歯 科 口 腔 外 科	医長	藤 居 孝 文
放 射 線 科	医長	土 井 久 和
検 査 科	医長	高 木 敬 文
手 術 室	室長	井 内 武 和
診 療 情 報 管 理 室	室長	横 田 徹
内 視 鏡 セ ン タ ー	センター長	門 元 優
血 液 浄 化 セ ン タ ー	センター長	曾 我 弘 樹
認 知 症 疾 患 医 療 セ ン タ ー	センター長	成 田 実
臨 床 精 神 医 学 研 究 所	所長	波 床 将 材
救 急 室	室長	高 木 敬 文
医 療 安 全 室	室長・医療安全管理担当医	井 内 武 和
感 染 管 理 室	室長	佐 藤 公 彦
地 域 包 括 ケ ア 病 棟 (3-2)	医長	富 田 行 則
一 般 病 棟 (3-3)	医長	井 内 武 和
一 般 病 棟 (3-4)	医長	坂 下 拓 人
精 神 科 病 棟 (3-5)	医長	中 江 尊 保
精 神 科 病 棟 (3-6)	医長	阪 上 悌 司
回 復 期 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 病 棟 (5-2)	センター長	若 林 正 人
薬 剤 ・ 医 療 技 術 部	薬剤・医療技術本部長	川 村 喜 三 郎
薬 剤 部	部長	岡 田 尚 也
	科長	中 村 薫

部 署	役 職	氏 名	
医 療 技 術 部	部長・臨床工学科技士長	福 本 喜 之	
	副部長・放射線科技師長	川 俣 佳 彦	
	栄養科科長	篠 原 ひ づ き	
	検査科主任	澤 田 祐 子	
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	顧問	吉 田 環	
	技士長	山 田 知 美	
看 護 部	顧問	片 山 美 穂	
	看護部長	西 村 美 穂	
	回復期リハビリ病棟統括	外 川 栄 子	
	看護副部長兼3病棟5階師長	加 藤 郁	
	看護副部長兼3病棟3階師長	川 口 恵 子	
	看護副部長兼3病棟2階師長	木 村 千 江	
	在宅療養サポートセンター長	古 川 み どり	
	在宅療養サポートセンター師長	堀 尾 素 子	
	外来師長	田 中 和 子	
	3病棟2階師長	野 田 静	
	3病棟4階師長	森 田 恵 美	
	回復期リハビリ病棟師長	横 田 こ ず 江	
	手術室師長	大 辻 和 代	
血液浄化センター師長	猪 田 縁		
医 療 安 全 室	師長	田 畑 靖 代	
感 染 管 理 室	師長	竹 内 淑 江	
医 療 福 祉 相 談 室	相談室・介護事業統括所長	菅 原 幸 一	
	室長	上 野 志 保	
地 域 連 携 室	室長	上 野 志 保	
企 画 財 務 ・ 診 療 情 報 ・ 医 療 支 援	統括	山 本 保	
診 療 情 報 管 理 室	担当課長	山 本 保	
医 療 支 援 室	担当課長	山 本 保	
事 務 部	部長	川 村 宏	
	副部長兼管理課長	宇 野 玲 子	
	副部長兼総務課長	岩 佐 武	
	企画財務課長	山 本 洋 道	
	医事課長	岡 村 昌 彦	
介 護 事 業 部	介護事業部長	菅 原 幸 一	
	訪問看護ステーション	統括所長	山 田 里 美
	レインボウとよさと	所長	西 川 くるみ
レ イ ン ボ ウ ひ こ ね	所長	奥 川 喜 美 枝	
	施設長	奥 田 和 美	
介 護 老 人 保 健 施 設 パ ス ト ラ ル と よ さ と	副施設長	菅 原 幸 一	
	介護事業顧問	山 口 康 子	
	リハビリ科係長	奥 村 陽 一	
	師長	川 野 満 寿 美	
居 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー	マックスとよさと・マックスひこね		
	統括所長	高 橋 ひ と み	
居 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー	マックスとよさと		
	所長	高 田 奈 緒	
居 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー	マックスひこね		
	所長	西 野 祐 生	
彦 根 市 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー き ら ら			
	所長	土 川 裕 人	
グ ル ー プ ホ ー ム ゆ う ゆ う			
	所長	米 谷 利 子	
彦 根 市 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー き ら ら			
	センター長	高 橋 ひ と み	
	所長	上 田 康 正	
デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー	けやき		
	センター長	鎌 野 亜 紀	
	所長	林 和 弥	
グ ル ー プ ホ ー ム ら く ら く			
	所長	山 崎 京 子	
認 知 症 初 期 集 中 支 援 チ ー ム	オレンジファイブ		
	リーダー	菅 原 幸 一	

(2024年4月現在)

12 法人部門別職員数

部 署	職 種	常勤	非常勤	合計
医療事業				
医局	医師	28		28
	歯科医師	1		1
薬剤部	薬剤師	9		9
	薬剤部事務	1	1	2
看護部	看護師	136	23	159
	准看護師	34	10	44
	ケアワーカー	50	3	53
眼科	視能訓練士	3		3
歯科	歯科衛生士	2		2
	助手		1	1
精神科	公認心理士	1	1	2
	臨床心理士		1	1
放射線科	放射線技師	6	1	7
リハビリテーション科	理学療法士	19		19
	作業療法士	18		18
	言語聴覚士	3		3
	助手	2	1	3
検査科	検査技師	4	1	5
臨床工学科	臨床工学技士	6		6
栄養科	管理栄養士	4		4
医療福祉相談室	ソーシャルワーカー	7		7
	(うち精神保健福祉士)	(4)		(4)
事務部	事務員	36	4	40
	寮母	1		1
	営繕(工務)	3		3
	運転手		1	1
訪問看護ステーション				
レインボウ とよさと	看護師	6	2	8
	作業療法士	1	1	2
	事務員	1		1
サテライト レインボウはたしょう	看護師	3	2	5
	事務員		1	1
レインボウひこね	看護師	5	1	6
	理学療法士	1		1
	事務員	1		1
計				447

部 署	職 種	常勤	非常勤	合計
介護事業				
介護老人保健施設パストラル とよさと				
	医師	1		1
	看護師	6	3	9
	准看護師	2	3	5
	介護福祉士	30		30
	介護職員	10	5	15
	管理栄養士	3		3
	相談員	5		5
	理学療法士	3		3
	作業療法士	2	1	3
	言語聴覚士	1		1
事務員 他	3	5	8	
居宅介護支援センター マックスとよさと				
	管理者	1		1
	介護支援専門員 他	3		3
居宅介護支援センター マックスひこね				
	所長	1		1
	介護支援専門員 他	2		2
彦根市デイサービスセンター きらら				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	8	9	17
彦根市グループホーム ゆうゆう				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	5	3	8
彦根市地域包括支援センター				
	センター長	1		1
	介護支援専門員 他	4		4
甲良町デイサービスセンター けやき				
	センター長	1		1
	所長	1		1
	介護福祉士 他	5	6	11
甲良町グループホーム らくらく				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	6	3	9
計		103	38	145

総職員数：592名

(2024年4月1日現在)

13 法人活動内容

〈病院関係〉

2023年 4月 1日	入職式
1～4日	新規採用者オリエンテーション
25日	互助会献血
5月10日	互助会美化運動
11日	看護の日
11日	医療安全研修会 演題 一次救命処置 (BLS) 講師 伊部邦宏医師
15日	完全予約制で直接面会開始
23～25日	職員健康診断 (対象者のみ)
31日	管理職対象研修会 人権研修・チームビルディング研修・メンタルヘルス研修
6月 6日	会計監査会
8日	医療安全研修会 演題 一次救命処置 (BLS) 講師 伊部邦宏医師
9日	愛知・犬上医師連絡会 演題 下部尿路症状診療の基本 講師 泌尿器科部長 益田良賢医師
16日	事務部勉強会 演題 全国病院経営管理学会200M研修 講師 長面川さより氏
23日	決算役員会 (京都)
7月12日	互助会美化運動
8月30日	地藏盆
9月 6日	事務部マネーフォワード電子帳簿説明会
8日	愛知・犬上医師連絡会 演題 せん妄の見方と対処について 講師 精神科 有福淳大医師 演題 DWIBSの紹介と症例報告 講師 放射線科 宮下明彦氏
14日	精神科病院実地指導及び入院者実地審査 (県庁健康福祉部)
14日	医療安全研修会 演題 一次救命処置 (BLS) 講師 伊部邦宏医師
10月12日	医療安全研修会 演題 一次救命処置 (BLS) 講師 伊部邦宏医師
18日	互助会美化運動
24～26日	職員健康診断
30日	互助会献血
11月 8日	NST・褥瘡リンクナース委員会研修 演題 褥瘡ケアと皮膚ケアについて 講師 医誠会皮膚排泄ケア認定看護師 香川愛氏

- 9日 団体交渉
- 9・10日 医療安全研修会
演題 一次救命処置 (BLS)
講師 伊部邦宏医師
- 17日 共同指導実施に伴う事前確認
- 18日 公開セミナー&ホスピタルコンサート
演題 めまいはどのように起こるのか？
講師 耳鼻咽喉科部長 大道千奈津医師
- 24日 中間決算役員会 (京都)
- 27日 医療ガス安全研修
講師 大丸エナウイン (株) 清水氏
- 30日 感染対策DVD研修
- 30日 医療放射線安全管理DVD研修
- 12月 4日 医療機関立入検査
- 7・8日 医療安全研修会
演題 一次救命処置 (BLS)
講師 伊部邦宏医師
- 13日 知って得する研修会
演題 呼吸リハビリと身体所見の取り方
講師 びわこリハビリテーション専門大学教授 千住秀明氏
- 14日 共同指導 (厚生労働省保検局医療課)
- 21日 物故者追弔会報恩講
- 2024年 1月 4日 互礼会
- 9日 虐待防止DVD研修
- 15・23日 新人歓迎会 (マリアージュ)
- 31日 個人情報保護対策・ITセキュリティ対策DVD研修
演題 サイバー攻撃の事例紹介
- 2月13日 人権DVD研修
演題 アサーションで防ぐセクシャルハラスメント
- 13日 ACPワーキング委員会研修
演題 ACP&共同意思決定 (SDM) について学ぼう！！
- 29日 愛知・犬上医師連絡会と新年会 (竹平楼)
演題 脳血管障害の外科治療：最近の話題
講師 滋賀医大脳神経外科教授 吉田和道先生
- 3月6・8日 医療安全研修会
演題 災害支援ナースとしての活動報告
講師 古川師長・廣瀬Ns・岩田Ns
- 18日 TQM活動発表会
- 14日 令和6年度診療報酬改定説明会
- 22日 予算役員会 (京都)
- 30日 公開セミナー
演題 認知症の人への声のかけ方・接し方 一説得より納得一
講師 認知症センター長 成田実先生

14 公益財団法人 豊郷病院 長期事業計画

(2018年度～2027年度)

テーマ step to 100

さあ 100周年に向けて!!

〈内容〉 sensibility (感度) をあげteamwork (協調) して
energy (活力) をつけてperformance (実行) する
感度をあげ協調し活力をつけて実行し100年に向かう

2050年の脱炭素時代に向かって世界は大きく舵を切りSDGsの定着する社会に向けてガソリンからEV、ITやロボット化、デジタル化が更に進みキャッシュレス時代、働き方改革や、人員不足から外国人労働者の導入や高齢者雇用の増加がすすみ、特に2025年(創立100周年)には、全人口の18%が後期高齢者で3割以上が65歳以上となり今迄国を支えた世代が給付を受ける側となり社会保障費の膨張・資金不足・生産労働人口の減少の三重苦に見まわれることになる。

一方、滋賀県では地域別で見ると医療需要の緩やかな減少地域で医療費は全国平均程度でその内、二次医療圏別の湖東地域は人口の減少地域で医療需要が減少することが予測される。そのことから、今後各病棟をどのように機能転換するかが重要なポイントになる必要がある。

また、機能転換後の後方病床は地域の基幹病院の動向に大きく左右される時代になることから、どう特色を出す病棟にしてゆくかが問われることになる。このことから、法人としては更に研鑽し経営の健全化と良質な医療を効率的に提供するため安定した財務体質の法人経営を構築する。

法人は2025年に創立100年となるが、あらためて今日迄、創立精神である「郷土愛と博愛ならびに奉仕の心」で地域の発展と法人の拡大に努力してきたが、この背景となる時代の大きな変化の転換期に医療業界も入ってゆく重要なことと認識すると共に「豊かな郷で心と体の健康を 家族のように」の基本理念が成長の基本であることを認識し、そして名実共に実践が組織を強くすることから今後も地域の医療・保健・福祉を支えるために医療事業・介護事業・教育研究事業の複合体組織で安定した法人経営を行い地域に貢献し発展させることになる。

また、前期から進めた医療事業では、地域包括ケアシステムにおいては急性期医療から回復期・慢性期の診療と精神医療の急性期・療養期、更には認知症医療も含め、介護事業では18事業の介護サービス事業で通所、訪問、施設、入所や入居施設を運営して、当法人グループ内連携の下で「医療から介護迄を一貫で支援」することを更に強化する。

尚、2020年度は年初から新型コロナウイルス感染症の世界的な流行から医療ならびに介護業界が大きな影響を受け4年間に亘り経営悪化したことから、今後は新しい仕組みを構築し運営する方法に大きく舵を切る経営に進んで行くことが重要となる。

長期計画書

※以下、詳細10項目については、掲載省略

中期計画

(2024年度～2026年度)

「より良い法人にするために」

テーマ “フレッシュ100 トヨサト”

A&A【活気（activity）と行動（action）】

法人運営

I. 法人の基本方針：より良い法人にするために

2024年から第8次医療計画継続（2029年度迄）、第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画、障害者総合支援法等の各制度改正と合わせて診療報酬・介護報酬・障害福祉報酬の各改定及び2025年に向けた「地域包括ケアシステム」と「地域医療構想」達成のための変革がさらに加速される年となる。

1. 第1目標 基本理念を中心にした原点運動

中期計画は、当院がこの中期3カ年計画中に創立100周年（2025）を迎えることからメインテーマを次の100年にむけて「より良い法人にするために」として当法人の基本理念を中心に置き、理念が成長の礎であり実践が組織を強くすることから各職場での実践型組織を構築する。またあらゆる活動事業や各委員会においても理念に結び付けた運動等（挨拶運動・接遇訓示・TQM活動等）を行うことでまず原点に立ち返ることを目標としたさらなる飛躍のためにフレッシュ100 トヨサトを提示し中期3カ年計画とする。

2. 活性化指針 フレッシュ100 トヨサトについて

当院が持っている“強み・魅力”を十分に発揮することとさらなる取り組み効果を高めてクオリティアップのために“フレッシュ100 トヨサト”と命名して、病院全体での周知徹底を図りA&Aに取り組む。

3. 病院を良くするためのスローガン「フィロソフィー」・・・既発表

- 1) 誰に対しても敬意を持って、丁寧な言葉・態度で対応しよう。
- 2) 未来を見据え持続する職場環境を構築し職員が誇りを持てる病院にしよう。
- 3) 職員・家族の健康と幸福が患者さん・地域の幸福につながると理解しよう。

～病院は、あなたの力を必要としています～

4. 法人全体の取り組み運動

全職員一丸となりの「みんなの法人・みんなの病院・みんなの介護事業」を目指す。

“フレッシュ100 トヨサト”の骨子

- ① ガバナンス運営の強化
- ② 強み・魅力を活かした基盤作りと経営戦略
- ③ 全職員参画の連携強化
- ④ 質ならびに生産性向上とデータの活用
- ⑤ リスクに対する持続可能なBCPの構築
- ⑥ 働き方改革・DXの導入・健康経営優良法人の取得

※以下詳細説明及び事業部門別・部科（課）別計画書ならびに法人の年間目標額については掲載省略

15 2024年度 経営方針

行動計画

基本理念徹底と体制の再構築
意識改革と行動で改革目標達成
思いやりの心と生産性の向上

(Ⅰ) 強みを活かした運営強化の基盤作り、質の向上・生産性の向上の両立

- ★コンプライアンスに基づく診療体制の徹底
- ★法人内の連携強化による相乗効果発揮・組織力強化
- ★病床稼働率の維持・ベッドコントロールの徹底
- ★各部署並びに委員会活動の活性化
- ★経費削減と業務改善の実行
- ★診療の質（Q I）、DPC・医事データ等の実績分析と目標設定・二次活用

(Ⅱ) 持続可能なBCP体制、

働き方改革と医療版DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組み

- ★将来計画に伴うBCP体制の構築、医療安全、感染対策
- ★医療従事者の人材安定確保、教育、リーダー育成
- ★コミュニケーション・協力関係を発揮できるチーム医療の推進
- ★患者・職員を思いやる心、職員満足度向上、働きやすい環境整備
- ★タスクシフトによる職員の負担軽減（医療版DXの推進等）
- ★職員のライフワークの調和、健康経営優良法人への取組み

16 地域交流 TQM 活動

2023年度発表会

当院でのTQM活動は2015年度に始まって以降毎年、職員一丸となり取り組んでまいりました。9年目の2023年度は10チームが参加し、業務改善・医療の質改善のために取り組んでまいりました。

コロナ禍でしばらく見合わせていた発表会も4年ぶりに開催し、各チームが1年間取り組んだ結果を発表しました。

来年度も継続して行い、より良い病院にすべく職員一同邁進してまいります。

日 時：2024年3月13日（水）17：15～19：00
 場 所：9病棟2階ホール
 審査員：委員長 川上代表理事 《他17名》
 司 会：平木真理奈 北川由梨
 事務局：北川未奈実 多林晴美

14：30～会場準備（9-2ホール）
 16：50～会場受付
 17：15～開会式
 17：20～審査員の紹介、開会宣言
 17：25～発表会開始
 《発表時間：各チーム入替含む約8分程度》
 19：00 閉会

	開始時間	終了時間	部 署	チーム名	発表形式	発表者数
1	17：25	17：33	訪問看護サテライト レインボウはたしょう	瞳の中にレインボウ	パワーポイント	2名
2	17：33	17：41	栄養科	そなえ～よう	パワーポイント	2名
3	17：41	17：49	甲良町デイサービスセンター けやき	GHO甲良	劇	6名
4	17：49	17：57	看護部長室	ひまわり🌻なでしこ 咲かせ隊	パワーポイント	8名
5	17：57	18：05	診療情報管理室	とよさとS（すぐに） N（なんでも）S（撮影する）部	パワーポイント	1名
6	18：05	18：13	薬剤部	化学療法まとめ隊	パワーポイント	1名
7	18：20	18：28	3病棟6階	あなたを守り隊	パワーポイント	2名
8	18：28	18：36	パストラールとよさと	SP ¥×Family	パワーポイント	5名
9	18：36	18：44	3病棟2階	ぼっかぼかぼか	パワーポイント	2名
10	18：44	18：52	リハビリテーション科	たっくん	パワーポイント	3名

各 賞	部 署	チーム名
代表理事賞	パストラールとよさと	SP ¥×Family
院長賞	ひまわり🌻なでしこ咲かせ隊	看護部長室
立川賞	薬剤部	化学療法まとめ隊
チームワーク賞	甲良町デイサービスセンターけやき	GHO甲良
アイデア賞	診療情報管理室	とよさとS（すぐに）N（なんでも）S（撮影する）部
未来賞	3病棟6階	あなたを守り隊
努力賞	栄養科	そなえ～よう
エントリー賞	訪問看護サテライトレインボウはたしょう	瞳の中にレインボウ
	3病棟2階	ぼっかぼかぼか
	リハビリテーション科	たっくん

17 人権教育研修

「同和問題の解決は国民的課題であるとともに企業の社会的責任であり、あらゆる差別の解消に向けて積極的に取り組み、明るい活気ある職場づくりをするため」を目的に全職員へ病院内外での人権学習の機会を提供し、積極的な参加を呼び掛ける。

2023年度 人権啓発活動目標

「誰か」のこと じゃない。違いを認め合い、相手の気持ちを考えよう

活動状況

(1) 開催時期 2023年 4月10日 (月)

2023年10月16日 (月)

(2) 研修・学習内容

院内 ・新入職員研修会

2023年4月4日(火) 新入職員21名

DVD研修 「サラーマット ～あなたの言葉で～」

・新入職員対象人権研修会

・管理職員・人権推進者対象人権研修会

2022年5月31日(水) 4～5月入職の新入職員 20名

講師：(公財)滋賀県人権センター 杉本 正紹 氏

テーマ：「人権を身近に感じよう」

・2023 豊郷病院人権研修会 参加者550名

DVD研修 「アサーションで防ぐセクシュアル・ハラスメント」

2月中旬から3月末までの間にDVD研修にて実施

・職場別人権学習

職場単位におけるビデオ学習・院外研修会参加 全職場で実施

院外 ・外部研修会等に参加 事業主、人権担当者

主催 滋賀県

滋賀人権啓発企業連絡会

滋賀人権啓発企業連絡会彦根ブロック 等

I

医療事業の部

2023年度は、中期3年計画「パワーアップ5トヨサト」の最終年と行動方針を実行にスタートしましたが、長期に渡ったコロナ感染症の影響で成果があげられませんでした。

外来診療においては、コロナ感染症区分5類への類下げから、診療報酬特例加算がなくなり感染症を取扱う診療科の患者及び診療単価の大幅な減少が顕著に表れました。また精神科は、常勤医の育休による交代人員確保時期のブランクによる患者減や、透析においては入院治療への変更や死亡による患者減から患者確保に苦戦しました。

入院診療においては、7月に一般地域包括ケア病棟(3-2:51床)・精神急性期治療病棟(3-6:60床)、8月には、回復期リハビリ病棟(5-2:30床)でのクラスター発生や2022年10月から運営していたCOVID病棟(1-3病棟:32床のうち9床を利用)において国・県の方針で9月末に終了した影響や看護師不足による患者受入れ制限を行わざるを得ない状況となった結果、患者数・診療単価減によりダメージを受けました。結果、外来患者数は昨年比△4,522人(△4.1%)、入院患者数は△4,378人(△5.1%)と苦戦しました。

全体の取り組みとして、早朝ミーティングで各病棟の入退院状況を共有し、幹部四役会議の連携強化と、診療部にはヒアリングにて目標患者数・収入目標と一人当たりの受持ち患者数の増加確約依頼と、各部署にはバランススコアカード(BSC)を用いて目標を設定し進捗状況をチェックし達成に向け取り組みました。看護部は寝たきり、せん妄予防、認知症の進行予防に取り組み、新たに院内デイケアも取り入れ、質の向上に取り組みました。血液浄化センターは、合併症予防に努め、薬剤部は、抗菌薬適正使用の実践や院内回診の参加により薬剤師の職能が発揮出来ました。リハビリテーション科は、退職者と産休者が出ましたが単位数減にならぬよう努力しました。医療技術部では、各専門医療技術の充実と実施項目のアップに向けタスクシフトやチーム医療の推進に取り組み、事務部はデータ提供や各部署のサポートを行いました。

〈診 療 部 門〉

医師理念

安価な医療の提供！

患者さまには率直で心をこめて説明！

EBMにいきなりEBMから出でよ！

基本目標

- 1：的確で迅速な診断、最小限の検査と安全な治療を行う。
- 2：トータルコストは安く、在院日数を短縮し単価は維持する。
- 3：チーム医療を大切にし、お互いの職業理念を尊重する。
- 4：対面診察、説明と同意、診療情報管理を大切にする。
- 5：プライマリー・ケア、ACLSとEBMの基本を身につける。
- 6：患者さまの権利と個人情報の保護は重大な責務と認識する。

1 診療部事業経過

令和5年度(2023.4.1~2024.3.31)の医局の人事異動は次のとおりです。

採用の常勤医師として、三ツ石智先生(2023.4.1 眼科)、宮原健一郎先生(2023.7.1 整形外科)、鈴木伸吾先生(2023.10.1 精神科)、波床将材先生(2023.11.1 精神科)、難波江正浩先生(2024.3.1 整形外科)が入職されました。退職された先生は木築裕彦先生(2024.3.31脳神経外科)、益田良賢先生(2024.3.31泌尿器科)の2名です。

退職されました先生がたの今後のご活躍を祈念しております。

令和5年度は新型コロナウイルスが感染症2類から5類になり、様々な規制が撤廃されましたが、当院は9月までコロナ病床を運営して対応しました。10月から1-3病棟の32床の休床、12月の保健医療共同指導など、ポストコロナの医療情勢の変化の中で、常勤、非常勤の先生がたが奮闘して診療に御協力頂いたことに改めて感謝申し上げます。

医師を派遣していただいている京都大学、滋賀医科大学の医局のご協力のもと、皆さまに安全で十分な医療を提供できるよう地域と共に歩んでいきたいと考えています。来年は創立100年を迎えます。

今後ともよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

名誉院長
横 田 徹

2 各科の事業・業績報告

循環器内科

① スタッフ

川島明代志（部長）、富田行則（部長）（2024年5月末日で川島が退職）
常勤医師2人（2024年6月から1人）
非常勤医師5人（2024年6月から6人）

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数；外来8,948人（実数797人）、入院4,163人（実数93人）

従来と大きな変化はなく、心臓カテーテル検査など侵襲的加療は行っておりませんが、侵襲的加療の適応外の患者様や侵襲的加療をお望みになられない患者様を薬物治療、リハビリテーションを用い、退院後への橋渡しという面に重点を置いております。高齢心不全患者の増加に伴い、必要な特色と考えて日々の診療を行っております。

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

透析患者の管理に当科も関わらせて頂いております。当院は腎臓内科の常勤医がいないため、外来でもそれぞれの科で診ております。心腎貧血連関での講演を行いました。

④ その他特記事項

心臓超音波検査、ホルター心電図、ABIなど生理検査は他院と比較しても、比較的容易に施行するだけの枠がありますので、御紹介頂ければ幸いです。またホルター心電図は24時間のものだけでなく、あらたに7日間のを導入しましたので、24時間では捉えられないかもしれないからと諦めていたような症例も7日間であれば捉える可能性がありますので、御紹介頂ければ幸いです。

呼吸器内科・呼吸器外科

① スタッフ

佐藤公彦（代表理事・名誉院長）、川上賢三（副代表理事）、伊部邦宏（内科系統括部長、部長）、坂下拓人（部長）
常勤医師4名、非常勤医師9名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科は、呼吸器感染症・気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患・びまん性肺疾患・胸部悪性腫瘍・睡眠時無呼吸症候群などあらゆる呼吸器疾患に対応できるよう取り組んでいます。また地域医療への貢献のため、専門性を問わない診療も心がけています。

2020年からの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、昨年度に引き続きCOVID-19チームとして発熱者外来の運営やCOVID-19患者の入院受け入れ・診療にあたりました。

禁煙外来については、現在禁煙補助薬であるチャンピックス® の出荷停止の影響により、禁煙外来を制限して実施しています。2023年度は3名が禁煙外来にて禁煙に取り組み、2名が禁煙達成されました。

<2023年度診療実績>

年間患者数：外来12,210人 (-1,867人)、入院12,440人 (-986人)

外来患者数41.7名 (-6.5名) /日、新規入院患者数399名 (+35名) /年

CPAP患者数276名、HOT患者数40名

PSG検査 56件/年、気管支鏡検査 11件/年

健診部門 SAS簡易PSG検査 0件/年、胸部CT 16件/年、呼吸機能検査 5件/年

<2023年度入院加療病名（退院時主病名より）（単位：名）>

肺炎（誤嚥性、気管支炎を含む）	134	気管支喘息	7
COVID-19 関連	73	慢性気管支炎・気管支拡張症	3
睡眠時無呼吸症候群	59	肺結核・非結核性抗酸菌症	10
間質性肺炎	16	胸膜炎・肺膿瘍	3
肺癌などの悪性新生物	19	その他（呼吸器疾患）	16
慢性閉塞性肺疾患	17	その他（呼吸器疾患以外）	75
気胸	10		

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

講演

消化器内科

① スタッフ

土井久和（副院長） 門元優（部長・内視鏡センター長）

常勤医師2人 非常勤医師5人

② 特色・症例・治療・成績・実績

滋賀県内でも高齢者の割合が多い湖東地域において、複数の基礎疾患を持った高齢者の消化器疾患と、人間ドックによる無症候性消化器疾患治療の両面で診療を行っています。精神科を有する当院では、他病院では診療困難な精神疾患や認知症を持つ患者さんの消化器診療も可能です。

年間患者数：外来 5,890人、入院 6,072人

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

なし

内科（糖尿病）

① スタッフ

高木敬文（糖尿病内科部長）

常勤医師 1人 非常勤医師 1人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 4,901人、入院 1,343人

外科・消化器外科

① スタッフ

常勤 2名 横田 徹
井内 武和

非常勤 4名

② 特色・症例・治療・成績・実績

主要手術件数	上部消化管	7件
	下部消化管	18件
	胆嚢	6件
	肛門疾患	12件
	ヘルニア	28件

年間患者数：外来 3,247人、入院 6,760人

③ 論文、学会・研究発表・講演・トピックス

なし

泌尿器科

① スタッフ

曾我弘樹（副院長・診療部長） 前田航規（部長） 益田良賢（部長）

常勤医師 3人 非常勤医師 4人

② 特色・症例・治療・成績・実績

泌尿器科では、泌尿器科領域の悪性腫瘍、排尿障害、尿路結石、透析等の治療を行っております。

泌尿器科には、前立腺癌・膀胱癌の新規患者様が多数来院されます。前立腺癌については、ホルモン・抗がん剤治療を主に行っており、腹腔鏡手術（ロボット手術）・放射線治療をご希望の際には滋賀医科大学附属病院他、近隣のご施設へご紹介しております。膀胱癌については、内視鏡手術（経

尿道的手術)や抗がん剤治療(膀胱内注入療法、全身化学療法)を行っております。腎癌、腎盂尿道癌について、腹腔鏡手術や抗がん剤治療を行っております。

排尿障害については、前立腺肥大症や過活動膀胱を中心に、薬物療法を主として行っております。前立腺肥大症については、必要時には経尿道的手術も行っております。

尿路結石については、薬物療法に加えて対外衝撃波結石破碎術(ESWL)や経尿道的手術を行っております。

透析治療については、血液透析の導入・維持管理を内科医師と連携して行っており、シャント造設術・再建術、シャントPTA等も行っております。

年間患者数：外来7,252人 入院3,955人 手術件数58件

③ 論文、学会、研究会発表、講演、トピックス

なし

整形外科

① スタッフ

2023年5月まで 非常勤医師11名により外来診療のみ

2023年6月より 宮原健一郎(部長。週3日の半常勤)により、週3日外来および入院患者診療。手術不可。

2024年3月より 難波江正浩(院長補佐。常勤)も加わり、大腿骨近位部骨折の手術を開始。

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数 外来：9,797人 入院：1,983人 手術件数：14件

③ 論文、学会、研究会発表、講演、トピックス

本年はなし

脳神経外科

① スタッフ

木築裕彦(部長)

日本脳神経外科学会 専門医

日本脳卒中学会 専門医

日本頭痛学会 専門医・指導医

日本認知症学会 専門医・指導医

認知症サポート医

認知症相談医

嶋綾子(非常勤・湖東記念病院脳神経外科)

医学博士

日本脳神経外科学会 専門医

日本神経内視鏡学会 技術認定医

(常勤 1名、非常勤 1名)

② 特色・症例・治療・成績・実績

診療体制

外来

木築裕彦 火曜日・金曜日

嶋綾子 水曜日

入院

脳神経外科の入院診療は現在体制がございません。

年間外来患者数 1,459例

③ 論文・学会・研究発表・講演・トピックス

常勤医退職のため省略

眼科

① スタッフ

富田 靖之（部長） 三ツ石 智（医員）

常勤医師 2名

非常勤医師 2名

② 特色・症例・治療・成績・実績

重点施策 外来患者数増加（目標8,000人）を目指しています

年間患者数 外来7,634人、入院687人、手術259件

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

2023年9月14日

滋賀医科大学

第256回滋賀眼科症例検討会

「IOLねらい度数のずれが生じた症例の検討」

三ツ石智（豊郷病院）

耳鼻咽喉科

① スタッフ

大道千奈津（部長）

常勤 … 1名

非常勤 … 1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科では、耳(難聴、めまい、中耳炎、顔面神経麻痺)、鼻(アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、鼻腔腫瘍)、咽(扁桃炎、嚥下障害、声帯ポリープ)、頭頸部(唾液腺(耳下腺、顎下腺)、甲状腺、頸部リンパ節腫脹)など、耳鼻咽喉科全般の診療を行っています。

一般的な画像・採血と共に、聴力検査や喉頭内視鏡など耳鼻咽喉科特有の検査を活用し、正確な診断・適切な治療を心がけています。当院での手術加療も行い、また集学的治療が必要な患者様には大学病院への紹介も行っており、病診連携の下、地域医療への貢献に尽力します。

年間患者数：外来4,405名 入院26名 手術件数8例

③ 論文・学会・研究発表・講演

<研究発表>

第73回 滋賀医大耳鼻咽喉科関連病院合同症例勉強会 令和6年4月9日

「唾液腺症状以外で耳鼻科を受診したシェーグレン症候群の症例」

耳鼻咽喉科検査 2023年度

項目	外 来	入 院	合 計
標準純音聴力検査	108	2	110
簡易聴力検査	3		3
気導純音聴力検査	708	32	740
耳小骨筋反射検査	1	1	2
ティンパノメトリー	14	2	16
平衡機能検査(標準)	182	17	199
平衡機能検査(頭位・頭位変換眼振検査)	144	17	161
静脈性嗅覚検査	6		6
EF-嗅裂部・鼻腔・副鼻腔	45	3	48
合計	1,211	74	1,285

④ その他の特記事項

特になし

小児科

① スタッフ

三村由卯（部長）

常勤医師 1人 非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来2,735人

年間健診数： 21人

皮膚科

① スタッフ

非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 3,069人

婦人科

① スタッフ

非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 740人

脳神経内科

① スタッフ

非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

神経内科は近年の高齢化社会とともに神経内科に対する社会的ニーズも高まっていることから、地域医療をさらに充実・発展すべく平成28年9月より滋賀医科大学の全面的バックアップにより新規開設しました。

脳や脊髄、神経、筋肉の病気をみる内科で専門医師が問診を神経学的な診察、画像検査や電気生理学的を駆使してその症状の原因となる体の場所や病態を診断いたします。

特に頭痛、しびれやめまい、筋力低下、歩行困難、ふらつき、けいれん、むせ、しゃべりにくい、二重に見える、勝手に体が動く、もの忘れなどの症状の方が対象です。

年間患者数：外来 958人（但し土曜日、月間4回）

精神科

① スタッフ

波床将材（顧問） 阪上悌司（副院長） 中江尊保（部長） 岡村恭子（部長）

有福淳大（専攻医） 鈴木伸吾（専攻医） 成田実（認知症担当）

常勤医師（認知症担当者含む）7人(精神指定医4人、精神科専門医4人 指導医3人)

非常勤医師4名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当精神科は、滋賀県湖東地域における中核病院として多様な患者を診る必要があり、外来・病棟とも内因性精神病を中心に老人疾患、アルコール、思春期、さらに精神遅延の患者も受け入れ、措置入院を引き受けている。

精神科病棟は、平成14年竣工の新病棟の5、6階のフロアを占め、3-6病棟（6階）は入院病棟（閉鎖病棟）であり、保護室4床と観察室2床を備え、3-5病棟（5階）は療養病棟（一部開放の閉鎖病棟）で、いずれも男女混合であり、低床はそれぞれ60床の計120床であるが、100床前後で運用されている。しかし、近年の精神科医療の趨勢を踏まえ、平成30年1月より入院病棟は精神科急性期病棟として運用し、近隣の精神科クリニックや病院と連携を深めながら新規入院患者を確保し、救急を含め地域の精神科医療に果たすべき役割を引き受けている。

治療としては通常の精神科治療のほかに、修正型電気けいれん療法を施行、難治性の統合失調症の治療剤であるクロザリルも使用している。

精神科外来は3診体制である。当初は医療観察法指定機関として通常患者の診察を担当し、大津地方検察庁長浜-彦根支部管内の刑事精神鑑定も随時引き受けている。

年間患者数： 外来 19,575人 入院 38,538人 手術件数 8件

③ 論文、学会、研究発表、トピックス

1. 阪上悌司：「現代のうつ病論」湖東精神科研究会 2024年2月
2. 波床将材：「引きこもり」京都市精神保健福祉相談員養成研修・地域リハビリテーション推進研修 2023年11月
3. 波床将材：「気分障害の理解と看護」日本精神看護協会 京都府支部研修会 2023年11月
4. 波床将材：「これからの精神保健福祉」第21回精神福祉ボランティア全国の集いin京都 2023年11月
5. 波床将材：「自殺対策について－自殺の現状と自殺対策の基礎知識」京都市自殺対策ハイリスク者支援研修2023年12月
6. 波床将材：「精神障害の理解－主な精神疾患の基礎知識－」京都市市民後見人養成講座2023年12月
7. 波床将材：「自殺対策・自死遺族支援」京都市精神福祉相談員養成研修2023年12月
8. 波床将材：「行政機関で精神科医が働くということ－精神保健福祉センターの仕事」京都大学精神医学教室同門会2024年1月
9. 波床将材：「精神保健福祉行政の動向」京都市精神福祉相談員養成研修2024年1月
10. 波床将材：「依存するところとからだ－依存症について知ろう」京都市こころの健康増進センター依存症市民講座 2024年1月
11. 有福淳大：「ASDはどのような音楽を世に出せるのか」豊郷病院精神医学研究所年報、第13巻 2023
12. 福谷満子 大奈路美輪：精神科急性期病棟における関わりで大切なこと－精神科勤務歴10年以上の看護師が大切にしている事をインタビューを通して学ぶ－ 豊郷病院精神医学研究所年報、第13巻 2023

歯科口腔外科

① スタッフ

藤居 孝文 (常勤歯科医師)	常勤歯科医師	…	1名
鈴木 百美子 (歯科衛生士)	非常勤歯科医師	…	2名
富田 鈴果 (歯科衛生士)	常勤歯科衛生士	…	2名
	非常勤歯科衛生士	…	1名
	歯科助手	…	1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科では、智歯（親知らず）の抜歯や炎症性疾患（化膿、腫れもの）、顎関節症、外傷（歯の破折・脱臼、裂傷、骨折）、腫瘍性疾患や全身疾患があるため病院歯科での治療が必要である患者さんを中心に治療を行っております。また、睡眠時無呼吸症候群と診断され、マウスピースでの治療が必要である方への口腔内装置作製や、脳血管障害などで摂食・嚥下（食べて、飲み込む）が困難である方に対し、嚥下リハビリテーションチームが行う摂食機能療法を行っております。

年間患者数：外来5,075名 入院145名 手術件数143例

③ 論文・学会・研究発表・講演

論文

臨床症例Q&A「顔面の腫脹、疼痛」

藤居 孝文

滋賀県歯科医師会雑誌 2024 No.12

学会

「習慣性顎関節脱臼に対し自己血注入療法を行った4例の検討」

藤居 孝文, 町田 好聡, 越沼 伸也

第39回 滋賀歯学会 2023.3.10

講演

「新型コロナウイルス流行下での感染対策と現在増加中の感染症」

藤居 孝文

彦根歯科医師会医療安全研修会 2024.11.25

麻酔科① スタッフ

非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間麻酔件数：全麻 100件、腰麻 64件、局麻他 442件 合計 606件

麻酔科件数

麻酔別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全麻	10	3	10	7	12	7	8	8	4	5	12	14	100
腰麻	3	5	5	5	5	6	9	3	6	4	4	9	64
局麻	37	37	41	27	45	34	41	29	28	33	35	36	423
その他	2	2	3	1	3	1	0	3	1	0	1	2	19
計	52	47	59	40	65	48	58	43	39	42	52	61	606

(統計：手術室)

リハビリテーション科

① スタッフ

リハ医 難波江、佐藤、横田、曾我、井内、土井、冨田、大道、藤井、宮原、若林、井内

顧問 吉田環PT

技士長 山田知美PT

一般病棟：係長 磯寄浩司PT、馬場浩伸OT、戸田健輔ST、

主任 甲斐牧恵OT

回復期病棟：副技士長 近藤則子PT、係長 織部恭史PT、

主任 日下部洋平OT、田中周子OT

精神病棟：主任 岩田夏彦OTT

理学療法士：一般科10名・回復期6名・アイルとよさと2名、レインボウ1名・パストラール3名

作業療法士：一般科7名・回復期6名・精神4名・レインボウ2名・パストラール2名

言語療法士：一般科2名・回復期1名・パストラール1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

〈特色〉

リハビリテーション科では、一般科入院・外来、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟などで介入しており、また言語聴覚士による摂食嚥下訓練・言語訓練も実施している。

介護保険分野では訪問リハビリアイルとよさと、老人保健施設など多岐にわたりサービス体制を整えております。

精神科作業療法では、入院と外来で急性期から慢性期の治療、退院支援、引きこもり支援、復学・復職支援など多岐にわたります。作業活動を通して心身機能の回復を目指すだけでなく、患者さん自身が自分の特徴を振り返って学びになるよう取り組んでおります。箱づくり法検査では視覚的に特徴を共有しやすく、今後の生活を検討するために役立ち、患者さまにも「やってよかった」と感想をいただいております。また、入院の短期化が進む中で、地域貢献や多職種連携が必要であり、アウトリーチ支援を年間27件実施しました。ケースカンファレンスは年間37件参加しました。以前から取り組んでいる公認心理師との協働プログラムであるメタ認知トレーニングはだけでなく、新たに医師、薬剤師、精神保健福祉士との協働プログラムの心理教育プログラムも開始しました。業務改善や目標管理についてもミーティングを実施し、働きやすさと働き甲斐のある職場環境づくりに取り組んでいます。

③ 論文・学会・研究発表・講演

- ・第18、19回滋賀COPD管理講習会 講師 会場：豊郷病院、大津赤十字病院
- ・認知症カフェ出勤 OT2名 毎月1回参加 (8.9月は休み)
- ・がんのリハビリテーション研修 PT2名 OT2名 2023.10.28
- ・うつ予防のためのメタ認知トレーニング出前講座 2023. 8まで 毎月1回開催 OT3名
- ・Bone!Labo出張個別支援 2023.10～ 毎月1回開催 OT3名

・リハ職と地域をつなぐバトン事業への参加

「リハビリテーションの視点を取り入れた介助方法」 2023.10.30

場所：ホームスイートホームみかさつかさ OT3名

「身体向上・維持のための運動プログラム～自立支援介護に向けて～」 2023.11. 21

場所：ハーモニーハウス愛荘 PT3名 OT1名

・岩田夏彦「精神分野の復職支援におけるマネジメント ～ADHD不注意型のケースを通して～」

滋賀県作業療法学会シンポジウム 2023.12.10 プロシードアリーナHIKONE

療法別延患者数（病院）

延患者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
理学療法	脳血管	外来	8	11	8	6	2	6	8	9	12	16	19	17	122	
		入院	344	372	385	437	337	270	222	213	218	259	265	320	3,642	
		合計	352	383	393	443	339	276	230	222	230	275	284	337	3,764	
	運動器	外来	164	165	175	161	167	173	180	181	130	123	138	137	1,894	
		入院	733	753	768	680	812	788	815	735	782	700	810	832	9,208	
		合計	897	918	943	841	979	961	995	916	912	823	948	969	11,102	
	呼吸器	外来	18	16	18	18	17	17	16	11	15	13	18	15	192	
		入院	120	88	100	75	49	31	55	86	39	138	185	210	1,176	
		合計	138	104	118	93	66	48	71	97	54	151	203	225	1,368	
	心疾患	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		入院	56	54	65	52	68	70	26	13	16	16	14	0	450	
		合計	56	54	65	52	68	70	26	13	16	16	14	0	450	
	がん	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		入院	0	15	34	8	13	19	20	13	0	4	9	34	169	
		合計	0	15	34	8	13	19	20	13	0	4	9	34	169	
	合計	外来	190	192	201	185	186	196	204	201	157	152	175	169	2,208	
		入院	1,253	1,237	1,352	1,252	1,279	1,178	1,138	1,060	1,055	1,117	1,238	1,396	14,555	
		合計	1,443	1,429	1,553	1,437	1,465	1,374	1,342	1,261	1,212	1,269	1,458	1,565	16,808	
	作業療法	脳血管	外来	8	11	8	6	2	3	8	6	5	5	6	7	75
			入院	346	372	388	410	344	280	224	215	210	237	232	267	3,525
			合計	354	383	396	416	346	283	232	221	215	242	238	274	3,600
運動器		外来	16	9	24	32	23	21	15	18	17	25	23	20	243	
		入院	764	737	767	636	808	773	830	771	762	705	787	739	9,079	
		合計	780	746	791	668	831	794	845	789	779	730	810	759	9,322	
呼吸器		外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		入院	70	25	29	37	49	31	34	20	12	52	86	98	543	
		合計	70	25	29	37	49	31	34	20	12	52	86	98	543	
心疾患		外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		入院	52	46	55	47	57	52	24	12	17	20	15	0	397	
		合計	52	46	55	47	57	52	24	12	17	20	15	0	397	
がん		外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		入院	0	17	30	11	17	18	19	13	0	6	7	29	167	
		合計	0	17	30	11	17	18	19	13	0	6	7	29	167	
合計		外来	24	20	32	38	25	24	23	24	22	30	29	27	318	
		入院	1,232	1,197	1,269	1,141	1,275	1,154	1,131	1,037	1,001	1,020	1,133	1,140	13,730	
		合計	1,256	1,217	1,301	1,179	1,300	1,178	1,154	1,061	1,023	1,050	1,162	1,167	14,048	
言語療法		脳血管	外来	13	11	5	4	4	5	4	4	6	3	3	7	69
			入院	158	153	163	160	143	161	84	133	137	139	123	126	1,680
			合計	171	164	168	164	147	166	88	137	143	142	126	133	1,749
精神OT		755	699	770	586	694	672	698	640	683	638	626	387	7,848		
訪問リハ		152	158	177	169	160	151	155	153	155	131	116	127	1,804		
パストラールとよさと		1,590	1,637	1,723	1,587	1,739	979	1,715	1,670	1,609	1,505	1,500	1,561	18,815		

(統計：リハビリテーション科)

放射線科

① スタッフ

放射線科医長	土井 久和（副院長・医師）
医長	1名（常勤）
放射線科医	5名（非常勤・内4名は遠隔画像診断）
診療放射線技師	7名（常勤6名・非常勤1名）
看護師	1名（非常勤）

② 参加実績

- 2023年 5月28日 第37回滋賀県放射線技師会学術研究発表会 ピアザ淡海
- 2023年 6月25日 厚生労働省告示243号研修（告示研修）滋賀医科大学 研修センター
- 2023年10月12日 第97回比叡山画像カンファレンス キラリエ草津
- 2023年11月28日 第1回滋放技 湖東支部研修会・総会 彦根文化プラザ
- 2024年 2月 8日 生活習慣病予防健診・特定保健指導実施機関事務説明会 男女共同参画センター
- 2024年 2月28日 第44回滋賀県放射線技師会CT分科会 キラリエ草津

放射線撮影人数

【科別】

診療科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
全科	撮影	1,084	1,248	1,236	1,187	1,178	1,085	1,359	1,438	1,336	1,126	1,108	1,121	14,506	
	C T	442	484	492	495	493	447	447	416	413	422	440	486	5,477	
	MRI	172	173	206	177	154	140	152	147	151	153	125	143	1,893	
内科計	撮影	179	177	167	178	172	154	156	140	156	171	181	167	1,998	
	C T	101	118	129	116	108	87	111	109	87	91	106	108	1,271	
	MRI	9	9	14	11	14	10	12	11	9	11	9	14	133	
	循環器科	撮影	84	90	85	76	79	80	67	58	65	77	87	81	929
		C T	18	17	23	21	14	18	9	16	13	10	16	14	189
		MRI	3	1	2	2	1	1	1	0	0	2	2	4	19
	消化器科	撮影	15	5	5	18	15	13	12	9	9	8	18	17	144
		C T	57	72	67	62	69	56	65	68	47	53	68	60	744
		MRI	6	8	9	8	10	8	10	8	8	8	5	9	97
	心療内科	撮影	3	3	4	5	3	0	3	3	3	4	5	5	41
		C T	5	3	9	1	7	0	3	2	2	2	0	7	41
		MRI	0	0	0	1	2	0	1	1	0	0	2	1	8
一般内科	撮影	11	9	9	16	15	4	8	11	18	22	8	9	140	
	C T	16	20	22	25	15	8	27	18	21	22	15	24	233	
	MRI	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	0	6	
透 析	撮影	66	70	64	63	60	57	66	59	61	60	63	55	744	
	C T	5	6	8	7	3	5	7	5	4	4	7	3	64	
	MRI	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3	
呼吸器科	撮影	331	372	322	289	347	265	332	329	326	302	304	315	3,834	
	C T	136	139	151	153	159	153	139	111	116	130	136	150	1,673	
	MRI	3	4	5	0	2	2	5	4	5	3	2	6	41	
外 科	撮影	55	58	58	54	65	69	79	57	52	49	49	53	698	
	C T	35	49	36	40	50	53	40	50	48	42	41	42	526	
	MRI	1	5	5	3	3	0	5	4	0	2	1	1	30	
泌尿器科	撮影	30	41	55	36	45	26	21	37	26	20	33	40	410	
	C T	30	35	33	36	32	34	22	32	31	21	35	30	371	
	MRI	5	4	5	5	7	4	4	9	6	5	10	13	77	

皮膚科	撮影	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	C T	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
	MRI	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
脳神経外科	撮影	4	10	2	9	5	3	1	8	9	4	0	0	55
	C T	10	15	14	13	18	11	8	14	13	15	8	5	144
	MRI	22	19	32	27	25	17	19	21	20	23	4	5	234
整形外科	撮影	203	264	289	313	292	284	250	245	299	303	261	325	3,328
	C T	9	12	9	15	8	11	19	7	11	19	16	26	162
	MRI	26	19	34	24	25	24	30	13	23	33	28	36	315
小児科	撮影	5	15	25	6	2	6	2	9	5	6	7	4	92
	C T	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	MRI	2	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	6
産婦人科	撮影	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	C T	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	MRI	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
耳鼻咽喉科	撮影	4	19	10	7	6	13	6	4	4	7	6	6	92
	C T	20	9	13	19	23	10	18	10	12	10	11	14	169
	MRI	6	3	12	8	7	2	2	1	2	3	6	3	55
眼科	撮影	15	15	18	16	16	13	17	11	9	13	12	14	169
	C T	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	3
	MRI	1	1	1	2	0	0	0	1	0	2	0	1	9
歯科口腔外科	撮影	104	97	106	108	88	83	91	90	94	90	107	95	1,153
	C T	13	9	16	17	15	12	16	11	17	17	10	16	169
	MRI	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
精神神経科	撮影	23	17	17	13	16	10	26	19	16	17	16	12	202
	C T	20	23	19	17	23	17	19	16	16	25	19	21	235
	MRI	2	9	9	3	2	3	7	4	5	5	6	3	58
認知症外来	撮影	9	1	4	2	1	3	4	2	3	1	4	2	36
	C T	27	28	30	28	27	25	25	22	27	23	32	28	322
	MRI	5	6	2	3	2	3	4	2	4	2	4	1	38
神経内科	撮影	1	5	0	1	0	0	0	0	0	3	2	0	12
	C T	1	3	2	7	5	1	0	2	3	4	2	5	35
	MRI	8	5	6	6	11	6	3	6	7	6	7	8	79
健診	撮影	108	141	158	148	116	152	370	484	334	136	126	85	2,358
	C T	1	3	2	0	0	3	3	1	1	2	0	0	16
	MRI	6	5	9	9	6	9	7	5	5	0	1	0	62
老健科	撮影	3	7	4	5	1	3	23	3	4	4	3	1	61
	C T	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MRI	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	撮影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C T	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MRI	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
院外	撮影	13	15	5	5	7	4	3	3	3	4	0	3	65
	C T	39	41	38	33	23	30	26	30	31	23	23	40	377
	MRI	76	82	69	75	50	59	53	64	65	57	47	52	749

(統計：放射線科)

【部位別】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
頭頸部	単純	3	19	11	11	4	14	6	4	4	6	9	10	101	
	造影	脳血管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		頭部造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頸部	パノラマ	45	40	47	47	41	37	47	45	49	42	54	55	549	
	デンタル	58	65	63	59	47	49	49	54	45	50	54	46	639	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	106	124	121	117	92	100	102	103	98	98	117	111	1,289	
	単純	653	759	696	640	645	575	764	819	714	609	597	575	8,046	
胸部	造影	血管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	2	3	6	4	4	5	9	5	2	1	2	1	44
	乳腺	16	17	31	32	20	22	28	23	22	24	23	21	279	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	671	779	733	676	669	602	801	847	738	634	622	597	8,369	
腹部	単純	73	79	95	84	104	77	80	89	99	91	102	126	1,099	
	造影	消化管	18	27	22	19	17	27	126	153	112	29	20	15	585
		尿路	2	4	3	4	3	1	3	1	1	1	4	2	29
		血管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
その他	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	4		
小計	94	111	120	108	126	106	209	243	212	121	126	144	1,720		
脊椎四肢等	単純	226	289	351	371	360	362	322	298	344	373	330	358	3,984	
	造影	血管	6	12	0	6	8	0	6	6	2	4	6	0	56
		その他	0	3	1	1	0	0	0	1	2	1	1	7	17
	骨塩定量	33	37	42	38	29	32	38	46	40	36	38	35	444	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	265	341	394	416	397	394	366	351	388	414	375	400	4,501		
ポータブル	47	20	38	44	63	58	76	58	76	56	56	65	657		
外科イメージ	2	2	3	1	3	1	0	3	1	0	1	2	19		
その他	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4		
合計		1,185	1,377	1,409	1,362	1,354	1,261	1,554	1,605	1,513	1,323	1,297	1,319	16,559	

(統計：放射線科)

部位別【CT】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭頸部	Plain	106	120	124	119	130	105	106	97	130	111	109	117	1,374
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	Plain + CE (画像処理)	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	6
	小計	108	121	124	119	133	105	106	98	131	112	110	118	1,385
胸部	Plain	158	153	160	164	160	156	155	115	116	142	126	154	1,759
	CE	3	1	3	5	2	2	1	1	2	0	4	2	26
	Plain + CE (画像処理)	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	小計	161	155	164	169	162	158	156	117	118	142	130	156	1,788
腹部	Plain	127	152	156	155	145	139	130	140	119	109	139	139	1,650
	CE	1	4	5	2	3	4	5	3	3	3	4	5	42
	Plain + CE (画像処理)	19	23	9	21	23	26	19	20	19	21	17	23	240
	小計	147	179	170	178	171	169	154	163	141	133	160	167	1,932
脊椎	Plain	4	2	4	3	4	2	7	4	4	5	5	7	51
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE (画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	4	2	4	3	4	2	7	4	4	5	5	7	51

関節等・四肢	Plain	20	16	10	10	6	8	9	13	10	16	18	23	159
	CE	1	1	0	2	2	1	0	1	0	2	0	0	10
	Plain + CE (画像処理)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	小計	21	17	10	12	8	10	9	14	10	18	18	23	170
その他	Plain	13	20	26	20	20	9	22	23	16	19	25	20	233
	CE	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	Plain + CE (画像処理)	1	1	1	0	0	1	3	0	1	0	2	2	12
	小計	14	21	27	20	20	11	25	23	17	19	27	22	246
計	455	495	499	501	498	455	457	419	421	429	450	493	5,572	

(統計：放射線科)

画像処理には、3D, CTA, AngioCT, MPR, mip等の処理。

部位別【MRI】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭頸部	Plain	23	24	26	19	16	12	10	12	15	15	15	15	202
	CE	0	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	5
	Plain + CE	0	2	1	2	0	0	2	1	0	2	1	0	11
	MRA	39	44	53	48	40	37	47	44	41	33	26	22	474
	小計	62	71	80	69	57	49	60	58	56	51	42	37	692
胸部	Plain	2	1	4	0	1	0	0	1	2	0	2	0	13
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MRA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2	1	4	0	1	0	0	1	2	0	2	0	13
腹部	Plain	14	17	21	17	19	16	18	23	20	16	21	32	234
	CE	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	Plain + CE	1	1	2	0	2	2	0	0	0	1	0	1	10
	MRA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	15	18	24	17	21	18	18	23	20	17	21	33	245
脊椎	Plain	61	48	68	55	51	43	40	43	40	48	34	55	586
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MRA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	61	48	68	55	51	43	40	43	40	48	34	55	586
関節等・四肢	Plain	33	35	31	39	25	31	34	23	34	39	26	19	369
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MRA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	33	35	31	39	25	31	34	23	34	39	26	19	369
その他	Plain	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MRA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	173	173	207	180	155	141	152	148	152	155	125	144	1,905	

MRAは腹部の場合にはMRCPを含む。

(統計：放射線科)

機能別病棟

- (1) 2025年に向けて、より効率的な医療提供体制の方向に進め、急性期からリハビリを活用して回復期リハビリ・在宅復帰支援と在宅医療の医療提供を行い、精神科医療と併せて入院から社会復帰できる支援を行う「地域密着型病院」を目指し在宅療養後方支援病院として“かかりつけ医”と連携を強化しました。しかし新型コロナウイルス感染症が5類下げ後も一般・回復期・精神の病棟でクラスターが発生し大幅な患者減少をはじめ、看護師不足により各病棟共稼働率の低下となりました。
- (2) 業務効率向上・情報の共有化・データ一元管理・医療安全の確保、退院促進を実施し効果的な運用を目指しました。
- (3) 平均在院日数短縮にむけて積極的な新規入院患者の獲得や退院・転棟を目指しました。
- (4) コロナ発生時の病床管理や湖東医療圏での地域住民の安心・安全確保の為、2023年9月末まで初期認知症対応型地域包括ケア病棟32床のうち9床をCOVID病棟の運用を行いました。10月以降は、一般病棟にてCOVID専用でゾーニングを行い受け入れました。
- (5) 10月より初期認知症対応型地域包括ケア病床32床の再開を目指しましたが、看護師確保が難しく再開の目途が立たず休床といたしました。
- (6) 地域包括ケア病棟では、一般病棟の稼働の影響から転棟患者が減少し、また算定期限超え患者(60日)も増加しました。
- (7) 回復期リハ病棟は、脳血管疾患患者の増加にて安定稼働ができていましたがクラスターの影響により一時的に稼働率が低下しました。
- (8) 精神科病棟については、急性期患者の増加により高稼働で推移していましたが、クラスターの影響があり急性期から療養への転棟がスムーズにいかない時期もあり、長期患者の退院により新規入院患者の獲得に苦戦し空床期間が多くなりました。

機能別病棟

2022(令和4)年度実績

病棟	定数	年間延人数	一日当り	稼働率
一般病棟	186	51,971	142	76.6%
3-3(一般急性期)	51	12,745	35	68.5%
3-4(一般急性期)	54	15,311	42	77.7%
3-2(地域包括ケア)	51	13,862	38	74.5%
5-2(回復期リハ)	30	10,053	28	91.8%
療養病棟1-3(地域包括ケア・初期認知症)	32	661	4	11.3%
精神病棟	120	34,960	96	79.8%
3-5(精神療養)	60	18,173	50	83.0%
3-6(精神急性期)	60	16,787	46	76.7%
合計	338	87,592	240	71.0%

臨床検査科

① スタッフ

臨床検査科医長 高木 敬文 主任 澤田 祐子

臨床検査技師 7名

(常勤3名、非常勤1名、メディック3名)

② 特色・成績

臨床検査科は、生理検査部門・検体検査部門の2部門で構成されており、検査科の基本理念である「迅速・正確・丁寧な臨床検査」を心掛け、日々の内部精度管理はもとより、外部精度管理の参加によって、検査データの正確性を高めるよう努めています。

皆様に安心して検査を受けていただけるよう、日々努力を重ね、検査を実施しています。

2023年度における検査件数は、検体検査が422,524件(99.4%)生理検査が7,406件(112.5%)で検体検査は前年度比0.1%減、生理検査は前年度比12.2%増となった。

検体検査では前年度よりわずかな減少はみられたが、全分類においてさほど大きな減少は見られず、前年度と変わらない件数となった。

生理検査は前年度に比べ全体で1.1割増。検査種別ではコロナ終息に伴い呼吸器系検査が大きく増加、NO呼気検査50.2%、肺機能検査3.2%、終夜睡眠ポリグラフ検査25.5%増加。また健診における脳ドック受診者の増加に伴い、頸部超音波検査28.8%と大幅な増加がみられた。全体としては循環器系の検査が大きく減少している。新規検査項目として7月から開始した尿素・呼気試験、11月から再開した健診時の簡易聴力検査は増加率100%(比較は不可)となり、生理検査全体としては12.2%増となった。

2023年度の成績としては、検体検査部門においては外部精度管理として、日本医師会、日本臨床検査技師会、滋賀県臨床検査技師会のサーベイに参加。滋賀県技師会の精度管理では全ての項目でA評価を、日本医師会の精度管理では98.2点と高評価を獲得。(本精度管理は検査のレベルを計る指標となっている。)

生理検査部門においても外部精度管理(生理検査部門)に参加。当院で実施している心電図検査・呼吸機能検査・無呼吸睡眠時検査・聴力検査・神経生理検査(脳波検査含む)・超音波検査(4項目)の6部門に参加し、全問正解の成績を修めた。

また4月より1名が入職。2期連続で新卒者の入職となり体制基盤の強化に努め、2023年度より健診業務にも従事。健診時の検査だけでなく、読影・成績管理などの業務を担当し、健康診断受診者の増加に繋がった。

さらに、当検査科においても実施可能と考えられる業務については積極的に行っているよう、タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会に参加、資格認定を取得した。

各種学会・研修会への参加等、日常業務における検査レベルの向上を行っている。

③ 研修等参加実績

2023年7月22日	滋賀県臨床検査技師会主催 臨床生理研修 超音波検査実技講習会参加 3名
2023年8月12日	心電図の基礎から3歩進むセミナー 2名
2023年10月22日	タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 参加修了認定 澤田 祐子 小林 のぞみ 星野 遼
2024年3月1日	心電図検定3級取得 小林 のぞみ 星野 遼

生理検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心電図	320	325	342	336	330	327	444	454	391	304	286	232	4,091
負荷心電図	0	5	8	1	0	0	1	0	0	0	0	0	15
ホルター心電図	3	2	2	4	9	6	4	4	6	5	7	6	58
肺気量分画・FVカーブ	42	62	79	70	100	63	68	61	57	60	56	44	762
フローボリュームカーブ	0	2	1	1	6	0	2	0	1	2	2	3	20
NOガス分析	27	26	32	20	41	22	31	23	31	39	31	39	362
脳波12L	4	5	11	5	6	7	5	9	2	6	5	6	71
脳波12L負荷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終夜睡眠ポリグラフ	3	6	6	5	6	6	5	4	3	6	3	6	59
血管伸展性検査	21	10	16	15	8	13	14	15	3	11	12	8	146
心エコーグラム	49	49	83	69	52	45	50	47	46	48	48	53	639
腹部エコーグラム	27	41	47	43	53	44	54	59	40	36	33	24	501
頸動脈エコーグラム	9	5	12	12	7	13	10	10	9	4	1	2	94
下肢血管エコーグラム	1	3	4	6	5	5	2	3	2	2	4	3	40
乳腺エコーグラム	2	1	0	0	0	3	1	3	2	0	1	0	13
内臓脂肪検査	0	0	0	1	2	0	2	4	2	4	3	2	20
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	159	97	0	90	54	400
鼻腔通気度検査	6	8	4	5	11	5	7	2	5	4	4	4	65
尿素呼気検査	0	0	0	6	7	5	4	3	8	5	7	5	50
計	514	550	647	593	636	559	700	857	697	531	586	486	7,406

検体検査件数

【院内】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023年度 合計
一般検査(尿・便)	657	846	739	739	651	752	1,016	848	793	617	625	550	8,833
血液学検査	2,766	3,003	3,078	3,108	3,003	2,903	3,168	2,691	2,750	2,678	2,784	2,877	34,809
生化学検査Ⅰ	19,882	22,094	22,249	22,717	21,749	21,496	22,940	19,305	20,099	19,364	20,384	20,677	252,956
生化学検査Ⅱ	348	416	404	385	375	376	365	340	373	341	358	369	4,450
免疫学検査	925	1,128	1,097	1,097	1,058	977	1,077	950	912	899	948	1,033	12,101
微生物学検査													
病理学検査													
血中薬物検査	25	7	7	17	23	14	22	13	17	21	19	25	210
輸血検査	7	29	27	7	24	12	16	12	22	10	16	18	200
合計													313,559

【院外】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023年度 合計
一般検査(尿・便)	190	217	230	240	192	231	259	231	219	207	230	163	2,609
血液学検査	826	859	942	960	947	999	881	858	897	803	809	700	10,481
生化学検査Ⅰ	5444	5195	5876	6282	6393	6066	5814	5249	5580	5277	6241	4209	67,626
生化学検査Ⅱ	852	845	853	906	878	845	881	747	808	804	874	702	9,995
免疫学検査	648	615	738	710	707	655	724	606	593	568	557	632	7,753
微生物学検査	656	712	809	746	715	751	877	692	701	560	660	632	8,511
病理学検査	133	132	143	129	161	139	123	145	95	108	108	122	1,538
血中薬物検査	25	23	19	68	68	26	12	27	19	12	88	16	403
輸血検査	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	0	5
機能検査	0	0	6	10	2	4	6	2	4	8	2	0	44
合計													108,965

【分類別合計】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023年度 合計
一般検査(尿・便)	847	1,063	969	979	843	983	1,275	1,079	1,012	824	855	713	11,442
血液学検査	3,592	3,862	4,020	4,068	3,950	3,902	4,049	3,549	3,647	3,481	3,593	3,577	45,290
生化学検査Ⅰ	25,326	27,289	28,125	28,999	28,142	27,562	28,754	24,554	25,679	24,641	26,625	24,886	320,582
生化学検査Ⅱ	1,200	1,261	1,257	1,291	1,253	1,221	1,246	1,087	1,181	1,145	1,232	1,071	14,445
免疫学検査	1,573	1,743	1,835	1,807	1,765	1,632	1,801	1,556	1,505	1,467	1,505	1,665	19,854
微生物学検査	656	712	809	746	715	751	877	692	701	560	660	632	8,511
病理学検査	133	132	143	129	161	139	123	145	95	108	108	122	1,538
血中薬物検査	50	30	26	85	91	40	34	40	36	33	107	41	613
輸血検査	7	29	27	8	25	13	16	12	23	10	17	18	205
機能検査	0	0	6	10	2	4	6	2	4	8	2	0	44
合計													422,524

注) 検体検査は1項目1件とする
輸血検査の交叉試験ではIパック1件とする

医療安全室

① 医療安全の確立を図り、安全な医療の遂行を徹底するため、個人の責任追及ではなく医療安全管理システムの問題として捉え、医療安全室のメンバーが中心に組織横断的に取り組む。

② スタッフ

井内 武和	医療安全室室長		
岡田 尚也	医薬品安全管理責任者	福本 善之	医療機器安全管理責任者
田畑 靖代	医療安全管理者	川俣 佳彦	放射線安全管理責任者
横田 こず江	医療安全管理者	岡村 昌彦	医事課長

③ 活動内容

- ・ インシデント・アクシデントレポートの内容確認、集積の集計と分析、再発防止策の立案
- ・ 院内を巡回し、マニュアルの遵守、改善策の状況確認を行うとともに、必要な指導
- ・ 医療安全マニュアルの作成と見直し
- ・ M&Mカンファレンスの実施
- ・ 医療事故発生時には報告または連絡後、状況把握と対応
- ・ 医療安全地域連携に関する活動（連携訪問による相互評価 年1回）
- ・ 医療安全の教育・指導・研修会の計画・実施・評価
- ・ 患者相談窓口担当者と連携及び医療安全対策に係る患者・家族の相談対応

④ 医療安全研修会報告

第1回 心肺蘇生法2023 ～BLSと心肺蘇生法の基本的な考え方～

受講者：368名

第2回 災害支援ナースとしての活動報告

受講者：351名

⑤ 2024年度の取り組み

- ・ インシデント・アクシデントレポート報告を分析し改善策を立案し業務改善につなげる。
- ・ インシデント・アクシデントレポート報告によりマニュアル作成や修正を行う。
- ・ 医療安全地域連携の活動
- ・ 医療安全研修会（企画・運営）
- ・ チーム活動

感染管理室

感染制御医（ICD）1名と感染管理認定看護師（CNIC）2名が感染対策チーム（ICT）の中核となり、それぞれの専門性を活かし連携しながら、施設における効果的な感染対策の推進のため、組織横断的に活動を行っています。また、近隣の医療機関とも連携・協力しながら地域全体の感染対策のレベルアップに取り組んでいます。

① スタッフ

伊部邦宏 室長 感染制御医（ICD）

竹内淑江 感染管理認定看護師（CNIC）

小倉幸雄 感染管理認定看護師（CNIC）

② 活動内容

- 1) 各種関連委員会との連携・調整
- 2) 感染症の流行状況・感染情報の収集と把握、対策検討

- 3) サーベイランス
耐性菌、手指消毒剤使用量、CLABSI（中心ライン関連血流感染）、
CAUTI（カテーテル関連尿路感染）、血液体液曝露など
- 4) ICTラウンド；1回/週
- 5) ASTカンファレンス（抗菌薬適正使用、血培陽性患者等）；1回/週
- 6) 職業感染対策（B型肝炎、流行性ウイルス疾患等）の推進
- 7) 感染対策システムの構築とマニュアル作成・改訂
- 8) 感染対策の教育・指導、研修会の計画・実施・評価
- 9) 感染対策相談（コンサルテーション）
- 10) アウトブレイク対応
- 11) 感染対策地域連携に関する活動
- 12) COVID-19対策

③ 研修会

* 全体研修

- 第1回 新型コロナウイルス特別講習会DVD研修
- 第2回 災害時における感染対策DVD研修

④ 2023年度の取り組み

- 1) 手指消毒剤使用量向上のための取り組み（使用量の見える化、強化月間等）
- 2) COVID-19対応（クラスター対策、一般病棟内に専用病棟11床の開設運用）
- 3) 地域連携活動
 - * 4医療機関との合同カンファレンス、新興感染症発生時の想定訓練への参加
 - * 湖東地域感染症対策ネットワーク会議への参加
 - * 高齢者施設等クラスター発生時のラウンド

血液浄化センター

① スタッフ

曾我弘樹（副院長・センター長）
常勤兼務 3人 非常勤 4人

② 特色・症例・治療・成績・実績

2003年8月以来、導入・維持期の血液透析血液濾過透析を中心に実施している。
透析看護認定看護師在籍。

人工透析実績

月	患者数	外来数	入院数	新規導入			転帰			治療方法										手術 (当院)
				新規患者	紹介(転入)	導入	離脱	転院	死亡	血液透析	腹水透析	吸着療法	血漿交換	白血球採取	幹細胞採取	体外循環	HDF	CAPD	他	
4	686	636	50	0	0	0	0	0	0	635	0	0	0	0	0	0	13	0	38	2
5	742	687	55	0	0	0	0	0	0	689	0	0	0	0	0	0	13	0	40	1
6	697	615	82	2	0	0	0	0	0	646	0	0	0	0	0	0	13	0	38	1
7	691	605	86	2	0	0	0	0	0	637	0	0	0	0	0	1	14	0	39	2
8	704	609	95	0	0	0	0	0	0	654	0	0	0	0	0	0	11	0	39	2
9	684	600	84	0	0	0	0	0	1	620	0	0	0	0	0	0	14	0	50	1
10	668	612	56	0	0	0	0	0	1	608	0	0	0	0	0	0	2	0	58	1
11	656	587	69	2	1	0	0	0	0	591	0	0	0	0	0	0	0	0	65	2
12	717	627	90	2	0	1	0	0	0	655	0	0	0	0	0	0	0	0	62	2
1	691	591	100	1	1	0	0	1	0	628	0	0	0	0	0	0	0	0	63	2
2	640	573	67	0	0	0	0	0	0	577	0	0	0	0	0	1	0	0	62	2
3	655	611	44	0	0	0	0	0	0	590	0	0	0	0	0	0	0	0	65	2
合計	8,231	7,353	878	9	2	1	0	1	2	7,530	0	0	0	0	0	2	80	0	619	20

内視鏡センター

① スタッフ

門元優（部長・センター長）

常勤 1人 非常勤 6人 看護師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

上部消化管内視鏡（経口内視鏡・経鼻内視鏡）および下部内視鏡、腹部超音波を用いて消化器疾患の診断、悪性病変の早期発見に努めている。

内視鏡機器の進歩に伴って増加している内視鏡治療にも力を入れ消化管出血止血術、早期癌切除術、総胆管結石除去術など地域の消化器疾患撲滅を目標に治療を行っている。

内視鏡件数

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
BF	B	F	0	0	2	0	0	2		2	1	2	0	1	10
	C	F	28	18	19	35	22	24	15	15	14	9	24	19	242
CF	ポリペクEMR		6	12	11	5	9	7	9	7	5	4	3	7	85
	その他		0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
GF	G	F	62	95	111	111	114	112	111	108	95	79	96	76	1,170
	E R C P		1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	E S D		0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
	PEG造設		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	PEG交換		1	1	3	1	2	0	1	3	1	1	1	0	15
その他		1	0	1	0	2	1	1	1	0	0	0	1	0	7

(統計：内視鏡センター)

健診センター

① スタッフ

常勤 4人

② 特色・症例・治療・成績・実績

一般健診・日帰りドック・乳癌検診・子宮頸癌検診・生活習慣病予防検診・脳ドック（脳動脈瘤、脳腫瘍の早期発見、脳血管障害予防等）など、あらゆる健診に対応しております。

人間ドック・一般検診

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人間ドック	12	19	28	25	36	29	22	37	25	25	14	4	276
一般健診	55	72	76	75	57	68	193	238	167	53	78	52	1,184
その他健診	24	17	27	22	13	44	34	11	16	23	21	8	260
合計	91	108	131	122	106	141	249	286	208	101	113	64	1,720

認知症疾患医療センター

① スタッフ

成田 実（部長・センター長）

常勤 1人 非常勤 1人

精神保健福祉士 専属1名、兼務1名

臨床心理技術者 兼務1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理件数	23	23	19	25	23	24	28	25	20	25	14	17	266

新規受理件数（地域別）

地域別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
彦根	10	11	6	9	10	13	12	11	8	11	5	10	116
多賀	2	2	1	5	1	0	4	1	3	2	1	1	23
甲良	3	1	2	2	2	2	1	3	3	4	1	1	25
豊郷	2	2	1	2	2	4	2	4	3	3	1	3	29
愛荘	2	2	4	3	6	1	7	5	1	4	1	2	38
東近江	3	5	4	4	2	2	1	1	1	1	3	0	27
その他	1	0	1	0	0	2	1	0	1	0	2	0	8
小計	23	23	19	25	23	24	28	25	20	25	14	17	266

新規受理事件数（紹介元別）

紹介元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科診療所	11	8	5	8	8	9	10	6	5	9	5	7	91
精神科診療所	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	4
病院	1	2	4	4	2	1	1	3	1	2	3	1	25
保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市町	1	0	0	0	0	1	1	0	2	1	0	0	6
地域包括支援センター	3	4	0	1	0	3	1	1	3	1	0	0	17
DS、訪問Ns、HH	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅介護支援事業所(CM)	1	1	1	0	2	1	2	0	0	3	1	1	13
家族	0	1	0	0	0	0	1	2	0	1	0	1	6
老健・入所施設・サ高住	0	0	0	1	0	0	1	1	2	1	0	1	7
院内	0	1	2	1	2	1	5	0	3	1	1	3	20
その他	6	5	7	10	9	7	4	12	4	6	4	3	77
合計	23	23	19	25	23	24	28	25	20	25	14	17	266

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

日 時：2024 (R6) 年3月30日 (土) 14:00～

場 所：豊郷病院

豊郷病院 公開セミナー 「認知症の人への声のかけ方、接し方 -説得より納得-」

認知症疾患医療センター長 成田実 医師

回復期リハビリテーションセンター

① スタッフ

医師（センター長）	若林 正人	言語聴覚士	1名
看護師長	横田こず江	薬剤師	1名
看護師（含准看護師）	19名	管理栄養士	1名
リハビリテーション副技師長	近藤 則子	CW・クラーク	6名
理学療法士	5名	MSW	2名
作業療法士	6名		

② 特色・症例・治療・成績・実績

豊郷病院 回復期リハビリテーション病棟では、急性期での治療を終えた患者様が、在宅での生活を安心安全に過ごして頂くために、日常生活動作の援助や リハビリテーションを行っております。

2023年度 紹介元 医療施設	2023年度 疾患別症例件数
彦根市立病院 107件	運動器リハビリテーション 332件
湖東記念病院 23件	脳血管疾患リハビリテーション 143件
院内 11件	廃用リハビリテーション 0件
その他 28件	合計 475件
合計 169件	

在宅療養サポートセンター（とよサポ）

① スタッフ

古川 みどり（センター長・師長）
 堀尾 素子（認知症看護認定看護師・師長）
 羽座岡 美香（常勤看護師）
 谷川 明実（非常勤看護師：オレンジ5兼務）

② 特色・症例・治療・成績・実績

2023年度の相談件数は3366件。（総相談件数のうち、認知症に関するものが1406件。全体の41.77%を占める。）気軽に相談して頂ける敷居の低い相談窓口として地域に浸透してきたと自負している。医師を含めた院内多職種からの情報提供も増えた。

開設当初から、とよサポのスタンスは同じ。在宅療養を安心して安全に長く続けられるように支援していくこと。全員で情報共有し、「介護保険のサービスが優先」「治療入院とレスパイト入院の違いを支援者に理解して頂くこと」「レスパイト入院の目的の明確化」「救急受診＝入院の確約ではない」こととしている。

認知症疾患医療センター、オレンジ5と連携を継続。湖東圏域の自殺未遂者支援事業の窓口にもなっている。

③ 論文・学会・研究発表・講演・トピックス

2023年8月4日	令和5年度入退院支援看護師養成研修～当院の取り組み～	講師
2023年9月15日、16日	看護職員認知症対応力向上研修	講師
2023年10月14日	甲良町認知症フォーラム	講師
2023年11月30日	病院勤務以外の医療従事者認知症対応力向上研修	講師
2024年1月14日	滋賀県認知症フォーラム	講師
	～回想法を取り入れた認知症カフェ「豊豊」の取り組み～	
2024年1月27日	滋賀県看護連盟 地域包括ケア研修会	講師
	～地域包括ケアシステムの視点から認知症対策を考える～	
2024年3月6日、8日	令和5年度院内医療安全研修	
	～能登半島地震に災害支援ナースとして参加して～	講師
2024年3月25日	重症度、医療。看護必要度院内研修	講師

オレンジ5の活動：認知症についての出前講座（事業所・4町・キャラバンメイトの育成）
 家庭訪問。認知症についての普及活動。4町会議への出席。
 県内の包括支援センター視察。

3 愛知・犬上医師連絡会

講演・研究発表

日時・場所・内容：

◇2023年6月9日（金）14：00～15：00

パストラールとよさと 研修室

「下部尿路症状診療の基本」

－前立腺肥大症と過活動膀胱を中心に－

泌尿器科部長 益田 良賢 医師

◇2023年9月8日（金）14：00～15：00

パストラールとよさと 研修室

「せん妄の見方と対処について」 精神科 有福 淳大 医師

「DWIBSの紹介と症例報告」 放射線科 宮下 明彦 放射線技師

◇2024年2月29日（木）17時30分～

「脳血管障害の外科治療：最近の話題」

滋賀医科大学医学部附属病院

脳神経外科学講座 教授 吉田 和道先生

地域連携室事業

4 公開セミナー・出前講座・健康フェスティバル

□ 公開セミナー

- ◇日 時：2024年11月18日(土)14時00分～15時30分
場 所：豊郷病院 内科外来待合い
講 演：『めまいはどのようにして起きるの？』
～耳の病気が原因！“耳性めまい“についてお話しします～
「耳性めまい」について 耳鼻咽喉科 大道 千奈津 医師
「めまい体操”で“めまい解消” 近藤 則子 理学療法士
- ◇日 時：2024年3月30日(土)14時00分～15時30分
場 所：豊郷病院 内科外来待合い
講 演：『認知症の人への声のかけ方、接し方』—説得より納得—
認知症疾患医療センター長 成田 実

□ 出前講座

- ◇日 時：2023年（R5）年8月29日（火）13時30分～16時00分
場 所：彦根市福祉センター
依頼元：彦根市精神障害者家族会あつまろう会
テーマ：『作業療法士の仕事、患者さんへの関わり方のアドバイス、心の持ち方等など』
講 演：リハビリテーション科主任 岩田 夏彦 作業療法士
- ◇日 時：2023年（R5）年9月15日（金）10時15分～16時05分
2023年（R5）年9月16日（土）10時20分～17時30分
場 所：滋賀県看護研修センター
依頼元：滋賀県看護協会
テーマ：「看護職員認知症対応力向上研修の標準的なカリキュラムに基づく研修」
講 演：在宅療養サポートセンター師長 堀尾 素子 認知症看護認定看護師
- ◇日 時：2023年10月14日（土）10時00分～11時00分
場 所：甲良町公民館
依頼元：甲良町デイサービスセンターけやき
テーマ：「在宅療養サポートセンターとよサポにおける認知症支援コーディネータの取り組み」
講 演：在宅療養サポートセンター師長 堀尾 素子 認知症看護認定看護師
- ◇日 時：2023年11月30日（水）14時00分～16時30分
場 所：滋賀県看護研修センター
依頼元：滋賀県看護協会
テーマ：「認知症対応力向上に関わる 知識、実践、社会資源について」
講 演：在宅療養サポートセンター師長 堀尾 素子 認知症看護認定看護師

□ 豊郷町健康フェスティバル

- ◇日 時：2023（R5）年10月15日（日）
・健康啓発コーナー（各種測定、相談など）
場 所：豊郷町民体育館 談話室
・救護班（けがや体調不良の救急処置など）
場 所：豊郷町民体育館内

5 全職員研修会

	日 時	テーマ	担 当
1	5月～12月 毎月第2木曜 15:00～16:00	第1回医療安全研修会 「BLS研修(実技を伴う)」	医療安全管理対策委員会 医療安全室
2	11月18日	公開セミナー&ホスピタルコンサート 「めまいはどうして起きるの?」	耳鼻咽喉科 大道千奈津医師/地域連携室
3	11月27日 17:00～	医療ガス安全研修	医療ガス安全委員会
4	12月13日 17:15～18:15	知って得する研修会 呼吸リハビリと身体所見の取り方	リハビリテーション科
5	12月28日 ～1月31日	NST・褥瘡予防対策研修会ビデオ研修 「褥瘡ケアと皮膚ケアについて」	NST委員会・褥瘡対策委員会
6	1月9日 ～3月31日	虐待防止研修会ビデオ研修	虐待防止委員会
7	1月31日 ～2月29日	個人情報保護対策・ ITセキュリティ対策研修会 (映像視聴研修)	個人情報保護対策・ ITセキュリティ委員会
8	2月13日 17:15～18:15	ACP&共同意思決定(SDM)について学ぼう	ACPワーキング委員会
9	2月13日 ～3月27日	人権研修会DVD研修 「アサーションで防ぐ セクシュアル・ハラスメント」	人権教育推進委員会
10	2月	第2回感染対策研修会ビデオ研修 「～熊本地震・熊本豪雨・新型コロナウイルス のパンデミックを経験して～」	院内感染防止対策委員会 感染管理室
11	3月6日、3月8日 17:10～18:00	第2回医療安全研修会 「災害支援ナースとしての活動報告」	医療安全管理対策委員会 医療安全室
12	3月30日 4:00～15:30	公開セミナー 「認知症の人への声のかけ方、接し方」	認知症疾患医療センター長 成田実医師/地域連携室

6 災害総合避難訓練

目的 地震・火災などの災害時に、病院機能の維持、災害医療の対応、組織利用した情報収集、救護班派遣等の対応による人命救助、被害の軽減・減災を図り、平素より組織化した訓練を実施、並びに職員への啓蒙による災害予防と、避難器具を体験して技術を習得することを目的とする。

日時 2023（令和5）年11月21日（火）午後2時00分（想定午後2時00）

訓練の内容

①地震の訓練

M6.5の地震発生、直ちに全館放送にて全職員に連絡を入れ、施設等に異常がないか確認し各所属長が本部（3病棟1階北出入口付近）へ報告。

②訓練火災警報発令（①から約3分後）

地震訓練に続き、火災訓練を実施。現場は3病棟3階デイルーム付近より。火災報知機のベルが鳴り、自動火災警報が作動。延焼の恐れあり。直ちに全館放送が流れ、消火器・散水栓による初期消火訓練と、担架搬送による避難訓練を行う。

消防査察

2024（令和6）年3月15日（金）9：30～11：20

彦根消防犬上分署より4名査察に来院。法廷書類との相違、現場の検証等行われ、数か所改善等の指摘あるも、大きな問題点なく終了。前回の査察は2016年7月。

7 ボランティア活動

地域との連携により社会力を活用し、患者サービスの向上と療養環境の充実を図る事を目的としてボランティアによる院内活動について協議する。

活動状況

(1) 開催時期 年6回の定例会議、必要に応じて臨時会議を開催

(2) 審議事項 ・ボランティアの受け入れと現場との調整について

・ボランティア保険の加入について

・催し（七夕コンサート/生け花の展示/病棟レクボランティア等）について

(3) ボランティアの活動

1、拡大紙芝居 毎月1回 定期実施（サロンひまわり）

※2023年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を休止

2、生け花展示 ①2023年7月4日～7月11日

②2023年12月18日～12月25日

③2024年3月1日～3月11日

3、七夕コンサート 年1回7月開催

※2023年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止

- 4、花壇の整備 随時
 - 5、精神科病棟、回復期病棟でのボランティア：臨時（単発）
- (4) 交流会の開催
- 目的：ボランティアとの交流と情報交換及び催しの計画についての相談等
- ※2023年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止

ボランティア運営委員会事業

8 院内（外）地域交流活動

- 1. 職員献血運動 4月25日（火）、10月30日（月）
- 2. 院外周辺美化運動 5月10日（水）、7月12日（水）、10月18日（水）
- 3. 宇曽川・街並みクリーン作戦 中止（各事業所にて）
（豊郷町行事参加）
- 4. とっとまつり 8月5日（土）
（豊郷町行事参加）
- 5. 豊郷町健康フェスティバル 10月15日（日）
（各種測定・看護栄養相談）
- 6. 物故者追弔会 12月20日（水）
- 7. 地藏盆 8月30日（水）
- 8. 夏祭り 8月29日（火）
- 9. 地域に向けた公開セミナー&ホスピタルコンサート 11月18日（土）
- 10. 七夕コンサート 中止
- 11. 出前講座 8月29日（火）、9月15日（金）・9月16日（土）、
10月14日（土）、11月30日（水）
- 12. 認知症カフェ「豊豊」 毎月第3土曜日9：30～11：30
（豊郷町委託事業）

9 実習生受入状況

診療部

彦根市立病院 精神科研修医	2023年7月31日～12月15日	3名
滋賀医科大学 学外臨床実習	2023年5月8日～6月2日	1名
	2023年6月5日～6月30日	1名

[理学療法 (一般科・回復期)]

びわこリハビリテーション専門職大学	2023年4月10日～5月1日	4名
	2023年7月3日～7月30日	4名
	2024年1月8日～2月18日	4名
	2024年3月4日～3月10日	4名
京都橘大学	2023年4月3日～5月12日	1名
	2023年5月22日～6月30日	1名
	2024年1月15日～2月16日	1名
	2024年2月19日～2月24日	1名
佛教大学	2023年4月4日～5月27日	1名
	2023年6月5日～7月29日	1名
	2023年9月4日～9月9日	1名
	2023年9月11日～9月16日	1名
京都医健専門学校	2023年5月15日～7月7日	1名
	2023年7月31日～9月22日	1名
愛媛十全医療学院	2023年5月8日～6月24日	1名
	2023年7月10日～8月26日	1名
	2023年9月4日～10月28日	1名
	計29名	

[作業療法 (一般科・回復期病棟)]

びわこリハビリテーション専門職大学	2023年7月3日～7月28日	2名
	2023年9月4日～9月8日	3名
	2024年1月9日～2月16日	1名
	2024年3月4日～3月8日	3名
京都橘大学	2023年5月8日～5月30日	1名
	2023年9月11日～9月13日	2名
	2024年1月29日～2月9日	1名
	2024年2月5日～2月22日	1名
	計14名	

[作業療法 (精神科)]

びわこリハビリテーション専門職大学 2024年1月9日～1月17日 1名
計1名

[言語聴覚療法学科(一般科・回復期病棟)]

京都医健専門学校 2023年8月23日～9月20日 1名
2023年10月11日～11月22日 1名
大阪医療技術学園専門学校 2023年5月29日～7月24日 1名
計3名

看護部

[看護実習]

聖泉大学 老年看護学実習Ⅱ(3週間)	2023年4月	3-2病棟	1グループ(5名)
聖泉大学 老年看護学実習Ⅱ(3週間)	2023年4月～5月	5-2病棟	2グループ(11名)
聖泉大学 老年看護学実習Ⅱ(3週間)	2023年11月～2024年2月	3-2病棟	2グループ(8名)
聖泉大学 老年看護学実習Ⅱ(3週間)	2023年10月～2024年3月	5-2病棟	3グループ(12名)
神戸常盤大学通信課程 老年看護学実習(2日間)	2023年7月6日～7日	5-2病棟	2名
滋賀県立大学 老年看護学実習(2週間)	2023年9月～2024年2月	5-2病棟	5グループ(29名)
聖泉大学 成人(慢性期)看護学実習(3週間)	2024年1月～2月	3-4病棟	2グループ(8名)
聖泉大学 精神看護学実習(2週間)	2024年1月～2月	3-5病棟	2グループ(8名)
聖泉大学 精神看護学実習(2週間)	2024年2月～3月	3-6病棟	3グループ(13名)

[養護実習]

びわこ学院大学 養護教諭看護臨床実習(10日間) 2024年2月8日～22日 2名

[中学生・高校生]

近江兄弟社高等学校	高校生一日看護体験	2023年7月26日	1名
彦根翔西館高等学校	高校生一日看護体験	2023年7月28日	2名
秦荘中学校	職場体験学習(3日間)	2023年6月6日～8日	4名
稲枝中学校	職場体験学習(3日間)	2023年6月14日～16日	4名
彦根中学校	職場体験学習(3日間)	2023年7月10日～12日	8名
彦根総合高校	体験学習(半日)	2023年9月15日	10名
愛知中学校	職場体験学習(3日間)	2023年10月4日～6日	7名
豊日中学校	職場体験学習(3日間)	2023年10月24日～26日	4名

医療福祉相談室

●中学校職場体験学習

秦荘中学校	2023年6月6日	4名
稻枝中学校	2023年6月14日	4名
彦根中学校	2023年7月10日	8名
愛知中学校	2023年10月4日	7名
豊日中学校	2023年10月24日	4名

●精神保健福祉実習

佛教大学	2023年8月7日～8月24日	1名
京都文教大学	2023年8月21日～9月5日	1名
京都医療福祉専門学校	2023年11月20日～12月6日	1名

●その他実習

びわこ学院大学看護臨床実習	2024年2月9日	1名
---------------	-----------	----

薬 劑 部

京都薬科大学	2023年8月21日～2023年11月5日	1名
京都薬科大学	2023年11月20日～2024年2月11日	1名

10 受賞・表彰関係

【院内表彰】

2024/1/4 永年勤続20年表彰

看護師（師長）	横田 こそ江
理学療法士（部長）	吉田 環
理学療法士（係長）	織部 恭史
事務員	森田 克哉
看護師	中村 悦子
看護師	村越 紀子
ケアワーカー	今村 政孝
事務員	近藤 裕子
介護福祉士（係長）	西山 健一
介護福祉士（係長（所長）	土川 裕人
介護福祉士・CM（係長（所長）	山崎 京子

【院外表彰】

2023年度 滋賀県病院協会永年勤続15年表彰

薬剤師	出口 郁子
作業療法士（主任）	岩田 夏彦
看護師（主任）	小野 将之
看護師	鋒山 志穂
事務職員（課長補佐）	熊木 英夫
事務職員（主任）	北川 未奈実
事務職員	大矢 進
介護福祉士（主任）	辻 有技
介護福祉士	川津 好美
介護福祉士	西川 朝美

11 各種委員会報告

医療倫理委員会

人間を直接の対象とした医療行為および医学的研究行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に添った倫理的配慮のもとに行なわれること。

活動状況

- (1) 開催時期 随時
- (2) 審議事項
 - ・滋賀県内の前立腺がん診断契機に関する多施設共同調査（2022年診断例）
 - ・入院患者看取り方針の適否について
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員6名（内地域住民代表1名）

輸血療法委員会

輸血、輸注の適切な使用および実施に伴う事故防止を図る。輸血療法が安全・適正かつ経済的に行われることを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 年6回 偶数月の第1金曜日
- (2) 審議事項
 - ・血液製剤の適正使用の徹底化
 - ・輸血の副作用
 - ・輸血関連の感染症
 - ・過誤輸血の防止
 - ・血液製剤の保管・供給・返血
 - ・成分輸血・自己血輸血などの分野
 - ・輸血関連の記録・書式
 - ・本規定の改正に関すること
 - ・その他、必要と思われる事項
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員6名

薬事委員会

病院の薬事に関する基本方針を定め、その方針にそって院内薬事業務を円滑に遂行する。

活動状況

- (1) 開催時期 原則 月1回 第3金曜日
- (2) 審議事項
 - ・新規仮採用医薬品の審議
新規仮採用医薬品の「医薬品仮採用願」の提出期限は前月25日までとし、申請できる医師は原則として医長以上とする。
 - ・採用削除医薬品の審議
削除する医薬品については残量を全医師に報告し、使用を促進する。
 - ・本採用医薬品の審議
本採用医薬品とは仮採用後、3か月経過した医薬品のことをいう。
副作用の発現など問題がなければ本採用。

- ・医薬品の適切な使用方法の協議
- ・在庫医薬品の適切な管理と運用
- ・医薬品の副作用の検討
院内副作用報告書、厚生労働省医薬品等安全性情報など
- ・その他薬事関係で円滑な病院運営に必要な事項の審議

- (3) 人員構成 委員長（薬剤部長）、常勤医師、看護部長（必要時他部門も出席）
※委員長に事故ある時は、病院長がその職務を代行する。

安全衛生委員会

職場における従業員の安全と健康を確保するため必要な業務を行う。

法人内各部署と連携し、職場における従業員の安全と健康を確保する。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回第1金曜日
- (2) 審議事項 ・健康診断の実施
- | | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 春の健康診断 | 5月23日（火）～25日（木）の3日間実施
都合の悪い職員に対し、後6日間追加実施
対象者：夜勤・当直・電離関係者 |
| 秋の健康診断 | ・生活習慣病予防検診（35歳以上の協会けんぽ加入者）
10月から12月の間に実施
・定期健康診断（35歳未満と協会けんぽ未加入者）
10月24日（火）～26日（木）の3日間実施
都合の悪い職員に対し、後4日間追加実施 |
- ・春・秋・年末の交通安全運動の推進
 - ・労働災害減少に向けた啓発活動
 - ・労働者の精神的健康の保持増進に向けた取り組み
 - ・ストレスチェック実施 2024年1月16日（火）～2月22日（木）
- (3) 人員構成 委員長、産業医、衛生管理者3名、感染管理1名、委員11名

院内感染防止対策委員会

院内感染防止に関する事項を審議し必要な感染対策の方針を決定する。

活動状況

- (1) 開催時期 毎月1回 第4木曜日 17：00～
- (2) 審議事項
- ①入院患者のMRSA、ESBL産生菌等の耐性菌の検出状況
 - ②病院全体の細菌検出状況
 - ③血液培養検査の実施状況と検出結果等
 - ④手指消毒剤の使用量結果、向上のための取り組み
 - ⑤感染症の流行状況（院内・院外）の把握、早期発見、対応
 - ⑥血液・体液曝露報告
 - ⑦職員のインフルエンザ予防接種関連について

- ⑧感染対策研修会の計画・実施・評価
- ⑨CLABSI（中心ライン関連血流感染）サーベイランス結果
- ⑩CAUTI（カテーテル関連尿路感染）サーベイランス結果
- ⑪新型コロナウイルス感染症対応

●全体研修

- 第1回 新型コロナウイルス特別講習会DVD研修
2023年11月
- 第2回 災害時における感染対策DVD研修
2024年2月21日～3月15日

(3) 人員構成 委員長1名 委員15名 メディック職員1名

院内感染コントロールチーム（ICT委員会）

院内感染の予防を目的に、各部署の現状を把握してチームとして取り組む。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第2金曜日
- (2) 審議事項
 - ・院内ラウンドの実施（毎週1回）
 - ・抗菌薬ラウンドの実施（第1週・第2週・第5週 木曜日）
（第3週・第4週 金曜日）
 - ・院内ラウンドの結果報告及び対策についての検討
 - ・抗菌薬の使用状況及び抗菌薬ラウンドの結果報告
 - ・入院患者における耐性菌の検出状況の報告
 - ・耐性菌別検出状況の報告（MRSA・ESBL・MRCNS）
 - ・Clostridium difficile（クロストリジウムディフィシル）の検出結果の報告
 - ・手指消毒剤使用量（部署別）の報告
 - ・血液・体液曝露サーベイランス結果の報告及び毎月の状況報告
 - ・インフルエンザの発生状況の報告
 - ・各種感染症に対する予防方法やリスク回避の検討
 - ・中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランスの結果及び報告
 - ・ノロウイルスの発生状況の報告
 - ・感染防止対策加算3における合同カンファレンス及びラウンドの報告
 - ・地域連携加算取得におけるラウンドの報告
 - ・新型コロナウイルス感染症の予防対策及び当院でのクラスター事例について
 - ・院内感染対策研修会（DVD研修）の開催
新型コロナウイルス特別講習会
災害時の感染対策
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員16名

リスクマネジメント委員会

医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立する。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第4金曜日
- (2) 審議事項
 - ・毎月のインシデント・アクシデント発生件数、内容、種類の集計報告
 - ・事例発生の内容を検討と各部署、委員会への業務改善依頼
 - ・転倒・転落発生件数報告（部署別発生件数報告）前年度比較・月別推移や事例報告
 - ・各部署からの事例報告からの改善策の提案と検討
 - ・医療機器に関する事例報告からの改善策の報告
 - ・医薬品に関する事例報告からの改善策の報告
- (3) 人員構成 委員長1名 委員26名

医療安全管理対策委員会

適切な医療安全管理を推進し、医療事故防止対策の充実と安全な医療の提供を確立する。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第4金曜日
- (2) 審議事項
 - ・医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療安全責任者から提案された事項について審議や決定
 - ・院内で発生したアクシデント事例や患者相談窓口でのクレーム内容などの報告と対応の検討
 - ・医療安全に関する規定の見直し、委員の変更
 - ・アクシデント・インシデント年間集計報告
 - ・医療安全地域連携訪問の報告
 - ・医療安全研修の企画と運営
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員11名

重大医療事故対策委員会

重大事故発生時に、事故の経緯、原因の確認を実施し、再発防止するための体制を確立する。

活動状況

- (1) 開催時期 随時
 - ・医療事故報告書に基づく原因分析
 - ・再発防止策への取り組み
 - ・病院全体への周知
- (2) 人員構成 委員長1名 委員13名

苦情処理委員会

活動状況

- (1) 開催時期 随時
- (2) 人員構成 委員長 委員 8名

賠償請求対策委員会

活動状況

- (1) 開催時期 随時
- (2) 人員構成 委員長 委員 9名

広報委員会

活動状況

- (1) 開催時期 随時
- (2) 審議事項 病院紀要・年報の発行に関する検討
- (3) 人員構成 委員長 1名 委員 5名

ホームページ委員会

病院のホームページの管理・更新を行い、常に新しく正しい情報を発信していくことで、病院の広報活動を行っている。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3火曜日
- (2) 審議事項
 - ・ホームページの更新及び管理
 - ・WEBサーバー管理（委託）
 - ・プロバイダー管理（委託）
 - ・メールアドレスの発行
- (3) 人員構成 委員 8名

広報プロジェクト

法人は、内部の活動内容やあらゆる情報を、患者、利用者、診療所、行政並びに学校、就学生など、地域社会に幅広く発信し、PRを行い、法人の認知度を高め、発展に努める。

また、病院と地域の診療所がより密接な関係を築き、紹介患者や医療機器の共同利用を図るため、院内の情報を広く伝達、広報することを目的とする。

「医心伝心」発行：年4回（4月、7月、10月、1月）

活動状況

- (1) 開催時期 「医心伝心」発行約1ヶ月半～2ヵ月前
 - ①2023(令和5)年4月27日(木)
 - ②2023(令和5)年8月3日(木)
 - ③2023(令和5)年10月25日(水)
 - ④2024(令和6)年1月31日(水)
- (2) 審議事項 掲載内容、作成日程、発行部数、配布先などの審議
- (3) 「医心伝心」発行

・No.77 春季号	2023(令和5)年4月
・号外版(パストラル)	2023(令和5)年4月
・No.78 夏季号	2023(令和5)年7月
・号外版(耳鼻咽喉科)	2023(令和5)年8月
・号外版(放射線科)	2023(令和5)年8月
・No.79 秋季号	2023(令和5)年10月
・号外版(耳鼻咽喉科)	2023(令和5)年10月
・号外版(レスパイト入院)	2023(令和5)年12月
・No.76 冬季号	2024(令和6)年1月
- (4) 人員構成 委員長1名、委員5名(うち広報委員2名)

接遇サービス向上委員会

医療・介護サービスの充実を図り信頼される病院づくりのために、職員の接遇ならびに利用者のサービスを強力に推進し、苦情にも積極的に取り上げてあらゆる角度から改善を実践する。また、その活動を通じて全職員が医療職として成長し、職場全体のモラルが向上することを目指す。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第2水曜日 15時から
- (2) 審議事項・お手紙の回収と検討および改善報告
 - ・新採用者のオリエンテーション実施
 - ・職員への接遇マナー研修会の企画・運営 等
- (3) 人員構成 委員長1名 委員16名

人権教育推進委員会

「同和問題の解決は国民的課題であるとともに企業の社会的責任であり、あらゆる差別の解消に向けて積極的に取り組み、明るい活気ある職場づくりをするため」を目的に全職員へ病院内外での人権学習の機会を提供し、積極的な参加を呼び掛ける。

2023年度 人権啓発活動目標

「誰か」のこと じゃない。違いを認め合い、相手の気持ちを考えよう

活動状況

- (1) 開催時期 2023年 4月10日 (月)
2023年10月16日 (月)
- (2) 研修・学習内容
- 院内
- ・新入職員対象人権研修会
2023年4月4日(火) 新入職員21名
DVD研修 「サラーマット ～あなたの言葉で～」
 - ・新入職員対象人権研修会
 - ・管理職員・人権推進者対象人権研修会
2023年5月31日(水) 4～5月入職の新入職員20名
講師：公財) 滋賀県人権センター 杉本 正紹 氏
テーマ：「人権を身近に感じよう」
 - ・2023 豊郷病院人権研修会 参加者550名
DVD研修 「アサーションで防ぐセクシュアル・ハラスメント」
2月中旬から3月末までの間にDVD研修にて実施
 - ・職場別人権学習
職場単位におけるビデオ学習・院外研修会参加 全職場で実施
- 院外
- ・外部研修会等に参加 事業主、人権担当者
主催 滋賀県
滋賀人権啓発企業連絡会
滋賀人権啓発企業連絡会彦根ブロック 等

地域連携委員会

医療機関・介護施設・地域など、外部とのあらゆる連携や教育啓蒙活動等について検討し、当法人の予防・治療・介護支援を一体的・包括的に提供できるシステムを構築していくことを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 不定期開催
委員会開催日 2024(令和6)年3月12日(火) 持ち回り会議
- (2) 審議事項
- ・2023年度の行事報告(愛知・犬上医師連絡会、地域向け行事)
 - ・2024年度の行事計画(愛知・犬上医師連絡会、地域向け行事)
 - ・地域連携委員会の規定について(見直し)
 - ・その他、愛知犬上医師連絡会の行事計画・公開セミナー・豊郷町健康フェスティバル・その他地域行事・開業医からの救急・入院受け入れについてなど
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員11名

防火班

病院の災害を防止し、安全かつ適切な防災体制を確立する。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第3火曜日

防災訓練の実施

① 防火非難総合訓練 (3病棟3階にて)

2023年11月21日 (火)

② 初期消火避難訓練 (3病棟5階にて)

2023年 3月19日 (火) (延期) ⇒ 4月16日 (火)

※但し、コロナ禍にあり、防火・防災訓練は規模を縮小し開催。

7月の防火班、3月の春期訓練はクラスター発生により

それぞれ中止、延期としております。

(2) 審議事項 ・2023年度防火班事業活動計画書

・消防訓練の計画準備 年2回 (春季及び秋季)

・災害対策マニュアルに沿った訓練の実施及び消防計画の内容の周知拡大

・消防設備、火災受信機など器具の取扱いマスター保守管理

・秋季及び春季火災予防運動期間中のポスター掲示及び旗による防火啓発

(3) 人員構成 防火管理者1名 班長1名 班員15名

医療ガス安全管理委員会

医療ガス設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。

活動状況

(1) 開催時期 年4回 (研修・訓練含む)

(2) 審議事項 ・在宅酸素療法における火気の取扱いについて

・火災等における緊急時のガス漏れ対応について

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長4名 委員7名

栄養管理委員会

入院患者・患者給食に対する栄養管理および給食業務の改善と合理化を図る。

活動状況

(1) 開催時期 栄養管理委員会 年2回 (6月、12月)

栄養管理小委員会 年10回

(2) 審議事項 ・献立について

・行事食の確認

・栄養補助食品について

・食事量・食器等について

・配膳車・下膳車の取り扱いについて

・備蓄食について

・医師検食簿の確認

・インシデント内容とその対策について

- ・アンケート結果の報告・検討
- ・栄養指導件数報告
- ・電子カルテ（移動食事カレンダー）入力について
- ・感染対策について
- ・細菌検査報告
- ・食物アレルギーについて
- ・お茶について
- ・食札について
- ・入院診療計画書について
- ・規定の確認

- (3) 人員構成 栄養管理委員会：委員長1名 委員15名（日清医療食品(株)3名）
栄養管理小委員会：委員11名（日清医療食品(株)2名）

図書委員会

職員の専門的知識を深め、質の向上を図るため。

活動状況

- (1) 開催時期 不定期
開催日 2023年6月1日
- (2) 審議事項 ・会計報告
・年間予算額の決定
- (3) 人員構成 委員長1名 委員4名

個人情報保護対策委員会

個人情報保護法の対策を検討し、個人情報の保護が行われているのかの監査を行い、職員に実施されることを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 不定期
- (2) 審議事項 個人情報保護対策委員会と情報セキュリティ委員会を統合することに決定
個人情報またはセキュリティの研修は入職時とケアワーカー研修で毎年行っている
- (3) 人員構成 院長 副院長 各診療部長 委員18名

手術室運営委員会

手術室運営委員会は、以下の事項を審議して安全に円滑に手術室運営が行えるようにする。

- ・手術室運営に関する事
- ・医療設備に関する検討
- ・医療機器の修理、新規購入に関する事項
- ・電子カルテに関する取り決め手順などの統一

活動状況

- (1) 開催時期 2ヶ月に1回
- (2) 審議事項
 - ・手術予定に関して協力要請
 - ・コロナ禍に対応すべき方法の検討
 - ・病棟・手術室関連インシデントの改善策に対する協力依頼(手順の変更)
 - ・COVID-19はじめ他ワクチン接種後の全身麻酔を受ける患者についての検討
 - ・術中出血に関する検討事項

他

- (3) 人員構成 委員長1名 委員7名 手術室スタッフ

ボランティア運営委員会

地域との連携により社会力を活用し、患者サービスの向上と療養環境の充実を図る事を目的としてボランティアによる院内活動について協議する。

活動状況

- (1) 開催時期 年6回の定例会議、必要に応じて臨時会議を開催
- (2) 審議事項
 - ・ボランティアの受け入れと現場との調整について
 - ・ボランティア保険の加入について
 - ・催し(七夕コンサート、生け花の展示、病棟レクボランティア等)について
- (3) ボランティアの活動
 - 1、拡大紙芝居 毎月1回 定期実施(サロンひまわり)
※2023年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を休止
 - 2、生け花展示
 - ①2023年7月4日～7月11日
 - ②2023年12月18日～12月25日
 - ③2024年3月1日～3月11日
 - 3、七夕コンサート 年1回7月開催
※2023年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止
 - 4、花壇の整備 随時
 - 5、精神科病棟、回復期病棟でのボランティア 臨時(単発)
- (4) 交流会の開催
 - 目的：ボランティアとの交流と情報交換及び催しの計画についての相談等
 - ※2023年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止
- (5) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員5名

クリニカルパス委員会

チーム医療の推進、インフォームド・コンセントの促進、リスクマネジメントの促進等を目的として、各種疾患に対するクリニカルパスの作成・使用推進を行う。

活動状況

- (1) 開催時期 年2回 6月・11月の第2月曜日 14時～
- (2) 審議事項
 - ・使用中のクリニカルパスの修正：大腸ポリペクトミーパスの見直し
 - ・新しいクリニカルパスの作成：白内障1泊2日パスの承認

・クリニカルパスの運用について

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員13名

電子カルテ委員会

電子カルテの運用を検討し、保存義務のある情報を適切に保存するとともに、適正に利用することに資することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 隔月1回 第3火曜日
- (2) 審議事項・マスタの設定または運用の見直し
 - ・適正利用の確認
 - ・改善要望の進捗報告
- (3) 人員構成 委員長1名 委員21名

診療情報管理委員会

診療情報管理の円滑な運営を図るため、診療情報管理及び診療記録に関する事項の検討を行う。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第2水曜日
- (2) 審議事項・診療記載の開示等について
 - ・診療記録の記載について
 - ・各文書の書式変更について
 - ・メンバー変更について
 - ・診療情報の共有について（オーダーでの文書管理）
 - ・サマリーの記入率について
 - ・その他
- (3) 人員構成 委員長1名 診療情報管理士3名 委員6名

血液浄化センター運営委員会

血液浄化センターが安全かつ適切な医療・ケアを確立するために必要な事項を定める。

活動状況

- (1) 開催日 年1回の定例会を開催。ただし、必要に応じて委員長は臨時の委員会を招集できる。
2024年1月9日（火）
- (2) 審議事項
 - ・採血項目と便検査の検討
 - ・送迎バス運用について
- (3) 人員構成 委員長1名 委員4名、その他センター長が必要と定めたもの

NST・褥瘡対策委員会

院内における栄養サポート対策・褥瘡対策を討議・検討し、栄養サポートに関する知識、褥瘡に関する知識の増進・普及を図り、日常生活自立度が低い入院患者に対して栄養サポート対策、褥瘡予防と対策を図るとともに、医療の向上の促進に貢献することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 毎週水曜日 14時半～回診
第3水曜日 16時～会議

研修会 〈院外〉

- ・第33回、第34回京滋NST研究会（京都）
- ・第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会（神戸）

〈全体研修会〉

テーマ：『褥瘡ケアと皮膚ケアについて』

講師：医療法人 医誠会 本部 特定疾患分野対策室

皮膚・排泄ケア認定看護師 香川 愛先生

日時：2023年11月8日（水）17時10分～18時10分

→各職場にて動画を視講（2023年12月～2024年1月末まで）

- (2) 審議事項
- ・回診マニュアル評価
 - ・委員会規定について
 - ・研修会案内、アンケート集計
 - ・全体研修会の企画検討
 - ・褥瘡について
 - ・監査、共同指導（近畿厚生局・県・厚生労働）について
 - ・回診記録について
 - ・研修報告

- (3) 人員構成 委員長1名 委員20名

外来・救急運営会議

活動状況

- (1) 開催時期 年6回 奇数月 第1金曜日 16時～

- (2) 審議事項
- ・地域連携室を通しての予約状況について
 - ・救急外来患者数の統計（毎月）
 - ・外来診療に関する事項について（一般外来・救急外来）
 - ・待ち時間調査について
 - ・ワクチン接種に関する事項について

- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長2名 委員9名

エコ委員会

公益財団法人豊郷病院の各事業所におけるエコ活動への継続的な取り組みを推進し、各職員が業務のムダ・ムラ・ムリを無くし、不要な経費を削減し、法人の収益改善に貢献することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回最終月曜日
- (2) 審議事項・職場巡視（委員会終了後）
 - ムダの排除、並びに職員へのエコ意識の周知
 - ・エコ強調月間にポスター配布による啓発活動や、点検票により各職場の点検を実施
4月…『廃棄物』、7月…『電気』、12月…『水』
 - ・冷暖房の効率的な使用方法の検討及び周知
 - ・節電対策の周知徹底
 - ・廃棄物の分別と削減方法の検討及び周知
- (3) 人員構成 委員長1名、副委員長1名、委員18名

関連施設委員会

法人内の関連施設が有機的に連携できるよう課題解決を図る会議

活動状況

- (1) 開催時期 年4回
- (2) 審議事項
 - ・感染対策について
 - ・各事業所の運営状況
 - ・その他
- (3) 人員構成 委員長1名 委員20名

SPD委員会

物品管理状況の把握と経費削減を目的に、委員会にて報告と提案を行う。

活動状況

- (1) 開催時期 隔月第3火曜日
- (2) 審議事項
 - 物品購買実績報告
 - 物品消費実績報告
 - 新規医療材料等導入案内
- (3) 人員構成 委員長1名 委員10名

その他委員会

- 表彰委員会
- 懲戒委員会
- 制服委員会
- 制服委員会専門部会 歯科衛生士の部
- 保育所運営委員会
- ワークライフバランス推進委員会 等

〈藥劑部門〉

〈医療技術部門〉

薬剤部理念

豊郷病院薬剤部は病院の基本理念に基づき、患者さまの安全を確保し、安心と満足が得られる質の高い医療の提供とサービスに努めます。

基本目標

1. 責任ある医薬品管理の徹底。
2. 適正な処方せんによる調剤。
3. 患者情報の収集・解析と適切な対応。
4. 医療事故防止策の周知徹底。
5. チーム医療への積極的な参画。
6. みんなが納得するサービスの提供。

1 薬剤部事業報告

薬剤部

① 概要

薬剤部では調剤業務（外来、入院）以外に、医薬品の安全性などの情報を収集・整理し、スタッフに情報を伝達する医薬品情報管理（D I）業務、抗癌剤や高カロリー輸液（T P N）の無菌調製業務、薬剤管理指導、配薬セット等の病棟業務、そして手術・検査予定患者の手術の延期などの不利益を回避するための外来での入院前面談など様々な業務を行っています。

とくに、薬剤管理指導業務については、ほぼすべての入院患者さんの持参薬確認を行うとともに、患者さんへの薬効や副作用の説明、有効性や副作用の発現の有無などの確認をしています。最近では薬剤総合評価調整加算の算定にも力を入れ、ポリファーマシー対策にも取り組んでいます。なお、入院中に薬の変更があれば薬剤管理サマリーを調剤薬局に提供するなど薬薬連携強化にも積極的に取り組んでいます。

また、地域の皆さんに少しでも安心して薬を服用していただけるよう、豊郷病院広報誌『以心伝心』（年4回発行）に【～薬剤部だより～】というページを設け、薬に関する内容の掲載を行っています。

今後も薬物療法の質と安全確保に努め、薬の専門家として地域医療に貢献していきたいと考えます。

② スタッフ

薬剤師 常勤 : 9名
事務員 常勤 : 1名 非常勤 : 1名

③ 活動実績

薬剤管理指導人数	2,692人
薬剤管理指導件数	5,874件
薬剤管理指導料算定件数	4,731件
退院時指導件数	1,155件
麻薬指導加算件数	85件
抗がん剤調製	183件
TPN製剤調製	1,659件
入院処方箋枚数	33,612枚
入院注射箋枚数	32,400枚

○実習生受け入れ状況（2023年度） 2名

2 医療技術部事業報告

栄養科

① 概要

栄養科は知識と技術の向上に励み、また多職種と連携して患者さんが入院・退院後の生活を安心して送れるように努めております。

② スタッフ

科長 篠原 ひづき (科長)

安西 麻里子

藤居 美来

西川 真保 (認定資格：病態栄養専門管理栄養士 1名、栄養サポートチーム専門療法士 1名)

③ 活動実績

彦根市ケアマネジメント支援会議

- ・第5回 (10月17日)、第7回 (12月19日)

湖東・食と栄養を考える会

- ・4月20日、8月17日、9月12日、11月16日、12月21日
2024年1月18日、2月15日、3月21日 (Zoom)
- ・9月12日‘令和5年度 湖東圏域栄養ケア研修会’
- ・2024年2月29日‘学会分類2021に対する嚥下調整食の調理実習’

ことう地域チームケア研究会

- ・食と栄養 5月11日

(公益)滋賀県栄養士会 医療事業部運営委員会

- ・6月25日、3月10日 (守山)
- ・2024年1月21日 (オンライン)

令和5年度 認知症カフェ (豊郷町 隣保館 地域振興室)

テーマ「認知症と食事」6月17日

④ 研修活動

- ・令和5年度特定健診・特定保健指導実践者育成研修
7月27日、8月9日、8月23日 (1・2日目：Zoom、3日目：草津)
- ・第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会 (神戸)
- ・第68回日本透析医学会学術集会 (神戸)
- ・第33回、第34回京滋NST研究会 (京都)
- ・第27回日本病態栄養学会年次学術集会 (京都、オンデマンド視聴)
- ・滋賀県栄養士会2023年度生涯学習・再教育講習会 (Web受講)
- ・新調理システムセミナー (大阪)
- ・その他 (心不全、糖尿病、高齢者・認知症・精神科患者さんの食支援、透析など)

栄養科 患者給食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
一般食	11,593	11,863	12,007	12,773	12,813	12,193	12,302	11,664	11,330	11,570	11,654	12,439	12,017
特別食	8,622	9,135	8,678	8,706	8,518	7,965	7,533	7,279	7,170	7,333	7,398	7,997	8,028
食数合計	20,215	20,998	20,685	21,479	21,331	20,158	19,835	18,943	18,500	18,903	19,052	20,436	20,045
経管栄養食	234	192	207	120	129	195	273	490	497	433	175	262	267
総合計	20,449	21,190	20,892	21,599	21,460	20,353	20,108	19,433	18,997	19,336	19,227	20,698	20,312
特別食加算の割合	42.7	43.5	42.0	40.5	39.9	39.5	38.0	38.4	38.8	38.8	38.8	39.1	40.0

(統計：栄養科)

栄養指導実績 (2023年4月～2024年3月)

				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入 院	糖 尿	D	M	3	2	3	8	3	2	2	2	2		4	4	35
	脂質異常症	H	L			1							1	1		3
	高 血 圧	H	T	3		6	9	4	6	12	4		2	3	8	57
	心 不 全	心 不 全								1			1	2	2	6
	腎 臓	腎 臓		1		1	1									3
	透 析	H	D	1	1	6	3		2	2		2	1	1	2	21
	呼吸器疾患	C O P D														0
	脾 臓	脾 臓														0
	胃切術後	胃 切			2		2	1								5
	胃潰瘍	胃潰瘍														0
	低残渣	低残渣									1					1
	肝 臓	肝 臓														0
	貧 血	貧 血														0
	嚥 下	嚥 下			1				1	1	2		2			7
	肥 満	O B														0
	低栄養	低栄養			1											1
食生活	食生活														0	
計				8	4	20	21	9	12	18	9	4	7	11	16	139
外 来	糖 尿	D	M	57	41	44	32	33	37	46	48	55	43	43	41	520
	脂質異常症	H	L		6	2	7	5	5	4	3	5	3	5	3	48
	高 血 圧	H	T	2	2	5	4	5	4	7	6	15	13	9	4	76
	心 不 全	心 不 全														0
	肝 臓	肝 臓		1			2				1				1	5
	腎 臓	腎 臓			1		2					1	1	1		6
	透 析	H	D	1	1	4	4	3		4	1	2	3	1	4	28
	高尿酸血症・痛風	高尿酸			1											1
	呼吸器疾患	C O P D														0
	脾 臓	脾 臓														0
	肥 満	O B			1	1	1		1	1		2	1		1	9
	小 児	小 児				1		1				1				3
	貧 血	貧 血														0
	低栄養	低栄養										1				1
	がん	C a r														0
	胃切術後	胃 切										1				1
特定保健指導	特 保		3	2				1			1			1	2	10
計				64	55	57	52	48	47	62	60	83	64	60	56	708
総合計				72	59	77	73	57	59	80	69	87	71	71	72	847

(統計：栄養科)

放射線科

※活動状況及び放射線撮影データは（36）頁参照

臨床検査科

※活動状況及び検査データは（41）頁参照

臨床工学科

① 概要

臨床工学科の理念に基づき、患者様が安全・安楽に治療が受けられるよう医療機器の保守・点検・操作の充実を目指します。また、より良い治療のサポートが出来る様に個々のスキルを上げ、チーム医療に携わっていきたいと考えています。

② スタッフ

医療技術部長兼技士長：福本 喜之 係長：北川 香里 主任：外川 巧

常勤6名

認定資格（呼吸療法認定士3名、血液浄化専門臨床工学技士1名、透析技術認定士1名）

③ 活動実績

★毎月医療機器院内研修会実施 講師：臨床工学技士 対象：看護師他

★医療機器点検・検査・特殊浄化療法

	品目	2021	2022	2023
医療機器点検総件数	人工呼吸器	59	42	54
	麻酔器	186	156	156
	ベッドサイドモニター	484	452	374
	輸液・シリンジポンプ	135	264	143
	超音波ネブライザー	82	76	77
	バックバルブマスク	15	18	45
医療機器保守点検（透析）	DCS/DBB-100NX,DBG03	34	34	34
	DAB-20	2	2	2
	RO	2	2	2
	A・B剤溶解装置	2	2	2
	JUN505	12	12	12
医療機器修理総件数		204	218	234

睡眠時無呼吸検査解析総件数	PSG解析	56	48	56
	SAS2100解析	40	39	46
	PULSOXMe300解析	14	24	12
生菌・エンドトキシン測定	エンドトキシン測定、生菌培養	135	152	142
CPAP導入総件数	S10、DS、Airmini、A10	60	25	41
InBody検査総件数(体液量測定)		310	376	317
シャントエコー			74	112
発熱外来	SARS-CoV-2抗原検査	1802	3334	2965
	インフルエンザ抗原検査	1082	1553	2672
	PCR検査	4452	5481	1419
特殊浄化総件数	LDL吸着	7	0	0
	エンドトキシン吸着	2	0	1
	CHDF	11	3	22
	血液吸着 (DHP)	26	8	0
	GCAP	19	0	4

④ 研修活動

CKD生活目標セミナー	5月	北川・畦地	京都
第68回日本透析医学会	6月	北川	神戸
第34回日本サイコネフロロジー学会	7月	山脇・畦地	大垣
第44回滋賀腎・透析研究会	9月	北川	大津
業務範囲拡大に伴う厚生労働大臣指定による研修	11月	福本	大阪
業務範囲拡大に伴う厚生労働大臣指定による研修	12月	外川	大阪
第3回滋賀県リクセル講演会(演者)	3月	北川	草津

〈看護部門〉

看護部の理念

その人らしさの回復をめざし
その人らしく生きることを支える

看護部の基本方針

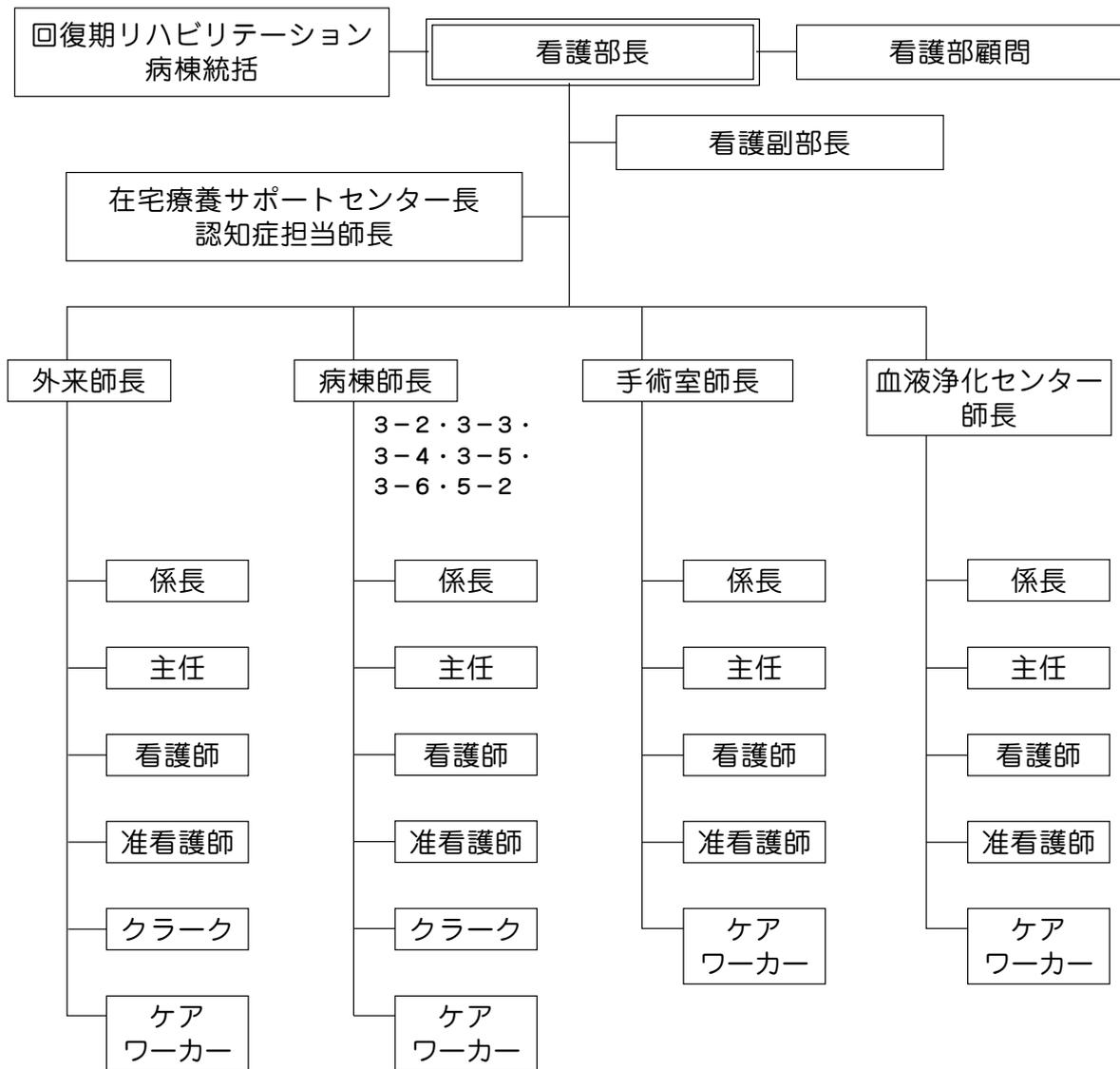
- 地域医療計画に基づき、病棟、病院、地域、施設との看看連携を促進し、切れ目のない看護サービスを提供する
- 患者・家族を中心として仲間及び多職種と協働できる向上心ある組織風土を築く
- 自立支援、意思決定支援につながる看護技術およびコミュニケーション能力の向上をめざす
- 「育つ」「育てる」人材育成のできる教育的環境を整える
- リスクマネジメントを推進し、医療事故を未然に防ぐ
- コスト意識を高くもち、効率性を考えムダ・ムリ・ムラをなくす

公益財団法人 豊郷病院 看護部

1 看護部組織系統図

2024.4

看護部



(2024年4月現在)

2 看護部運営委員会組織図

看護部運営会議

看護部長：西村
看護副部長：川口（教育担当）
看護部顧問：片山
回復期リハビリテーション病棟統括：外川

看護副部長：加藤（業務担当）
看護副部長：木村（新人教育担当）

看護サービスの質を向上させるための教育および看護職員の
人材活用を効率よく進めるための方向性を決める
必要時開催

災害看護 ワーキング グループ	委員長 田中 外川 第1火曜日 15:00-16:00 (奇数月のみ)
ACP ワーキング グループ	委員長 梶立 第2火曜日 15:00-16:00
実習指導者会	委員長 森田 外川 必要時に召集 1時間

師長会

看護部の目標に則り、次の事項を審議し決定する
看護管理（業務・労務・健康管理等）に関すること
各部署、各委員会の運営に関すること
看護職員、学生・研修生の教育・研修に関すること
他職種、事故対策に関すること
その他看護部内の諸問題に関し、必要なこと

第2水曜日 14:00～15:30 第4木曜日 14:00～15:30

朝ミーティング

ベッドコントロール
伝達事項
インシデント・アクシデントの情報共有
応援体制の調整
タイムリーな情報共有と部署連携

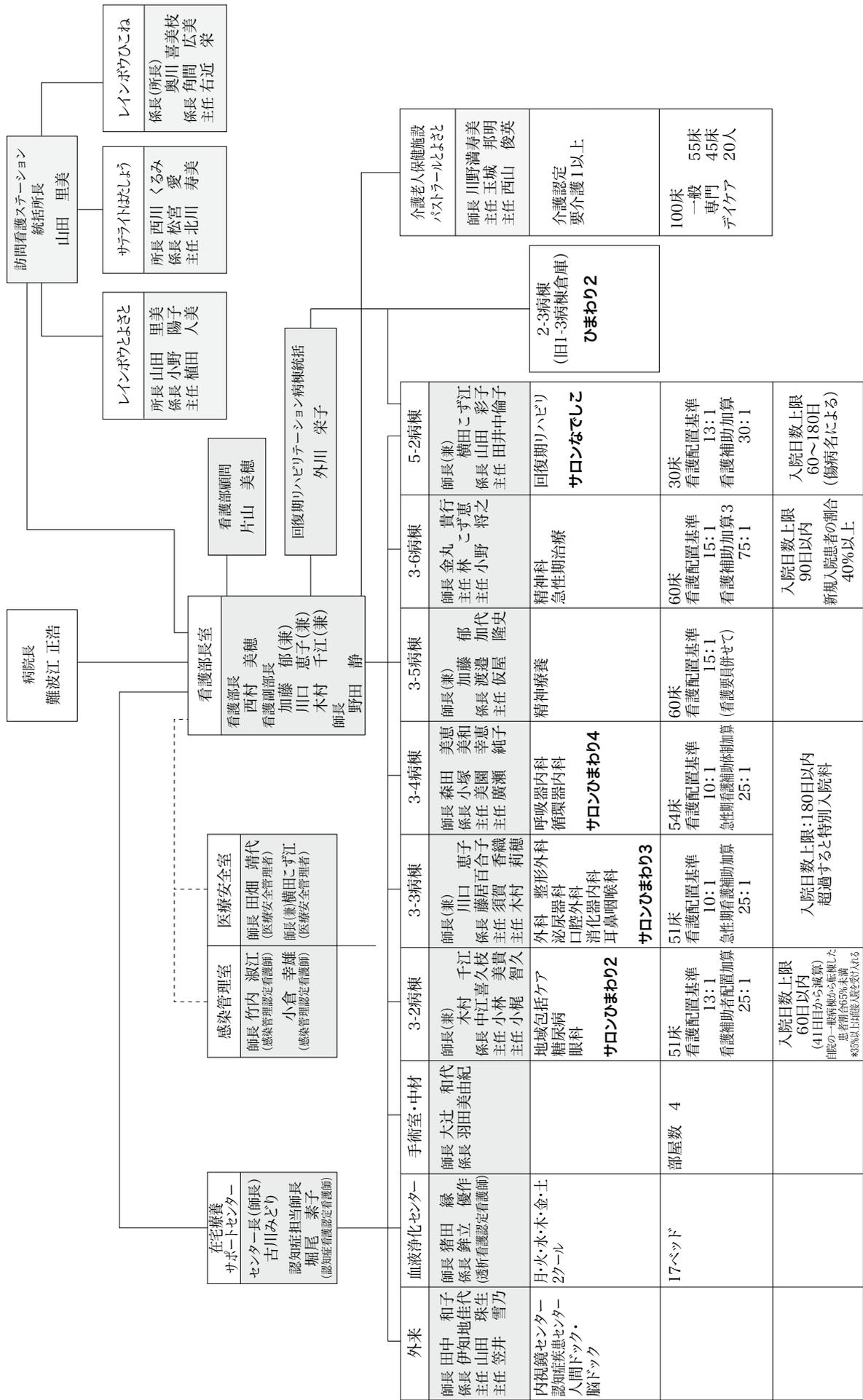
月～金 8:15～8:25

教育委員会	委員長 川口 金丸 副委員長 第1水曜日 14:00-16:00	クリニカルラダー・ マネジメントラダー の推進 院内教育計画の 立案 研修会の運営・評 価 看護研究発表 レクレーション その他
業務委員会	委員長 加藤 第3月曜日 14:00-16:00	看護基準・手順の 検討及び見直し 業務改善検討 安全管理検討 その他
CW業務委員会	委員長 大辻 渡邊 副委員長 第4火曜日 15:00-16:00 (偶数月のみ)	手順の検討及び 見直し 業務改善検討 安全管理検討 その他
ICT/感染 リンクナース 委員会	委員長 竹内 第2金曜日 13:00-16:00	感染マニキュアル作 成及び更新 医療従事者への 教育 サーベイランス ICT委員会に所属 し活動 その他
NST・褥瘡 リンクナース 委員会	委員長 加藤 第3水曜日 13:10-16:30	院内褥瘡対策チー ム・NSTチームとし ての活動 対応策の検討 NST・褥瘡回診 各部署における 看護ケアの促進 その他
看護リスク検討 委員会	委員長 横田 田畑 副委員長 第2木曜日 14:00-16:00	提出レポートの分 析 マニュアルの作成 情報の共有化 リスクに関する教 育・評価 その他
記録委員会 (パス委員兼務)	委員長 古川 第2月曜日 14:00-15:00 (偶数月のみ)	電カルに関する事 項 記録内容の検討 記録監査 患者参画型看護 計画の導入 医療・看護必要度 に関する指導・研 修 記録との運動に関 する事項の検討 クリニカルパスの 開発と更新 その他
認知症ケア 委員会	委員長 堀尾 第1水曜日 14:00-15:00	各部署の認知症 ケア向上のための 活動 認知症ケア向上の ための研修企画・ 運営
係長会 (倫理委員兼務)	委員長 野田 第3木曜日 14:00-15:00 偶数月+3月・5月	係長としてのマネ ジメント課題に対 する実践 日簿の態度・行動 に関する職員教育 部署の倫理的課 題・倫理事例検 討 看護部内の院内 研究・ケーススタ ディの倫理審査
継続看護 委員会	委員長 古川 第1月曜日 14:00-15:00 (奇数月のみ)	退院調整に関する マニュアルの検討 院内及び関連施 設との連携 継続看護の体制 整備 その他
主任会	委員長 猪田 第4月曜日 15:00-16:30	スタッフ教育・指導 チーム内業務改善 役割分担
新人研修担当 委員会	委員長 木村 第3金曜日 14:00-15:30 7月9月11月なし	新人臨床研修及 び指導体制の構 築(計画・指導・評 価) 実地指導者研修 新人サポート
PNS 推進委員会	委員長 猪田 年4回 1.5時間	PNSを推進するリ ーダーの育成 各部署におけるP NSの確立 改善方法の検討

- 各委員会委員長は、3年任期とする
- 各委員会の委員は、2～3年で交替し様々な委員会を経験する（感染リinkerは3～4年で交替）
- 各委員会の委員は、原則卒業後3年目以上の看護職とする
- 毎年、規程を見直し内容を議事録に記載する
- * 上記の看護部運営委員会議事録は、第2会議室の本棚に3年間保管する
- * 第2会議室及び戸棚の鍵は、看護部長室に保管する
- * 会議終了後、委員長は速やかに看護部長に報告し議事録を綴じて閲覧できるようにしておく

2024.5.1

3 看護サービス提供組織図



4 看護部 単位別目標及び評価

部署	目標	評価
看護部	<p>1. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割を実践する</p> <p>1) 看護の専門性を発揮し、チーム医療を推進する</p> <p>2) 患者・家族の意思決定を支援する</p> <p>2. 質の高い看護を提供するため、看護実践力、臨床教育力、看護管理力の向上を図る</p> <p>1) 自己の成長を促進する</p> <p>2) 人材育成・人材活用を積極的に行う</p> <p>3. 看護のやりがいを仲間と共有し、楽しく働き続けられる環境づくりを行う</p> <p>1) 働く者同士が認め協力しあえる職場環境づくりを目指す</p>	<p>1.</p> <p>1) 退院調整カンファレンスは、多職種を含めて実施できている。今期、緩和ケアチームも立ち上げ、病棟・外来患者を含む緩和に向けて取り組むことができた。心不全領域も含まれるため、カンファレンス場面も増えると予測される。精神科と呼吸器科は1回/W実施できているが、各部署における各科診療別医師とのカンファレンスがほぼできていない。実施を目指す。</p> <p>継続看護については、とよサポ、継続看護委員会が中心となり、各部署の事例を通して振り返りを行っている。外来における継続看護について2名看護協会の研修に参加したため、知識の共有と共に実践に活かしていく。</p> <p>各部署、特殊性に合わせた勉強会やインシデント発生による勉強会を実施できた。部署の役割を理解し各部署、病床数確保に向け取り組むことができた。</p> <p>せん妄予防に関しては、発生数が15件/年、せん妄期間も5日以内に症状が落ち着いている。1-3病棟が、10月～休床となり、今後も認知症患者をその他の病棟で受け入れる事が求められている。</p> <p>院内デイケアを、更に強化するため、合同院内デイケア「ひまわり2」を11月6日から開設した。3-2、3-3、3-4病棟から定員15名の利用者があり、睡眠時間の確保ができ、せん妄発症や、抑制数の低減に繋がっている。</p> <p>2) 意志決定支援については、各部署実践できている。事例についてはACPワーキング委員会にて検討の場を設けることができている。ピリブメントカンファレンスについて、教育委員会にて研修会を設け、促進はできた。倫理カンファレンスについては、係長会で促進しているが、部署単位での効果的（4分割法）な実施に差がある。ナラティブ発表会を1回/年実施しており、委員会等にてナラティブ的に事例報告が実践できた。</p> <p>2.</p> <p>1) 2024年度からラダーチェック表の変更に向け取り組むことができた。ラダー別に研修計画、実施できた。e-ラーニングの総アクセス数が前期60%→年度末76.6%と師長会でも活用した成果はあった。</p> <p>面接は、計画的に各部署実施できた。</p> <p>2) 前期、実習指導者講習会に3人参加できた。各部署教育に活かすことができている。</p> <p>主任会において、看護観について語らいの時間を持つことができた。また、他部署体験を行い、自部署を振り返り、業務改善などにつなげることができた。</p> <p>プラチナナースの人材活用について、ききとり用紙を作成し、質の高い実践力を発揮し続けることのできる職場環境づくりに取り組むことができた。</p> <p>3.</p> <p>1) 1～2日/Wのパート勤務者を適した配置場所に配置し、機能別に働く職員を確保した。</p> <p>定期的なミドルマネージャー会を部署毎に実施し、課題解決や目標に向かって取り組むことができた。また、看護部運営委員会にて、看護部全体の課題を共有し、対応策を考え取り組むことができた。メンタルサポートとして「ミモザ2」を設け、職員が自ら面談日・面談相手を選択し、面談できる体制を整えたことで、気軽に相談できる環境づくりができた。</p> <p>看護補助者のラダーを再開し、本稼働は次年度から行う。</p> <p>職員満足度調査は、今年度できていないが、3-2病棟では独自で実施できた。今後、内容を精査し職場環境の改善活動に取り組む予定である。</p>

部 署	目 標	評 価
	2) 各部署が時間外勤務の削減を目指し、業務改善を実践する	2) 各部署時間外削減のため、業務改善や業務量に応じた人員配置を行った。時間外は人員や業務量によって変動はしたが、目標を持って取り組むことができた。
3-2 病棟	<p>患者の持つ力を引き出しその人らしい生き方や生活が出来るよう支援する</p> <p>1. 患者が生活するために必要な能力を維持・向上できるように看護の専門性を発揮する</p> <p>1) カンファレンスの継続、生活情報の収集・共有を行い支援につなげる ・多職種とのカンファレンス開催・カンファレンスの記録・共有の方法について検討を行う</p> <p>2) せん妄、認知症の進行を最小限にし事前に対策が実施できる ・院内デイケアの見直し、認知症対応力向上にむけての取り組みを実施する</p> <p>3) 医療安全への意識を高め、安全な療養環境の提供に向けて取り組みが実施できる</p> <p>2. 患者・家族の意思決定を支援する</p> <p>1) 日々の看護のなかで意思決定を意識した関わりを行いACP実践記録が活用できる</p> <p>2) 倫理カンファレンスを1回/月開催する(倫理的感受性を高めよう)</p> <p>3. 質の高い看護を提供するために自己の成長を促進する</p> <p>1) e-ラーニングの活用 (年間計画し報告書の作成・提出)</p> <p>2) 院内・院外研修への参加</p>	<p>1.</p> <p>カンファレンスでは、それぞれの面から患者を捉えアセスメントができ、退院後の生活を見据えた関わりについて話し合うことが出来た。</p> <p>カンファレンス時のルール、役割分担を行うことでカンファレンスへの参加意欲を高め、残した記録から情報共有することが可能となった。退院支援カンファレンスでは、Drも参加し多職種でカンファレンスが開催出来るようになり、それぞれの専門性を発揮している。</p> <p>患者さんの可能性を引き出すため、ひとりひとりに合った過ごし方や院内デイケアの活動内容の検討を行った。現在CWと協働し毎日院内デイケアが開催できている。院内デイ参加者患者さんから「明日も来たい」「楽しい」「もっとしたい」との声があり、患者さんの喜びや楽しみにつながる活動となっている。また対象に応じ、院内デイケアの延長や、黄昏ケアを行えるようになったことで、帰宅願望の出現や焦燥感の軽減につながっている。睡眠覚醒リズム表は対象によって使用できている。睡眠覚醒リズム表の活用を定着化させ、日中の活動状況と夜間の睡眠状況の評価、生活パターンの把握が出来るよう今後取り組みを行う。</p> <p>リスク委員会を中心に毎月の担当者を決めKYTを行っている。今年度はアクシデント事例が4件発生(そのうち骨折事例2例)したため、転倒転落危険度チェックを毎週実施。安全な療養環境を整えるための視点を養うためにラウンドカンファレンスを行っている。ラウンドカンファレンスの定着に向け、センサーカンファレンスの方法についても今後検討していく。</p> <p>2.</p> <p>日々のコミュニケーションの中で、退院についての思いを確認したり、本人の意思を尊重した関わりができるようになってきている。得られた情報は、記録に残し情報共有し、カンファレンスにて家族にも理解してもらえるよう関わり、患者さんの「帰りたい」を実現することができた。</p> <p>12月～4分割法を用いた倫理カンファレンスを開催。ターミナル患者・看取り等での場面を取り上げそのカンファレンスできるようになっている。血液浄化センター、訪問看護で開催されたピリープメントカンファレンスへも参加。次年度も倫理的感受性が高められるような場面や機会を意図的に提供していく。またピリープメントカンファレンスの定着にむけ取り組みを継続していく。</p> <p>3.</p> <p>新人指導研修(1名)認知症対応能力向上研修(1名)へ参加あり。</p> <p>病棟全体で学びを深められるように伝達講習を行った。認知症対応能力向上研修の伝達講習では、身体抑制について学習し今後の実践に活かしてもらえる機会となった。</p> <p>e-ラーニングでは、視聴計画を行い視聴出来たらシールを貼るよう可視化を行ったが視聴率は低下した。</p> <p>視聴はしたが報告書が作成できない人が多く、活用方法について次年度検討していく。</p>

部署	目標	評価
	<p>4. お互いを認め合い共に育つ環境をつくる</p> <p>1) 患者・家族・職員へ感謝の気持ちを素直に伝える「ありがとうございます」を伝える</p> <p>2) チーム活動・PNS活動を通して業務改善に取り組む合言葉は「やってみよう！」</p> <p>3) ミドルマネージャー会(4回/年)において職場環境の現状を確認し必要な対応を検討していく</p> <p>4) PNS(リシャッフル)の現状確認を行い定期的に評価する</p>	<p>4.</p> <p>PNSチーム・入浴チーム、ひまわり(院内デイ)、カンファレンスチームを立ち上げ、リーダーを中心に活動を行った。定期的に活動報告出来る場を設けたことで、活動状況を全体で共有し業務改善に取り組むことが出来た。また、患者さんの生活を豊かにし安心で安全な看護に繋がっていることを実感できるチーム活動となった。</p> <p>前期は「ありがとう」が飛び交う環境となっていたが、後期は何気ない一言や信用性のない情報が病棟内で広がり働きにくい環境や雰囲気があった。ミドルマネージャー会で検討し、職場環境の現状を確認するために職場環境アンケートを実施した。アンケート結果をもとに、次年度は職場環境改善に向けた活動を計画していく。</p> <p>ミドルマネージャー会は3回開催し、病棟の現状確認やチーム活動の方向性等を情報共有し、課題解決に向けて対応することができた。</p>
3-3 病棟	<p>患者がその人らしい生活ができるように入院時から支援ができる</p> <p>1. 患者が生活するための必要な能力を維持・向上できる看護を提供する</p> <p>①初期カンファレンスだけでなく、患者の状態に合わせたカンファレンスを定期的に多職種を交え行い、情報を共有し入院時から退院見据えた支援に繋がられる</p> <p>②せん妄・認知症の進行を予測し事前に対策が実施できる</p> <p>2. 患者・家族の意思決定を支援する</p> <p>①ACPについて理解し、意思決定を意識した関わり方ができる</p> <p>②ACPカンファレンスを多職種と行い多方面から支援を行える</p> <p>③倫理カンファレンスを行い、倫理的思考力を身につけ患者にとって最善のゴールを考えることができる</p> <p>3. ひとり一人がお互いを尊重し楽しく働き続けられる職場づくりを行う</p> <p>①病棟の整理整頓をしみんなが気持ちよく業務ができる</p> <p>②「お・あ・し・す」運動の継続し声をかけやすい環境づくりを行う</p> <p>③e-ラーニングを視聴し、自分の興味あること、得意なことからより深めていく</p> <p>④定期的にミドルマネージャー会を行い、課題を共有し解決に向け対応していく</p>	<p>1.</p> <p>初期カンファレンスは、定期的には行っていないが、患者の状態に応じてのカンファレンスはその都度行うことができた。退院に向けての課題なども出し合い看護に繋ぐことができていた。せん妄リスクのある患者は、センサーや見守り、申し送りなど予測して早期に対応できるようになってきている。</p> <p>2.</p> <p>ACPの関わりは数名行うことができていた。患者、家族の意思を尊重し、退院支援を行い退院できた事例や在宅で看取りができた事例もあった。ビリーブメントカンファレンスを多職種で行うこともできた。倫理カンファレンスができなかったのが今後実施していく。</p> <p>3.</p> <p>「お・あ・し・す」運動は病棟内にポスターを掲示しているが、意識づけや実践面では継続できなかった。e-ラーニングは、研修以外では視聴できていない現状である。ミドルマネージャー会議は定期的ではないが、開催できた。何かあればすぐ相談できるように体制をとることができていた。</p>
3-4 病棟	<p>1. 質の高い看護を提供するために、安心と信頼を得られる接遇を心がける</p> <p>①笑顔で挨拶をおこなう</p> <p>②笑顔で対応し安心感をあたえる</p> <p>③正しい言葉使いで信頼関係を築く</p> <p>2. 1人ひとりが役割を發揮し、必要な看護をチームで提供する</p> <p>①倫理カンファレンス・ビリーブメントカンファレンスの充実</p> <p>②患者への意思決定支援への取り組み</p> <p>③退院に向けての早い段階からの取り組み</p>	<p>1.</p> <p>挨拶や言葉使いは日々の業務の中で注意しあうことが出来ている。身だしなみについては他部署より注意を受けることも多かったため定期的な身だしなみの確認が必要であると考えている。丁寧な言葉使いや対応が少しでも継続できるように日々伝えていく事を今後も継続し接遇に心がけていく。</p> <p>2.</p> <p>倫理カンファレンスは実施できていない。日々の患者への対応の中で、それぞれが気付いた時や看護に困った時、解決できない問題や意見が欲しいときなどはカンファレンスを実施し取り組むことはできている。ACPは、介入することに難しさを感じているスタッフも多いため、ACP委員を中心に再度研修などを考えていきたい。</p> <p>また、入院時から早い段階で退院に向けての取り組みを行うように伝えているが、受け持ち意識があまりなくこちらから伝えていかないといけない状況である。連携シートや看護サマリーをあまり見ない傾向もあるため、受け持ち意識を高めるための取組は必要と考える。</p>

部 署	目 標	評 価
	<p>3. 1人ひとりがいやがいと成長を実感できる職場環境作り</p> <p>①なんでも言い合える雰囲気づくり ②院内・院外研修の参加促進 ③勉強会の開催</p>	<p>3.</p> <p>院内・院外の研修についてはできるだけ参加できるように調整はできた。病棟の勉強会についても病棟の専門性に特化した内容で4回開催することができた。職場環境については、話しやすい雰囲気作りを心掛けている。しかし、先輩からの指導や声掛けに圧力を感じている新人看護師もいることから、新人看護師にはできるだけ声をかけ不安や困っていることなどを話せるようにしていきたい。</p>
3-5 病棟	<p>1. 患者の生活支援・意思決定支援とともに、自律性を回復し、「その人らしい生活」の獲得ができるよう支援する</p> <p>1) 患者の自立を支援する ・他職種を交えたタイムリーなカンファレンスを開催することにより患者理解を深める</p> <p>2) 患者の意思決定を支援する ・エンディングノートを活用し、患者の命に対する意思確認を行い、その意思を家族へ伝えていく</p> <p>3) 退院支援に取り組む ・患者の退院に対する意思を確認し共有する ・退院支援ファイルや退院支援進捗報告の内容を活用しながら、優先順位を検討し他職種を交えた情報収集を行う ・退院前訪問の実施や、とよサポを活用した看々連携でスタッフの支援への意識向上をはかる</p> <p>2. 質の高い看護を提供するため、学習に取り組み、学びを深める。</p> <p>1) e-ラーニングを活用し、理解を深める。</p> <p>2) 部署特有の看護技術と知識を身に着ける。 勉強会やDVD・動画の視聴を活用する → 急変時の対応・入退院・身体抑制の方法</p> <p>3. スタッフがお互いを認め合い、協働出来る病棟の環境を作る。</p> <p>1) 職場環境について病棟会議で話し合う</p> <p>2) 業務整理を行う ・インバスケットの学びを活用し、リーダー業務の輪番制を取り入れる ・スタッフの業務量の均等化を図る</p>	<p>1.</p> <p>1) 年度後半は疥癬やコロナの病棟内感染拡大により、カンファレンス開催回数が減少してしまった。また、開催回数の減少に関係なく、カンファレンス後の看護実践の評価が出来ていないことが多く、ケア提供が統一出来ていなかったり中断してしまっていることもあった。今後は、評価内容もチームで共有し、統一したケアや処置を提供していくために、電子カルテ内の掲示板や看護指示を十分活用していく必要がある。</p> <p>2) 10月に患者自身へ「自分の命に対する考え方について意思確認」を行った。その後、2024年の2月末～4月初旬にかけ病棟内で多くの患者がコロナに感染し、その中で数名の患者が治療のため転棟や転院を余儀なくされた。幸い死者を出すことはなかったが、前もって確認した患者の意思を家族に伝えられていないケースもあり、家族を含めた支援者での情報共有の不十分さが見えた。精神科療養病棟は長期入院患者の多い場所である。今後も変化する患者の気持ちに寄り添いながらエンディングノートの更新と情報共有を継続していきたい。</p> <p>3) 退院を希望する発言があった時は、タイムリーに詰所内やリーダーへ報告があり、看護記録に残している。医師記録や、直接医師から看護師へ情報提供もある。退院支援進捗報告会で優先順位を決め、情報共有や気になる患者については話題にあげて、どうしていくか検討を行っている。</p> <p>2.</p> <p>1) 視聴状況を可視化していることで、個人の学習量が把握しやすく、啓発の目安にもなっている。教育活動費を無駄にしないよう、今後も学習に利用していく。</p> <p>2) 自部署内で、身体拘束・急変対応・多数の疥癬患者の感染対策と一斉予防投与・新型コロナ患者のクラスター対策など、様々な看護を必要とされた一年だった。新型コロナ感染対策については、クラスター中、部署職員は一人も感染しなかった。この結果は、スタッフの努力の賜物だと感じている。今回経験した対策や技術を次の機会でも活かしていけるよう、振り返りを行う。</p> <p>3.</p> <p>1) 意見を出せる職員は増えてきているが、人の意見を肯定的に聞かないスタッフもおり、話し合いが攻撃的に映ることもある。会議（カンファレンス）の時間内に、出来るだけ皆が発言し、まずは肯定的な態度で議論に取り組む雰囲気作りが必要と考える。アサーティブなコミュニケーションに部署で取り組む必要がある。</p> <p>2) 3/29にインバスケ研修が行われた。年度末となってしまったため、効果については、来年度（2024年度）評価していく。身体面に関する技術や処置については、これまで同様経験の少ない職員に、実践への声掛けを続けていく。また、看護方式ではPNS方式をとっているが、看護師総数の少なさと、機能別の役割数の多さから、PNSペアと一緒にペア組みして看護する機会が非常に少ない現状が続いている。長年にわたり2名の中間管理職が一月交代で、日々の分担を行っているが、今後はスタッフにも分担作業に参加してもらい、機能別役割の組換えや変更について検討出来ないかと考えている。</p>

部署	目標	評価
3-6 病棟	<p>1. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割</p> <p>①カンファレンスの充実 ②精神科看護の強化 ③身体管理の強化（救急対応）</p> <p>2. 質の高い看護の提供するため、看護実践力、臨床教育力、看護管理力の向上を図る</p> <p>①ラダー別に合わせたカンファレンスの目標に沿って自己の成長 ②リーダー育成の教育の実施</p> <p>3. 看護のやりがいを仲間と共有し、楽しく働き続けられる環境づくりを行う</p> <p>①挨拶・気持ちよく指摘しあえる環境を作る ②リシャッフルを活用し時間外削減</p>	<p>1. 2.</p> <p>カンファレンスは、一部の患者で定期的に行うことができたが、退院まで実施ができない患者もあった。カンファレンスの場では、各個人がラダーに応じた観察や見解を述べる場となり、情報を集約することができた。しかし、患者についてなぜそうなっているのか、精神状態や日常生活についてアセスメントしていく部分では、精神科看護としての強化が必要である。今後の方法としては、e-ラーニングの活用による知識の習得とカンファレンスの場でファシリテーターを中心に実体験と知識の統合を行う必要がある。</p> <p>身体管理の強化については、病棟での実演した勉強会を実施した。スタッフは救急対応について身近に感じ取ることができた。救急カートの物品名や使い方、窒息時の対応など継続した勉強会を実施してく方がよい。</p> <p>身体管理については、一般科より異動になったスタッフの影響もあり互いに教える側、教わる側も共に学ぶことができています。</p> <p>コロナの影響で病棟勉強会の開催は中止が続いた。年間を通して計画的な教育を行う必要がある。</p> <p>3.</p> <p>挨拶は活発にできており、良いところを認めることもできていた。指摘に関してはしづらさを感じるスタッフが多くあり、指摘しあえる風土の醸成が必要である。</p> <p>時間外削減に対しては、報連相はホワイトボード活用にて概ねできている。業務についての打合せもできている。しかし、その日の患者の状態に合わせた看護・観察などを話しあう時間がないため、今後は患者のニーズに応じた対応をタイムリーに実施することが課題である。</p>
5-2 病棟	<p>考え動く力を身につける</p> <p>1. 看護師の役割</p> <p>1) 日々のリハビリカンファレンスや面談時に、看護の視点からとらえた、患者に必要なケアや支援、退院後の生活を見据えたアセスメントをして、チームや他職種へ伝える 2) 生活全体をとらえたケアの提供をする 3) 地域・とよサポ・外来との情報共有と連携ができる</p>	<p>1.</p> <p>毎日リハビリカンファや面談などを実施する中で、受け持ちの状況を相手に伝えることはできている。患者像をつかみ、退院後を見据え、患者の思い・言動・日常生活に必要なケア・支援などが、看護師の視点で徐々にとらえられてきている。日々他職種との会話の中でも退院後のことを話しケアなどに繋げる事は出来てきたが、早めの考察、対応ができていることもあるが、退院が決まって焦って整えることも時折あり、今後は、チームでの介入をしてくことで指導ができ、患者さんのADL向上から遅れをとらず退院調整、支援が行える様、リハビリカンファや面談で他職種（ケアマネ、訪看など）との情報共有を強化しケアにつなげる。</p> <p>患者の残存機能を活かす回りハ10か条をベースに生活をとらえたケアの実施を行うことで、看護師として何をすべきか、患者と共にケアを考え実施する楽しさを今一度感じ、体験してほしいとの思いと、院内デイの活動が円滑に行えていない現状があり、本来の目的から逸脱しているように感じていて、部署内で活性化できるような手段を模索し、今回は各係（なでこ、病棟リハ、ホワイトボード受け持ちの整理、部署内の掃除・SPD整理、患者環境・5S）を作成しチームで運営した。できている係とできていない係に分かれている。しかし、1年目や4年目がリーダーとなり、計画を立て、メンバーやスタッフの協力を得て活動することでやりがいを見出しているスタッフもいる。PDCAサイクルを回すことを病棟会議で幾度となく周知し最終評価もメンバーで行う様に指導したが、活動できたという係はなく、次年度も継続し部署内の活性化につなげていきたい。</p>

部 署	目 標	評 価
	<p>2. 患者の意思決定支援</p> <p>1) 自部署での援助や日々の業務、自己の言動・行動などから、倫理的課題を見つけ、倫理カンファレンスの実施</p> <p>3. 人材育成</p> <p>1) 自ら進んで、院内外の勉強会に参加し、自己の学びを増やす</p> <p>2) 患者・家族・スタッフの安全・安心・最良を考え、行動に移せるリーダーの育成</p> <p>3) 自部署での定期的な勉強会の実施</p> <p>4. 看護のやりがいを共有</p> <p>1) 自分の考えや思いを相手に伝える。</p> <p>2) 相手の思いを受け止め、認め、良いところは褒められる環境</p> <p>3) 間違いはそのままにせず、意見として指摘し合え、「ありがとう」があふれる環境</p>	<p>2.</p> <p>患者さんから、看護師の言動で怒られる場面がたびたび見られた。スタッフの中でも、他のスタッフが患者さんに敬語を使っていないと思いつつ指摘ができない時があった。不用意に使った言葉が相手を傷つけること、自分たち医療従事者の言葉や言動が患者さん・家族に影響することに気づいてほしいと思い、今回、県の倫理の研修に2名参加してもらった。研修参加者から「倫理とは・・・」の勉強会を行なった。</p> <p>院内研修でピリブメントカンファを主任以上が受講し、退院患者でピリブメントカンファを他職種も交え実施し、それぞれの思いや看護を語る事ができた。その後は、退院後の患者状況がケアマネなどから返ってきたものに対し、フィードバックカンファを実施し、看護の振り返る機会を持つことができています。</p> <p>3.</p> <p>自ら勉強会参加を希望したのは、CW1名のみで他のスタッフは、師長から本年度の目標と意図を説明し、県の研修参加をもらっている。病欠・パート・産休明け・異動者以外は全員研修受講でき、自己の学びを踏まえ、部署内に広げていきたいという言葉も聞かれた。研修を活かすためにも、伝達講習をしていこうと思っていたが、伝達講習は行なえなかった。</p> <p>次年度も、院内外の研修に参加し、自分の学びを朝・昼のカンファレンスの時間などで伝え学びの共有を図ってほしいと考える。部署内の勉強会は定期的に行う事ができていなかったため、次年度は計画を立て、またスタッフがペアとなって講師役を行うなど役割を与え自分たちが学ぶべきことに焦点をあて取り組む。</p> <p>4.</p> <p>主任会の活動において「よりよい職場作り」あいさつ運動や良いところを褒める活動を実施し、ナラティブでの語りで思いを共有することができた。双方に照れくさい様子も見られたが、その時のみんなの表情はとても良いものであった。</p> <p>病気で欠員が増え、勤務変更の依頼することも多くあったが、どのスタッフも一生懸命業務に従事してくれ、部署内で「ありがとう」がどこからも聞かれていて、患者さんにも「薬飲んでもらってありがとうございます」等、その都度声掛けができていて、不穏の患者さんもなく、穏やかな表情の患者さんが増えた印象がある。</p> <p>スタッフ間で話す声も患者さんに話しかける声も、傍で聴いていて気持ち良い声で、このまま継続していきたいと思う。間違いをそのままにしない、その場で指摘することは上下関係などありハードルが高いと感じるスタッフが多く難しいが、スタッフ間で話をして上司に報告する事は出来ている時もあるので、「報連相」はまずまずできているのではないかと感じる。しかし、風土的に誰かがやってくれる思いが強く、忘れ物や患者さんの私物などほったらかしになっていることも多く、責任を持って最後まで行なえていない。報告があった時点で「どうしたらいいのか」本人問いかけ自分で最期まで行うように指導を行なっていた。</p> <p>指導の場面など時には強い口調で言われていることもあるが、全体的には、根拠立てた考え方をするように、チームリーダーを主とし考え方を指導していたが、まだまだ根拠を考えられていないことがある。次年度も、「考える力を身につける」を目標に「なぜ」の部分を探めていける部署にしたい。</p>

部 署	目 標	評 価
外 来	<p>1. 看護をつないで在宅療養を支援する</p> <p>①在宅療養支援の必要な患者に気づくことができ タイミングを逃さず情報収集を行う</p> <p>②患者情報シートを活用し患者把握を行い、とよサ ポ・地域・病棟・多職種との情報共有・連携を行 う。</p> <p>③患者・家族と積極的にコミュニケーションをとり、 関係性を構築する</p> <p>④ICに同席し、IC内容や患者・家族の反応を記録に 残す</p> <p>⑤退院前カンファレンスへの参加・退院前病室訪 問・退院後初回受診時の問診を行う</p> <p>⑥外来カンファレンスをおこなう (各チーム 1回/週)</p> <p>2. 仲間を大切にし協力しあえ働きたいと思える 職場環境をつくる</p> <p>①外来会議・リーダー会・チーム会等で活発な意見 交換を行う</p> <p>②グループ活動を行い、お互いを認め尊重する関係 を築く</p> <p>③笑顔であいさつ・感謝の気持ちを伝える</p> <p>④時間外勤務の削減を目指し業務改善を行う 検査説明の動画化、リリーフ体制の強化、リーダー による残務確認など</p>	<p>1.</p> <p>①②継続的に経過をみたい患者をホワイトボードに挙げ、ス タッフが意識して関わられるよう取り組んだ。聞き取った内容を ストレスなくコミュニケーションシートに記入できるよう主任が中心となり勉強会（入力方法も含め）の動画を作成し スタッフ全員が視聴した。コミュニケーションシートへの記入が スムーズになり スタッフにまず記載しようという姿勢がみ られた。情報がカルテの色々なところにあり探すのに苦労する ことがあり、全体像が見えてこないという意見も多くあった。 一カ所に情報をまとめることで把握しやすくなるのではない かと考え、患者全体像シートを作成した。しかし、見づらさや 記入がしにくい等の意見が多く、今後検討していく。</p> <p>③④ICは、重要な話をしているという意識を個々に持ちなが ら聞ける範囲で対応できた。しかし、患者・家族の理解の確 認までは十分できていない。外来でのICや患者とのかかわ りの時間確保の為に業務改善や他部署と協力したスクシェア （ドッグ採血・聴力検査→検査科、造影CT→放射線科）を行っ た。若干の時間確保につながったが 患者と関わる時間に繋 がったかどうかは疑問である。</p> <p>⑤退院前カンファレンスへの参加等は実施できていない。</p> <p>⑥カンファレンスは 立ち話・ショート・スモールカンファ をしている姿はみられるようになったが記録に残せていない。 気になる患者のホワイトボードへの記載は、スタッフの情報共 有や意識的に関わることに繋がる為、次年度も継続していく。</p> <p>2.</p> <p>①④外来会議やリーダー会が定期的に行えなかった。2チーム 制を取りリーダー中心にメンバー間のコミュニケーションの 活性化と応援体制の充実を図ろうとしたが、メンバー人数の多 さ・エリアの広さから業務把握が難しく、チームとしての機能 が果たせていなかった。 次年度は4グループでの編成を試みる。新しく部署に入ったメン バーの指導においても、マニュアルの見直しや作成は業務改 善・スタッフ間のスムーズなコミュニケーションに繋がる為、 積極的に行っていく。</p> <p>②グループ活動は、メンバー間でコミュニケーションをとるこ とを第1の目的として行った。笑顔であいさつすることで患者 さんから元気な声で返してもらえることは、医療者側のモチ ベーション向上に繋がり、お誕生日カード配布は歌を歌いなが らで、笑顔のこぼれる場面を皆で共有できた。</p> <p>③④時間確保のための取り組みである大腸カメラ前処置の動 画を完成することができた。次年度使用し評価をする。また、 その他の検査説明の動画作成も検討していく。リーダーによる 残務把握・調整はリーダーによって采配に格差があり、レベ ル上げ出来るようリーダー間での振り返りの時間を週1回作っ ていく。リリーフ体制への取り組みが不十分で、限られたメン バーに負荷がかかった。次年度は、担当できる科を各自1科増 やしていけるようローテーションをまわしていく。</p>

部署	目標	評価
とよサポ	<p>1. 院内の看看連携・他部署連携・員外連携を行うことで、患者の療養生活を継続的に支援する</p> <p>①入院患者がせん妄状態・認知症症状悪化した時に、速やかに連絡を受け、DSTとして介入する</p> <p>②入院中のI.C・退院前カンファレンス・外来でのI.C等に積極的に参加する</p> <p>③入院時支援の情報を、病棟看護師・MSW・管理栄養士・薬剤師と共有して事前のプランに生かす</p> <p>④看護部の各委員会と連携し、院内外の連携強化に努める</p> <p>2. 「とよサポ」メンバーが互いに情報共有し、それぞれの強みを活かしてスキルアップしながら、在宅介護・在宅看護の支援が出来る</p>	<p>1.</p> <p>看護師を含めた多職種がせん妄やBPSDについて学んでおり、入院前の情報や入院時のせん妄予防や対応により、DSTの依頼は減少している。DST依頼があれば、成田医師と協働して対応し、週1回のDSTカンファレンスも継続している。今後も継続の予定である。</p> <p>訪問診療を受けている患者・退院後に訪問診療を受ける患者に関しては、必ずMSWから退院前カンファレンスの連絡が入っている。それ以外のカンファレンスについては、参加要請がきていない。今後は、カンファレンス開催の情報がMSWからではなく看護師から入り看看連携できるように、とよサポからも積極的に声を掛けていきたい。</p> <p>入院時支援を行った患者の情報が、MSW・管理栄養士・薬剤師からは役立っているという声を耳にする。が、病棟看護に役立っているのか。記録の場所や方法を考えながら情報共有に努めているが、実際の声がなかなか入ってこない。次年度は、入院時支援対象者が拡大変更される。制度の変更をきっかけにして、外来―病棟―外来の情報伝達や共有の方法と情報の活かし方を考えていきたい。</p> <p>2.</p> <p>とよサポのスタンスは変わることは無い。在宅療養を安心して安全に長く続けられるように支援していくこと。全員で情報共有し、「介護保険のサービスが優先」「治療入院とレスパイト入院の違いを支援者に理解して頂くこと」「レスパイト入院の目的の明確化」「救急受診=入院の確約ではない」ことを基本的なルールとしている。</p> <p>各々が困ったらず、とよサポ内で検討する、わからないことは聞く・調べる、考えることを通常化することでスキルアップに繋げている。</p>
血液浄化センター	<p>患者・家族が豊郷病院の透析室で透析治療を受けていて良かったと思って頂けるような透析治療・ケアの提供を行うことができる</p> <p>1. 医療者と患者が生活目標を共有し、透析治療の場だけでなく日常生活にも視点を向け、エンパワメントを意識した支援を行うことができる</p> <p>①患者の生活目標を患者とスタッフ皆で共有し看護計画に反映する</p> <p>②日々のケアのなかで患者・家族へACP を意識したコミュニケーションを行う</p> <p>③継続したセルフケア支援を行い、合併症予防に介入していく</p> <p>④身体的・精神的・社会的側面、患者の家族構成、生活背景を考慮したうえで、個別的な支援を行う</p> <p>⑤ベッドサイドで関わる時間を確保し、支援を行う</p> <p>⑥必要な患者の情報をタイムリーに家族と共有していく。</p> <p>⑦変化する患者状況を把握し、看護展開につなげる</p> <p>2. 助け合うチーム「ひとりはお互いのために、みんなはひとりのために」</p> <p>①お互いを尊重し「ありがとう」の気持ちを言葉にできる</p> <p>②他者を思いやる心を持ち、患者・家族、同僚の仲間を大切にできる</p> <p>③挨拶をしっかり行い、笑顔ある働きやすい職場をつくる（特に朝は元気良く、機嫌良く）</p> <p>④スタッフひとりひとりが与えられた役割を意識して取り組むことができる</p>	<p>1.</p> <p>生活目標をきき取り組んだ。1年の取り組みを1患者さんをあげ「私のうけもち患者さん」として看護計画を評価しレポートにまとめ掲示してある。</p> <p>カンファレンスは、担当者をきめて実施できるようにしているが、実施出来ない事が続いた。スタッフで相談して意識の問題と考える時間などを考えるなどの対策をとり、以前よりカンファレンスの意識はつき実施できている（カウントチェックしている）。患者さんと一緒に生活目標を意識しながらセルフケア支援を継続していきたいと考える。</p> <p>2.</p> <p>「ありがとう」の気持ちを持ち日々看護できている。スタッフがそれぞれ役割を意識し責任を持って行動できていると感じる。ただなれ合いになっている時があったり、丁寧な対応ができていないと感じることはあり今後もチームで改善に取り組んでいく。</p>

部署	目標	評価
	<p>3. SDMを意識した意思決定支援と死別ケアへの介入</p> <p>①多職種、他部署と協働し、患者・家族の意思決定を支援する</p> <p>②院内でのピリブメントカンファレンスの普及、推進</p> <p>③保存期、導入期、維持期、終末期に応じた意思決定支援への介入</p> <p>④死別ケア（ピリブメントケア）への介入を行い、悲嘆に直面した遺族及び医療者の支援</p>	<p>3.</p> <p>ACPへの取り組みのひとつとして、6月に患者さんに家族と話し合う機会をもつ「人生会議」を計画実施した。血液浄化センターのDrやスタッフも同じように考える機会を持った。普段家族と語り合う機会がなかったことから貴重な経験となった。秋ごろからは、火曜日午前クールの患者さんにACPについて相談する機会を持っている。Dr・鈴木係長・担当看護師・患者・家族で面談をする。来年度に継続して取り組みをおこなっていく。2023年度のピリブメントカンファレンスは、家族の受け入れができた方は、家族に参加して頂き実施することができた。Dr・鈴木係長・担当看護師・スタッフ・臨床工学科・栄養科・病棟スタッフ・医療相談室・リハビリ担当スタッフ・訪問看護師など多職種に参加いただいた。それができなかった時には多職種をふくめたピリブメントカンファレンスの実施とした。来年度も継続して取り組んでいきたい。</p>
手術室	<p>1. 手術室看護を自ら楽しめるように学びそれを活かした周手術期看護を行っていく</p> <p>①情報収集や手術で疑問に感じたことなどは、自己解決で自分だけの知識で終わらせることなく、月1回の勉強会で皆に伝達し知識を共有する。</p> <p>②術疾患や術式、麻酔に関する疑問は「なんで？なんで？」の引き出しに入れて定期的に勉強会をする。</p> <p>③術前訪問・術後訪問の継続 病棟受け持ち看護師との情報共有を図り、より患者の不安などのニーズにこたえることができる。</p> <p>④リスクに対する意識を高め、手術を受ける患者の安全に配慮した看護を提供する。</p> <p>2. お互いを認め合い、協力し合い元気の出る職場づくりをする。</p> <p>①患者、家族に対する言葉遣いに注意するだけでなくスタッフ間での言葉遣いにも注意していく。</p> <p>②スタッフ同士が注意したり質問が出来るような職場環境を作る。</p>	<p>1.</p> <p>①月1回の勉強会は毎月担当を決めて行ったが、一巡目で途絶えてしまった。</p> <p>②疑問に思うこと疾患で分からないことがあるときなど、調べことは習慣化している。</p> <p>③術前・術後の情報共有は全症例ではないが、病棟受け持ち看護師との遣り取りも可能な限り行っている。</p> <p>④問題や医療安全の話は、タイムリーに話し合いを持ち安全に配慮することができた。</p> <p>2.</p> <p>①患者・家族に説明をする際には、言葉遣いに注意して丁寧な接遇ができています。しかし、職員同士の対話時には丁寧な言葉遣いができないことがあります。</p> <p>②スタッフの関係性は良好で、注意や質問はできています。</p>
医療安全室	<p>1. 医療安全の質向上</p> <p>1) 職員のリスク意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント・アクシデントレポートを、その目的を理解して提出することができる。 ・職員がリスク意識をもち、業務に取り組むことができる。 ・他職種への医療安全教育の取り組み。 <p>2) 医療ラウンドの定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート報告事例内容からマニュアルが遵守できているかラウンドを実施する。 ・ラウンド結果からマニュアルの追加や修正を行う。 <p>3) 事例分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月報告される事例からRCA、KYT、SHEL分析のいずれかの方法で行う。 ・ヒヤリハット、インシデント、アクシデント事例から選択する。 ・病棟で実施されたKYT分析を確認し、方法や改善策の振り返りと指導を行う。 	<p>1.</p> <p>1) レポート提出件数は、毎月60件前後であるが、提出されるべきレポートが出ていないことがある。職員の安全意識の低さが考えられる。各委員会へレポート提出の声掛けと、安全室に口頭で報告があればレポート提出をお願いするようにした。昨年は機能評価もあり医師のレポート報告も増えて過去にない件数となったが、声を掛けなくなるとたんに減少し今年度は4件であった。報告してもらうには、声をかけていくしかないように思う。</p> <p>院内、院外で起きたインシデント事例は、お知らせ掲示板、医療安全トピックスを活用し、職員にリスク意識をもってもらうように取り組んだ。</p> <p>医療安全研修は、全職員を対象に「BLS研修」を実施した。毎年のBLS研修開催の希望もあり、次年度はリスク委員会を中心に救命チームを立ち上げ活動していく。</p> <p>2) 日常の業務優先になり定期的なラウンドを実施することができなかった。</p> <p>ラウンドとは別に、報告された事例からマニュアル修正や追加はできた。</p> <p>3) 報告事例を分析し、当該部署と事例を振り返り改善策に取り組んだ。</p> <p>職員のKYTの知識と理解不足により本質的な問題点が抽出されず、改善策も具体的なものではなかった。リスク委員、職員へのKYT分析の教育及び指導が必要である。</p>

部 署	目 標	評 価
	<p>2. 転倒・転落の低減に向けての取り組み 一 転倒・転落事例の振り返り（リスク委員会と合同で行う） ・インシデントレポートから事例を取り上げ、要因、対策を振り返る。 ・当該部署に行き情報収集とベットサイド周辺の環境ラウンド。</p>	<p>2. リスク委員会で事例検討を行い、振り返りから転倒防止対策につなげるようにかかわった。 去年より骨折事例件数が増加した。同部署からの骨折事例報告が重なり、次年度はリスク委員会を中心に、多職種も含めた転倒・転落チームを立ち上げ、活動していく。</p>
<p>感染管理室</p>	<p>I 血液媒介病原体による職業感染対策の推進 1. 鋭利器材の適切な取り扱い 1) リキャップしない 2) 安全装置器材の正しい使用 2. サーベイランスの継続 3. 血液体液曝露防止強化月間による啓発 4. 曝露事例発生時のHIV検査導入</p> <p>II 手指衛生の遵守率と消毒剤使用量の向上への取り組み 1. 手指衛生の実施状況調査（直接観察） 2. 手指消毒剤の使用量調査 3. 医師・コメディカル・事務への啓発 4. お互いが指摘し合い受け入れられる 環境（風土）を作り、手指衛生の向上に繋げる</p> <p>III CLABSI発生ゼロ 1. サーベイランスの継続 2. 手指衛生を含めたカテーテル管理の手技確認</p> <p>IV その他、TOPICS 1. COVID-19のクラスター発生防止 ＊3密回避 ＊ユニバーサルマスキング ＊陽性者の早期発見</p>	<p>I 1. 2. 感染者はゼロであるが、9件の曝露事例があり、うち、針刺しが8件、損傷皮膚曝露が1件であった。 リキャップによる針刺しはないが、翼状針の安全装置作動の不十分さによる針刺しが1件発生しており、LN委員会にて正しい作動方法を周知、LNより現場指導を依頼した。 また、自己注射用針において、針の不始末による使用していない職員の針刺し事例が2件あり、大きな問題である。 3. 曝露事例が発生した部署では、その月を強化月間とし、針の取り扱い方法を全員に確認してもらった。 4. HIV検査については、マニュアルの検討中 ※針刺し発生時の発生状況の把握、正しい取り扱いの指導の継続必要。</p> <p>II 1. 2. 個人の使用量の見える化を継続して実施。また、各部署の目標回数を設定し未達成月は強化月間としてライン引きや振り返り等の取り組みをLNにて実施しているが、2023年度の平均回数が2022年度を上回った部署は11中7部署のみであった。 また、5-2病棟については一度も目標回数9.5を達成することができず、師長からの声掛けや予想される手指消毒回数の算出を実施してフィードバックしたものの著しい効果はみられなかった。 技術チェックごとの遵守率は算出中。 3. 2022年度と比較した年間の使用量集計結果を書面でフィードバックした。 4. 使用量の少ないスタッフへの声掛けや直接指導をLNの技術チェックの際に実施しているが、忙しいを理由になかなか受け入れてもらえないことがある。 ※引き続き使用量の見える化、使用量の少ない部署には師長からの声掛け、目標未達成月の取り組みを行い必要時5つのタイミングの勉強会を実施する。</p> <p>III 1. 2. 3-2で1件、3-3で2件、3-4で1件の発生あり。要因は手指衛生のタイミングか消毒時間の短さか、委員会でフィードバックを行うとともにLNラウンドにて技術チェックを継続していく。クロルヘキシジン含有の消毒綿棒導入検討中。</p> <p>IV 1. 7月の3-2・3-6病棟・血液浄化センターに加え、8月5-2病棟、1月に3-3・3-4・3-5病棟にて、院内クラスター7回発生、ゼロにすることは困難。ただ、2022年度も7回発生しているが、職員の感染は43名、2023年度は20名と減少している。患者から職員への感染が低減できるよう、平時より標準予防策の徹底を強化していく。</p>

部署	目標	評価
レインボウとよさと サテライトレインボウはたしょう	1. 地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割を理解し実践する 1) 地域のニーズを把握し柔軟に対応する 2) 利用者・家族の声に耳を傾け、意思決定を支援し支援者と共有する 3) 早期からACPを意識して関わりターミナルケアを充実させる 2. 知識・技術を高め実践能力を発揮し看護の質の向上を図る 1) 研修に積極的に参加し学びを共有する 2) スタッフ全体でBCPを企画し実施する 3) カンファレンスで看護の振り返りを行う 3. チーム力を高め、やりがいを持ちながら働き続けられる職場環境を作る 1) 積極的にコミュニケーションをとりお互いの意思を確認する 2) 業務改善を実施し効率の良い職場づくりに努める 3) 互いの違いを認め合いリスペクトできる職場環境にする	1. 1) 地域の会議や研修に積極的に参加し、行政やサービス関係者、医師などと意見交換する機会を持つことができ、地域のニーズを把握することができた。また地域の事業所と顔の見える関係性を作り気軽に相談できるステーションとなるように心がけ、最近では何気ない相談ごとの電話も増えてきたように感じる。 2) 意思決定支援では日頃の訪問で、初期の段階から利用者の思いを聴くようにしており、緊急搬送時にはシートを用いて救急隊や搬送先の病院と利用者の意向について伝えることができた。 3) ターミナル期における利用者には早期から意向の確認をし、PDCAサイクルに沿って看護を展開している。とよさと・はたしょう両ステーションで関わった利用者のピリブメントカンファレンスに参加し、看護の振り返りができた。地域のニーズである在宅看取りの中心となるように、今後も利用者や家族の思いをしっかりと受け止め、支援者との連携を深めより良い看護を提供していきたい。 2. 1) ZOOMを中心に自己の深めたい領域の研修に参加することができた。個々には時間がとれないなどの理由で参加が少ない職員もおり、e-ラーニングなどを有効に使い学習機会を作るように再度促しが必要である。 2) BCPについては災害委員による災害対策会議を定例化できた。各ステーションではスタッフとの検討会を持ちBCPマニュアルを完成することができた。TQMや看護研究でBCPについて取り上げ、ステーションでの災害への意識が高まった。また年2回の災害訓練を通してマニュアルを活用することができた。今後さらにいろいろな状況に対応できるようにさらに具体的なマニュアルを検討していきたい。 3) カンファレンスは定例化しており、困難事例を中心に情報共有し問題点の解決に向けて話し合うことができた。 3. 1) とよさと・はたしょうの合同会議を定例化して、情報共有を行い意見交換をすることができた。また、お互いの繁忙時には訪問を代わっていくなど協力できた。主任・係長会議も定例化でき、各ステーションの状況報告をし、3ステーションの合同研修会を企画し職員同士の交流に努めた。各ステーションの不測の事態（職員の病気やケガなど）があった時はライン等でタイムリーに情報共有し、訪問に支障が出ないように調整することができた。 2) TQMでは動線を考えてステーション内のレイアウト見直しができて業務改善につながった。 3) TQM活動や看護研究・合同研修会などの課題にみんなが協力して取り組むことができた。今後も風通しよく働きやすい職場にするため、コミュニケーションを積極的に取り合って相互理解に努めていきたい。
レインボウひこね	1. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割を実践する 1) 利用者・家族の潜在的な力を引き出し身体的・精神的・社会的な自立を支援する 2) 利用者を理解し早期からACP意識し、倫理的な意思決定支援を行う 3) 地域におけるニーズを把握し柔軟な対応をする	1. 初回契約時や多職種による担当者会議で、本人や家族の思いを聞き取り、その内容を生かせる看護計画の立案と職員全員が特性を理解し看護展開できるようになった。ACP・倫理的な決定支援においても、係長・主任に倫理研修に参加してもらい、職場での伝達講習を実施した。毎週のカンファレンスも実施しており、月に一事例、倫理カンファレンスを1月から定期的に行っている。ピリブメントカンファレンスも2月に実施した。家族からこの病院が入院を受け入れてくれたこと、入院した病棟・退院後の訪問看護・看取ってもらった病棟に対して豊郷病院に関わってもらえて嬉しかったとの評価を得た。この言葉は職員のモチベーションに良い影響となった。地域における研修には出来るだけ参加し多職種での意見交換なども行い、顔の見える関係づくりを図った。ただ全職員が参加出来ておらず、今後の課題となった。

部 署	目 標	評 価
	<p>2. 質の高い看護を提供するため、看護実践力・臨床教育力、看護管理力の向上を図る</p> <p>1) 学研サポートナーシング受講や院外の研修・ZOOM等を活用し研修に参加する</p> <p>2) 職員全員が個々の目標をもって、専門職としての能力の開発に努める</p> <p>3. 看護のやりがいを仲間と共有し、楽しく働き続けられる環境作りを行う</p> <p>1) コミュニケーションを促進し助け合い・認め合う職場づくり</p> <p>2) 様々な経験を持つ職員の強みを生かし、お互いを認め合う職場作り</p> <p>3) 業務の効率化に取り組み、有給休暇の取得・時間外労働の削減に努め心身の健康を図る</p>	<p>2.</p> <p>研修に参加し、職場での学びの共有を図った。院内の教育委員から学研ナーシングで受講する研修もあり、ラダーに応じた学習の場となっていた。個々の自主性・積極的な参加は低く、次年度も継続していきたい。</p> <p>3.</p> <p>コミュニケーションは語れる職場となってきた。院内のアンガーマネジメントに対して、毎月の個人行動の目標を設定し、月末に達成度の評価をするなど主任を中心に働きかけがあり、自己意識も高まった。病欠の職員の休暇が長期化することもあり、業務の効率化や職員間での協力も出来た。</p>
パストラル	<p>1. ACPについて各自学習を深め、利用者に対応していく</p> <p>①e-ラーニングなどを活用し、学ぶ機会を作る</p> <p>2. 安全・安心な看護を提供するために、学習に取り組む</p> <p>①e-ラーニングを1人3講座受講し、報告書を提出する</p> <p>②院内・院外研修に進んで参加し、伝達講習をする</p> <p>3. 老健における看護の役割を果たすことが出来る</p> <p>①サービス担当者会議など、多職種が集まる場面で、看護師の視点から発言する</p> <p>②退所後の生活を念頭に置いたケアを提供する</p>	<p>1.</p> <p>①ターミナル対象の利用者が多く、ご家族を交えた多職種のカンファレンスで思いを聞き取ることが出来た。</p> <p>2.</p> <p>①e-ラーニングの視聴を1人3講座としていたが、達成できたスタッフは数名しかおらず2024年度も目標に挙げたい。</p> <p>②院内文書からの視聴研修は以前よりできたと思う。院外への研修に参加した時は、伝達出来ている。</p> <p>3.</p> <p>①サービス担当者会議に参加し、看護面の発言は出来た。</p> <p>②退所後の生活を見据えたケアの提供については、自宅で内服の自己管理をされている場合、同じ対応をするようにした。また、退所前の自宅訪問に出向き、看護面の対応について、利用者のご家族にアドバイスが出来た。</p>

5 各種委員会

看護部業務委員会

看護部における看護業務改善、合理化を検討し資質の向上を図り、業務に関する事項の統一を図る。

活動状況

- (1) 開催時期 毎月第3月曜日
- (2) 審議事項
 - ・看護手順一つひとつの改訂や追加、また、それぞれの項目に連動した目次作成
 - 感染管理委員会・リスク委員会（インシデント・アクシデントレポート内容）からの提案や新たな情報を看護手順に反映させ、安全で円滑な看護業務に繋げる
 - ・臨床現場への看護手順の周知と手順内容の評価
 - 各部署から現行手順書についての疑問・質問・改善依頼の意見を毎月吸い上げ、看護手順改訂に繋げる
 - ・新人研修
 - 採血に関する研修会の実践計画と研修評価
- (3) 人員構成 委員長1名 委員7名

CW業務委員会

患者さんを中心に考え、その人らしい生活や生き方を支えるために、統一した対応ができるよう看護師・看護補助者との連携を強化する。患者さんが、安全で生活しやすい療養環境を看護補助者が中心となり整備し提供する。

- (1) 開催時期 年6回 偶数月第4金曜日 15:00～
- (2) 審議事項
 - ・前年度目標の評価と今年度目標の検討
 - ・看護補助者研修の計画立案
 - ・看護補助者研修会の検討・開催後の評価
 - ・マニュアル見直し・修正・差し替え
 - ・ポータブルトイレ倉庫移動・清掃
 - ・看護師・看護補助者の業務分担、見直し
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員7名

看護記録委員会

適時・事実を入力出来る記録の体制を作る。情報共有できる記録の充足をはかる。

「重症度、医療・看護必要度」の入力が正しくできるよう、働きかける。

活動状況

- (1) 開催時期 毎月第2月曜日 14:00～
- (2) 審議事項
 - ・「重症度、医療・看護必要度」研修の実施
 - ・電子カルテ操作手順の見直し
 - ・記載基準マニュアルの見直し
 - ・記録監査、必要度監査の実施
- (3) 人員構成 委員長1名 委員7名

感染リンクナース委員会

感染に関する知識を深め、統一した感染対策を実施する。お互いに指摘し合い、適切な感染対策を実施することで医療関連感染の防止・低減に繋げる。

- (1) 開催時期 毎月1回 第2金曜日 14時～
- (2) 審議事項
 - ①手指消毒剤使用量サーベイランス
個人の使用量の見える化・目標未達成時の向上のための取り組み
 - ②感染防止技術グループによるリンクナースラウンド
 - ③マニュアルの見直し・整備
- (3) 研修会の開催
 - 新採用者研修
標準予防策と感染経路別予防策
 - 新人看護師感染防止技術研修
防護用具の着脱実践、喀痰吸引、尿道留置カテーテル感染予防策、オムツ交換
手指衛生の5つのタイミング、針の取り扱い、血流感染予防策、血液培養検査
- (4) 人員構成 委員長1名 委員11名

看護リスク検討委員会

看護師の医療安全に関する知識を深め、医療現場における安全性の確保と看護の質の向上を図る。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第2木曜日
- (2) 審議事項
 - ・医療安全マニュアルの見直し
 - ・新人研修会（転倒・転落）
 - ・K Y T分析の学習会
 - ・転倒転落の各部署の事例報告と情報共有
 - ・転倒転落防止対策への取り組み・ラウンド
 - ・各部署の事例報告と情報共有
 - ・出張の伝達講習
- (3) 人員構成 委員長1名 アドバイザー1名 委員8名

看護部教育委員会

看護職員の相互理解と資質の向上、および関係者の親睦を図る。

キャリア開発プログラムに沿った目標管理、教育計画の立案、実施、評価を行う。

看護研究を推進し、看護師の質の向上をめざす。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第1木曜日
- (2) 審議事項
 - ・看護研修の推進
 - ・レベル別及び全体を対象とした教育計画の企画立案、実施、評価
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員10名

係長会

地域包括ケアシステムを理解し、地域における病院の役割、看護部の役割を理解したうえで退院支援看護師として係長がその役割を十分に果たせるように倫理的感性を高め、資質の向上を目指すことを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3木曜日 14時～15時
 - (2) 審議事項
 - ・地域包括ケアシステムを理解し、地域の現状から地域における当院の役割、看護部の役割を理解する
 - ・継続看護を推進するために、係長として部署内で果たす役割を実践する
 - ・倫理問題に対し倫理カンファレンスを定着する
 - ・身だしなみチェック表、倫理審査用紙の検討および研修企画
 - ・係長として必要なコミュニケーション力を学ぶ
- 研修会 新人研修 6月
倫理審査 8月
- (3) 人員構成 委員長1名 看護部係長13名

継続看護委員会

患者・家族が中心となれる、医療と療養と生活を繋ぐ

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3木曜日15時半～16時半
 - (2) 審議事項
 - ・部署間の継続看護のための「連絡カード」の活用
 - ・スタッフへの継続看護の教育的役割
 - ・継続看護の質の均一化を図るためのマニュアルの見直し・修正・作成
 - ・院外研修を基にした学習会（e-ラーニング活用も含む）
 - ・心に残った看護の語り
- (3) 人員構成 委員長1名 委員9名

看護部主任会

豊郷病院における主任業務遂行のため、看護チームの円滑な運用及び効果的な教育・指導を実践する。

活動状況

- (1) 開催時期 年10回
 - (2) 審議事項
 - ・主任が今感じていることに対し解決策を見つけ行動をおこす。
 - ・自部署の強みをいかして課題や目標を把握し解決にむけて取り組む。
- (3) 人員構成 委員長1名 各部署主任18名

新人研修委員会

豊郷病院看護部に入職する新人看護職員を全職員がともに支え合い、成長することを目指すために、また、新人看護職員が臨床現場に順応し、臨床実践能力を獲得するための支援体制を整える。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3金曜日
- (2) 審議事項 本委員会は厚生労働省の示す新人看護職員研修ガイドラインを基に以下の事項を審議、実践する。
 - ①施設及び看護部門の教育方針に基づき、研修プログラムを策定・企画
 - ②策定された研修プログラムを元により具体的な研修方法・研修内容等について審議
 - ③教育担当者・実施指導者の研修に関する審議
- (3) 人員構成 委員長1名 委員7名

NST・褥瘡リンクナース委員会

院内栄養サポート、褥瘡予防対策と治療を討議し、検討し栄養サポートと褥瘡に関する知識の増進、普及を図り、日常生活自立度が低い入院・入所患者に対して栄養サポート・褥瘡予防対策と治療を図るとともに、医療の向上・ケアの促進に貢献することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 リンクナース委員会 月1回第3水曜日 13:10～
褥瘡回診 月2回 第1・3水曜日 14:30～
褥瘡ラウンド 毎週水曜日 14:30～
NST回診 毎週水曜日 14:40～
NST・褥瘡合同委員会会議 第3水曜日16:00～
- (2) 審議事項
 - ・褥瘡保有患者症例検討
 - ・褥瘡計画表・評価表・マニュアルの見直し・改訂
 - ・褥瘡発生数（持ち込み、院内発生）治癒率の確認
 - ・耐圧分散マットの管理
 - ・リースエアーマットの管理
 - ・“褥瘡ケア通信”の発行
 - ・研修会
全体研修会 2023年11月8日（水）17:10～18:10
『褥瘡ケアと皮膚ケア』講師：医療法人医誠会 特定疾患分野対策室
皮膚排泄ケア認定看護師 香川 愛 先生
上記研修を12/28～2024年1/31まで院内文書で動画配信
最終受講後アンケート数から受講者246人
- (3) 人員構成 委員長1名 委員9名

認知症ケア看護委員会

各部署の認知症ケア向上のための活動

活動内容

- (1) 開催時期 月1回 第1水曜日 14時～15時
- (2) 審議事項
 - ・事例検討会
 - ・スタッフへの認知症看護の教育的役割
 - ・認知症ケアの質の均一化を図るためのマニュアルの見直し・修正・作成
(認知症ケアに関するツールの作成)
 - ・院外研修を基にした学習会 (e-ラーニング活用を含む)
 - ・認知症カフェの運用
- (3) 人員構成 委員長1名 委員(各部署)7名
必要時招集(パストラル・手術室・透析室・訪問看護ステーション)4名

6 看護教育委員会事業報告書

レベル	【実践能力】・テーマ	開催日	参加人数・参加率	内容
I・II 共同	【ケアする力】 患者さんの食べたいを安全に介助する方法を理解する	7/6 (木) 17:30~18:30 7/7 (金) 中止 動画視聴 7/10~7/31	レベルI 32名84% レベルII 42名70%	集合研修 講師：戸田言語療法士 接触嚥下の説明や介入ポイント、口腔内の運動機能や口腔ケアの重要性、むせ込みの評価についての講義でわかりやすい内容であった。1日目は集合研修で研修ができたが、2日目はコロナ感染拡大予防のため急遽中止となり動画研修へ変更した。
I	【協働する力】 患者が見えるケアが伝わる看護記録	10/16~11/30	23名 58%	動画視聴研修 e-ラーニングを視聴しアンケート入力。 看護記録は看護そのものである。必要な情報をタイムリーに記載し共有できる記録が基本である。記録のポイントと看護記録の重要性が学べた研修。
	【ケアする力】 動いてなんぼ、それが急変対応「わかる」が「できる」になる急変対応	12/9~12/28	18名 46%	動画視聴研修 e-ラーニング視聴後集合研予定であったがコロナ感染拡大防止のため中止。視聴のみの研修となった。集合研修がなくて残念であったという感想もあり、今後も実践形式での研修を企画していく。
	【ニーズを捉える力】 患者の思いを聞いて行こう e-ラーニング 患者の希望を叶えるエンド・オブ・ライフケア Youtube 末期がん最後を自宅で「治療」か「その人らしさ」か	2024年 3/12~4/4	24名 63%	動画視聴研修 2つの動画視聴後、アンケート記入。終末期看護、看取り、在宅看護について考える機会になった研修。
II	【協働する力】 メンバーシップ・フォローアップ	視聴 8/1~8/30 実践 9/1~9/22		動画・実践研修 e-ラーニング視聴後個人目標を立て、部署内で共有し実践可能な目標を立案。計画した目標に沿って実践しアンケート提出。
	【意思決定を支える力】 臨床倫理入門 臨床倫理事例検討法	11/1~11/30	42名 71%	動画視聴研修 e-ラーニングを視聴しワークシート記載。 臨床倫理の具体的な説明や自分達のふるまいについて、事例検討では意思決定支援について学べた研修。
III	【協働する力】 頑張ってるあなたに知ってほしいセルフコンパッションのすすめ	7/1~7/31	44名 54% 2ヵ月後 30名 35%	動画・実践研修 e-ラーニング視聴後8日間実践し専用紙記載。さらに2ヶ月間疲れた時、落ち込んだ時に実践し、変化を用紙に記載し提出。自分を思いやるセルフコントロールの方法を身につけることを目的とし実践方式での研修。はじめの8日間はポジティブ思考になったという意見も多かったが、2ヶ月後では自分を労うことができるようになったという意見もあったが継続できなかったという意見もみられた。
	【ニーズを捉える力】 看護師が知っておきたい画像検査の読み方・解き方	9/7~10/30	50名 57%	動画視聴研修 e-ラーニングを視聴し学びのレポート提出 画像の見方について学ぶことができた研修であったが、内容が難しかったという意見もあった。
	【ケアする力】 フィジカルアセスメントの戦略 ~どう展開してどう仕上げるのか~	2024年 1/5~2/8	52名 59%	動画視聴研修 e-ラーニングを視聴しアンケート入力 フィジカルアセスメントを進めるためには、全体を理解し生活場面が重要であること、症状や兆候を見逃さないこと、伝える時は正しい共通言語を用いること、伝えるが手段、伝わるがゴールであることを学んだ研修。
	【意思決定を支える力】 医療職として働く時のチームワークのあり方	2024年 2/9~3/8	49名 56%	動画視聴研修 チームワークは目標の共有と協力が必要であること、チームワークに関わるにはコミュニケーションが重要であることが再認識できた研修。
IV	【意思決定を支える力】 ビリーブメントカンファレンスをACPに繋げる	10/19 (木) 10/20 (金) 17:15~18:15	30名 20名	集合研修 ラダーⅣと主任以上の役職者対象 講師：鉾立係長（透析看護認定看護師） 高森N s ACPの説明やビリーブメントカンファレンスについて、取り組みの紹介、実践に取り組むための導入講義も含めた内容の濃い研修であった。各部署でビリーブメントカンファレンスを開催が課題であったが、全ての部署で開催することができた。

Ⅳ	【ケアする力】 心不全パンデミック時代の急性増悪への対応	11/3~11/30	28名 66%	動画視聴研修 e-ラーニングを視聴後、学びのレポート提出。心不全の病態と治療、急性増悪の原因と対応、起こさないためのセルフケア支援など実践で活かせる内容であった。
	【ニーズを捉える力】 医療職が育む社会人基礎力の必要性	2024年 2/1~3/31	39名 86%	動画視聴研修 e-ラーニングを視聴し学びのレポート提出 社会人基礎力について 再確認でき、自分の不足している部分を発見したり、今後のスタッフ育成に繋がる研修であった。
	【ニーズを捉える力】 看護職として考えるカンファレンス	2024年 3/15~3/31	25名 52%	動画視聴研修 カンファレンスの機能は新たな事を学ぶ、情報の共有、人材育成である。カンファレンスは教育の場であること、誰もが発言できる雰囲気を作ること、実践に移すことなど良いカンファレンスのポイントが学べた研修。
全体	看護部総会	8月	16名	コロナ感染予防の観点から所属部署代表参加となる師長会で報告とした。事業報告、会計報告、次年度予算案、教育計画案を報告した。出席者16名、委任状196/237名で過半数を超え可決された。
	リフレッシュ研修	10月		コロナ感染予防の観点から、会食は中止とし昨年同様お食事券へ変更した。
	看護研究発表会	2024年 3/21 (木) 17:15~18:15	42名 17%	発表部署 3-4・3-6・5-2・レインボウとよさと・血液浄化センター 講評：西村看護部長 座長：田畑師長 年間を通して計画、実践した成果を発表し学びの共有の場となった。今年度より発表部署は2年毎の発表とした。
	認知症研修 せん妄予防と発症時のケア 認知症と睡眠薬	2024年 3/11~4/15	167名 69% 165名 69%	動画視聴研修 講師：堀尾師長（認知症看護認定看護師） 岡田部長（薬剤部） せん妄予防とケアについて事例を用いてわかりやすく講義して頂いた。 認知症と睡眠薬の講義では、認知症の症状と睡眠薬の種類や特性について講義して頂き知識を深めることができた研修内容であった。
	ケーススタディ発表会	12/1 (金) 16:30~18:50		2021年入職者 発表者：7名 講評：西村看護部長 外川統括 座長：大辻師長 ケースをまとめることで自己の看護を振り返ることができ、発表者の症例から学びの共有ができた。
	血液浄化センター研修	2024年 2/1 (木) 2/2 (金) 17:30~18:30	87名 35%	集合研修 講師：鉾立係長（透析看護認定看護師） 高森Ns 透析についての講義と穿刺体験やエコーの体験。実際に体験することで透析について興味や知識が深まった研修となった。
	ナラティブ発表会	11/1~11/30	154名 62%	動画視聴研修 前年度同様動画撮影での発表会。Ns 8名とCW3名の11名の発表があった。感動したという感想が多く、看護の振り返りとこれからの看護に活かしていきたいという前向きな感想も多かった。
マネジメント	インバスケッ研修	2024年 3/29 (金) 17:30~18:30	8名 2022年度インバスケッ研修参加者以外のマネジメントラダーⅡ及び希望者	集合研修 講師：山田主任 仮屋主任 主任会主催のインバスケッ研修を教育委員会が継続して開催。 5事例をグループワークで話し合い優先順位について発表してもらった。少人数であったが、有意義な研修となった。
	インバスケッ研修 フォローアップ研修	2024年 3/15 (金) 17:30~18:30	17名 65% 2022年インバスケッ研修参加者	集合研修 インバスケッ研修のおさらいと研修後についてGWで意見交換し発表。自分の強みや弱みを再認識し今後に繋がられる研修となった。

7 院内外研究発表

院内研究発表会

2024年3月21日 豊郷病院9-2ホール

1. 生活目標達成に向けて他職種と協働支援することでみられた患者の行動変容
血液浄化センター ○高森健太、横田徹、曾我弘樹、冨田行則、猪田縁、
福本喜之、銚立優作、北川香里、外川巧、井尻由美子、
吉川愛、円城美由紀、青木清子、西村加津子、
山脇亮太、畦地陸斗、岡田明希歩
2. 新人看護師の働きやすい職場環境作り ～発問のパターンを用いて～
3-4病棟 ○早川雅浩、太田悠介
3. 精神科急性期治療病棟における関わりで大切なこと
～精神科勤務歴10年以上の看護師が大切にしている事をインタビューを通して学ぶ～
3-6病棟 ○福谷満子、大奈路美輪
4. 回復期リハビリテーション病棟の看護実践 ～退院支援の実態調査～
5-2病棟 ○上口利香、岡美江、荒川香生里
5. ビリーブメント（死別）カンファレンスにおける遺族ケアの有用性と介入時期の検討
血液浄化センター ○銚立優作、横田徹、曾我弘樹、冨田行則、猪田縁、
福本喜之、北川香里、井尻由美子、高森健太、
吉川愛、円城美由紀、青木清子、西村加津子、
外川巧、山脇亮太、畦地陸斗、岡田明希歩
6. 当訪問看護ステーションにおける災害対策に関する意識調査
～アンケートから見えてきた今後の課題～
訪問看護ステーションレインボウとよさと ○寺田艶子、山田里美、小野陽子、外川はつえ

講演・シンポジスト等

1. 2023年4月20日
銚立優作：ビリーブメントカンファレンスの意義と実際
北海道 遺族とのかかわりと考える会（ZOOM）
2. 2023年8月6日
銚立優作：明日の看護に活かすビリーブメントカンファレンス ～ACP・意思決定支援に繋げる～
東海CAPD看護研究会セミナー in Summer 成田記念病院

3. 2023年8月24日
銚立優作：ビリーブメントカンファレンスの取り組み
第29回東大阪プロジェクト 縁起でもない話をしよう会
4. 2023年10月5日
銚立優作：自施設におけるエンパワメントを意識した患者支援
第86回湖北談話会学術講演会 ホテルサンルート彦根
5. 2023年10月14日
堀尾素子：在宅療養サポートセンターとよサポにおける認知症支援コーディネーターの取り組み
甲良町認知症フォーラム 甲良町公民館
6. 2023年11月18日、19日
銚立優作：ビリーブメントカンファレンスの意義と実際
第26回日本腎不全看護学会学術集会・総会 教育講演 仙台TKP
7. 2023年11月25日、26日
銚立優作：コロナ禍におけるビリーブメントケア
ー遺族を交えて行うビリーブメント（死別）カンファレンスからみえたものー
第29回日本血液透析濾過医学会学術集会・総会
同企画ワークショップ「COVID19パンデミック、past and future」
8. 2024年3月16日、17日
銚立優作：透析患者が互いに支え合い取り組む腎臓リハビリテーション
ー看護の役割りにおける環境調整と支援ー
第14回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 新潟 朱鷺メッセ

研究発表

1. 2023年6月16～18日
遺族を交えたデスカンファレンスからみえた代理意思決定における医療者と家族の思いの相違
○銚立優作、曾我弘樹、福本喜之、北川香里、西山俊英
第68回日本透析医学会学術集会・総会 神戸ポートピアホテル・神戸国際会議場・神戸国際展示場
2. 2023年6月16～18日
生活目標の設定と他職種との協働支援でみられた患者の行動変容
○高森健太、富田行則、曾我弘樹、銚立優作、西山俊英、福本喜之、北川香里
第68回日本透析医学会学術集会・総会 神戸ポートピアホテル・神戸国際会議場・神戸国際展示場

3. 2023年9月17日
自施設における腎臓リハビリテーションの取り組み
～透析患者が互いに支え合い効果が得られた2事例～
○銚立優作、曾我弘樹、冨田行則、井尻由美子、高森健太
第44回滋賀腎透析研究会 ピアザ淡海
4. 2023年9月17日
ビリーブメント（死別）カンファレンスにおける遺族ケアの有用性と介入時期の検討
○銚立優作、横田徹、曾我弘樹、冨田行則、猪田縁、福本喜之、北川香里、
井尻由美子、高森健太、吉川愛、円城美由紀、青木清子、西村加津子、
外川巧、山脇亮太、畦地陸斗、岡田明希歩
第44回滋賀腎透析研究会 ピアザ淡海
5. 2023年9月17日
生活目標達成に向けて他職種と協働支援することでみられた患者の行動変容
○銚立優作、高森健太
第44回滋賀腎透析研究会 ピアザ淡海
6. 2024年1月14日
回想法を取り入れた認知症カフェ「豊豊」の取り組み
○甲斐牧恵、外川栄子、川口恵子、堀尾素子
滋賀県認知症フォーラム 滋賀県庁
7. 2024年3月9日、10日
卒業生チームによる看護学生に向けた新たな教育的アプローチ「結 project」
～看護学生に与えた将来のキャリアビジョンの意識変化～
○銚立優作、北崎礼繁、山口祐介、入江亮介、上久保一樹、小野昭子、渡邊桃子
第3回日本臨床腎臓病看護研究会学術集会・総会 岐阜羽島 岐阜県立看護大学

雑誌掲載

1. 2023年11月
次のよりよいケアに活かすためのビリーブメントカンファレンスとは
銚立優作、禪野貴一郎、藤田亜矢子、平山遼一、金城隆展
te to te Vol.32 7-8

〈地域連携室部門〉

〈医療福祉相談室部門〉

医療福祉相談室理念

豊郷病院の基本理念に基づき、疾病に伴い生ずるさまざまな生活上の問題を共に考え、その解決に向け質の高い援助を提供します。

基本目標

1. 患者さんご家族の人権を尊重し個人としての尊厳を擁護します。
2. 患者さんご家族のプライバシーを尊重し秘密を保持します。
3. 患者さんご家族が自らの問題解決に主体的に取り組めるよう支援し、自己決定権を保障します。
4. 院内の他職種、及び地域の保健・医療・福祉の関係機関との連携を強めます。
5. 質の高い援助を提供するために、常に専門職としての研修・研鑽に努めるとともに、後輩の育成に努めます。
6. 専門職の立場から社会活動を行い、社会資源の活用と開発を図ります。

1 地域連携室事業報告

地域連携室

① 概要

「地域連携室」は、地域の医療機関、診療所の先生方と円滑な連携を図り、患者さまに迅速で適正な医療・検査を提供できるよう、2003（平成15）年5月に設置されました。

《業務内容》

1. 病病、病診連携業務

- ① 診察・検査予約調整
(地域の医療機関からの予約受付及び地域の医療機関への予約依頼)
- ② 各種問合せの対応
(地域の医療機関からの問合せ及び地域の医療機関への問合せ)
- ③ 転院調整
- ④ 紹介患者来院・入退院報告書処理
- ⑤ 診療結果報告書等処理（持参・郵送）
- ⑥ 紹介患者データ統計処理・分析
- ⑦ びわ湖あさがおネットの公開処理
- ⑧ 医療機関・福祉施設・行政への訪問

2. 近隣医師会との連携業務

愛知・犬上医師連絡会

3. 広報紙活動

- ① 広報紙の発行・配布
- ② 外来診療担当表・及び病院からのお知らせ等配布
- ③ 医療情報収集・発信

4. 地域との連携業務

- ① 地域向け行事の開催
- ② 地域行事への参加

5. その他調整業務

② スタッフ

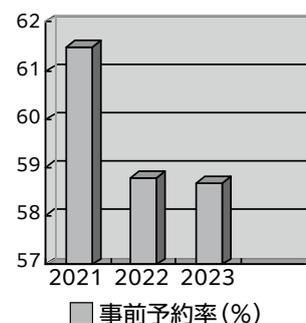
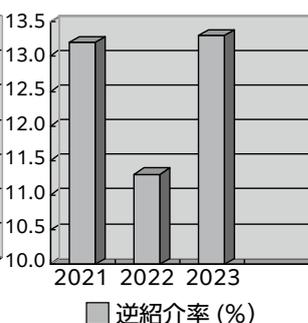
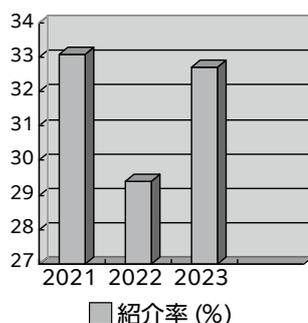
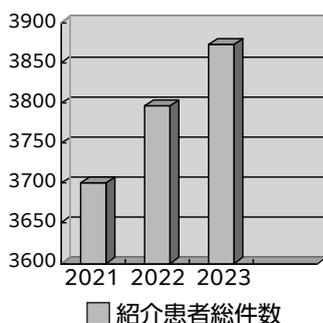
担当 院長特別補佐・副院長・診療部長 曾我 弘樹

室長 上野 志保 係長 多林 晴美 室員 西山 瑠夏

③ 活動実績

1. 紹介患者

	2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度
紹介患者総件数	3,700	3,796	3,873
紹介率	33.1%	29.4%	32.7%
逆紹介率	13.2%	11.3%	13.3%
事前予約率 (地域の医療機関からの予約)	61.5%	58.8%	58.7%



2. 研修会

□愛知犬上医師連絡会

日時・場所・内容

- ◆2023年6月9日（金）14：00～15：00
パストラールとよさと 研修室
「下部尿路症状診療の基本」 - 前立腺肥大症と過活動膀胱を中心に -
泌尿器科部長 益田 良賢 医師
- ◆2023年9月8日（金）14：00～15：00
パストラールとよさと 研修室
「せん妄の見方と対処について」 精神科 有福 淳大 医師
「DWIBSの紹介と症例報告」 放射線科 宮下 明彦 放射線技師
- ◆2024年2月29日（木）17時30分～
「脳血管障害の外科治療：最近の話題」
滋賀医科大学医学部附属病院 脳神経外科学講座 教授 吉田 和道先生

3. 広報紙発行

豊郷病院広報紙「医心伝心」の発行

- ◆定期号4回発行 4月・7月・10月・1月
- ◆号外版5回発行 4月（パストラール）、8月（耳鼻咽喉科）・（放射線科）
10月（耳鼻咽喉科）、12月（レスパイト入院）

4. 地域との連携業務

連携内容の詳細は51頁の4公開セミナー・出前講座・健康フェスティバルに別記掲載

④ 研修活動

1. 院内研修会、勉強会

2023（R5）年

4月20日	感染研修会「医療の安全を語る」（DVD）	3名
4月24日	事務部ネパール語勉強会 事務部勉強会「インボイス制度」	3名 3名
5月22日	事務部ネパール語勉強会 事務部勉強会「採用について」	3名 3名
6月8日	医療安全研修会「心肺蘇生法2023」	1名
6月19日	事務部ネパール語勉強会 事務部勉強会「入院案内ビデオの試写会」	3名 3名
8月21日	事務部研修会「モチベーション」	3名
9月14日	医療安全研修会「心肺蘇生法2023」	1名
9月25日	事務部勉強会「オンライン資格確認について」	3名
9月26日	火災報知器説明会	3名
10月13日	医療安全研修会「心肺蘇生法2023」	1名
10月23日	事務部ネパール語勉強会 事務部勉強会「SNS」	3名 3名
11月14日	感染対策研修会「新型コロナウイルス感染症」（DVD） 医療放射線安全管理オンライン研修（DVD）	3名 3名
11月18日	公開セミナー&ホスピタルコンサート 「めまいはどうして起きるの？」 ～耳の病気が原因！“耳性めまい”についてお話しします～	3名
11月21日	事務部ネパール語勉強会 事務部勉強会「他医療機関への紹介」	3名 3名
12月25日	事務部ネパール語勉強会 事務部勉強会「電子帳簿保存法について」	3名 3名

2024 (R6) 年

1月22日	事務部ネパール語勉強会	3名
2月7日	個人情報保護対策・ITセキュリティ対策研修会 「サイバー攻撃の事例紹介」(DVD)	3名
2月26日	虐待防止研修会「虐待に関して知っておくべきこと」(DVD)	2名
	事務部ネパール語勉強会	3名
	事務部勉強会「SPD導入効果法」	3名
2月27日	感染対策研修会「災害時の感染対策」(DVD)	3名
3月6日	人権研修会「アサーションで防ぐセクシャルハラスメント」(DVD)	3名
	医療安全研修「災害支援ナースとしての活動報告」	2名
3月13日	TQM活動発表会	3名
3月14日	医療安全研修「災害支援ナースとしての活動報告」(DVD)	1名
3月25日	事務部ネパール語勉強会	3名
	事務部勉強会「ビジネス文書の基本」	3名
3月30日	公開セミナー 「認知症の人への声のかけ方、接し方—説得より納得—」	3名

2. 室内研修会

2024 (R6) 年

3月12日	室内人権研修会「インターネットと人権」	3名
-------	---------------------	----

- 紹介元医療機関 省略 別記参照
- 歯科紹介元医療機関 省略 別記参照
- 検査依頼先 省略 別記参照

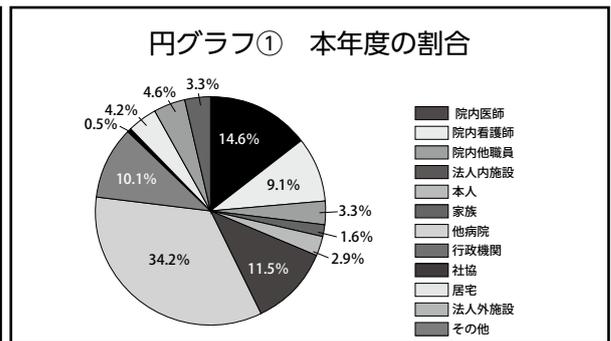
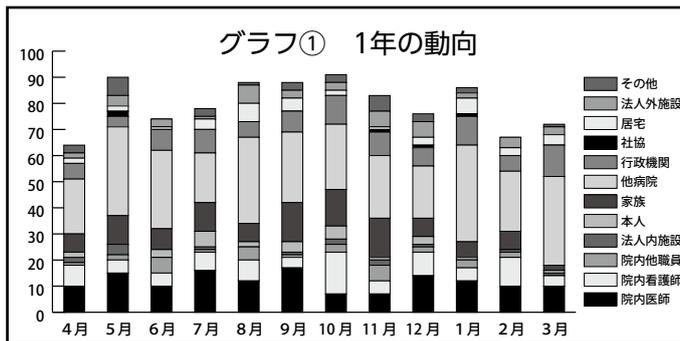
2 医療福祉相談室事業報告

医療福祉相談室

1、新規ケースの紹介経路

表①

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023年度計	2022年度計
院内医師	10	15	10	16	12	17	7	7	14	12	10	10	140	115
院内看護師	8	5	5	7	8	4	16	5	9	5	11	4	87	108
院内他職員	1	2	6	1	5	1	3	6	2	3	2	0	32	36
法人内施設	2	4	0	1	0	1	2	2	1	0	1	1	15	24
本人	2	0	3	6	2	4	5	1	3	1	0	1	28	32
家族	7	11	8	11	7	15	14	15	7	6	7	2	110	120
他病院	21	34	30	19	33	27	25	24	20	37	23	34	327	294
行政機関	6	4	8	9	6	8	11	9	7	11	6	12	97	108
社協	0	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	5	3
居宅	2	2	1	4	7	5	2	1	3	6	3	4	40	54
法人外施設	2	4	3	1	7	3	3	6	6	2	4	3	44	41
その他	3	7	0	3	1	3	3	6	3	2	0	1	32	29
計	64	90	74	78	88	88	91	83	76	86	67	72	957	964

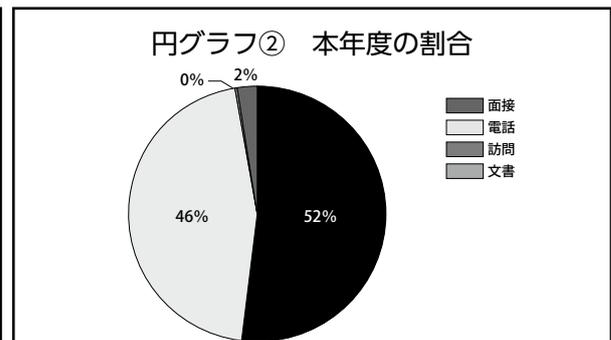
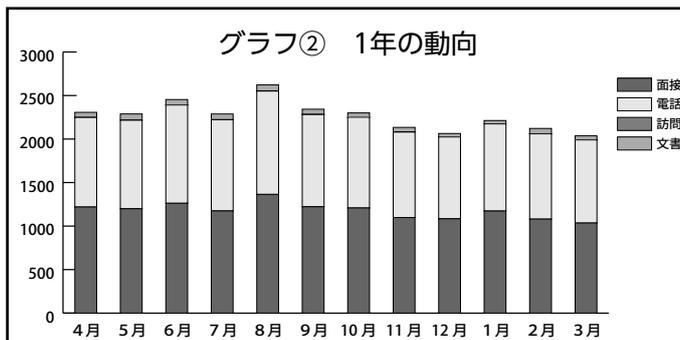


2、援助方法

表②

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023年度計	2022年度計
面接	1,219	1,199	1,262	1,174	1,364	1,222	1,208	1,098	1,084	1,173	1,080	1,035	14,118	15,006
電話	1,029	1,017	1,129	1,047	1,187	1,059	1,043	982	940	1,001	980	955	12,369	13,178
訪問	0	0	2	2	2	1	1	0	0	0	1	1	10	2
文書	59	72	61	65	69	61	48	54	40	39	61	46	675	756

(件)

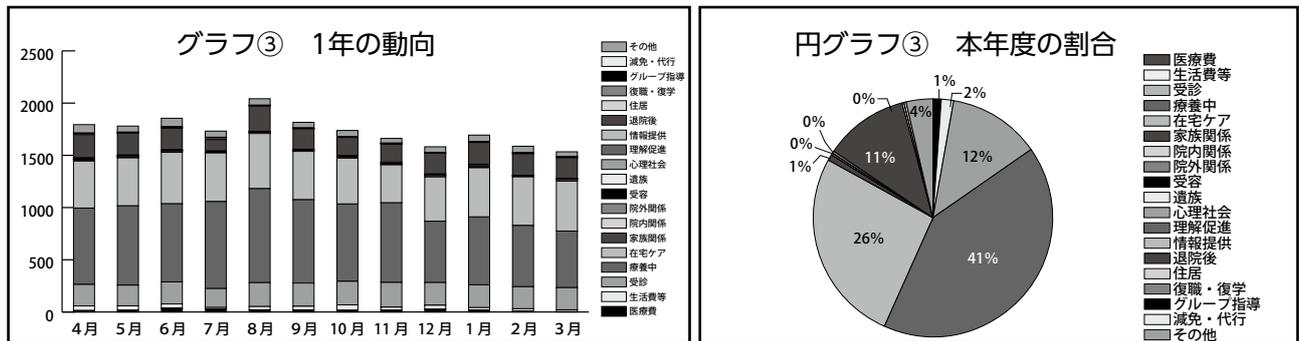


3、援助内容

表③

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023年度計	2022年度計
医療費	14	17	38	27	21	20	17	18	27	20	11	3	233	399
生活費等	44	42	39	16	31	35	51	28	38	22	20	18	384	424
受診	206	198	211	181	229	222	226	237	217	218	211	212	2,568	2,865
療養中	731	759	748	833	900	798	740	762	587	650	586	542	8,636	9,090
在宅ケア	450	460	493	466	528	463	439	364	424	471	466	478	5,502	4,997
家族関係	12	11	14	8	10	9	13	10	19	11	10	20	147	159
院内関係	3	3	3	1	3	0	0	2	0	1	0	1	17	42
院外関係	6	3	2	2	2	6	5	0	0	10	3	1	40	80
受容	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2
遺族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
心理社会	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
理解促進	2	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	7	19
情報提供	7	8	5	8	5	5	2	13	8	9	2	3	75	313
退院後	222	210	206	109	241	196	177	171	200	210	206	199	2,347	2,218
住居	13	3	6	15	5	5	3	7	3	5	6	6	77	130
復職・復学	1	0	0	1	2	1	1	2	0	4	0	0	12	35
グループ指導	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
減免・代行	0	5	8	6	2	1	1	2	0	0	3	2	30	97
その他	82	58	81	59	62	55	62	45	58	62	63	49	736	1,077

(件)

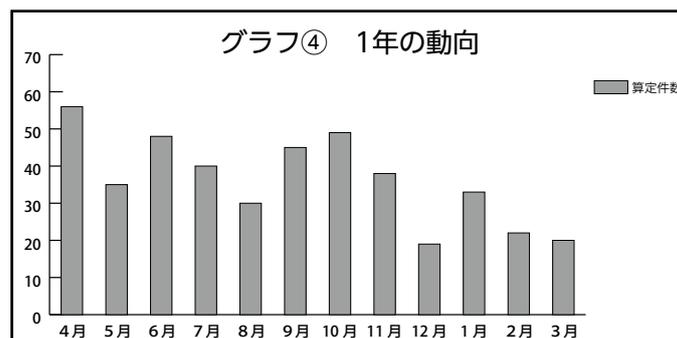


4、入退院支援加算算定（退院支援計画書）

表④

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023年度計	2022年度計
算定件数	56	35	48	40	30	45	49	38	19	33	22	20	435	564

(件)

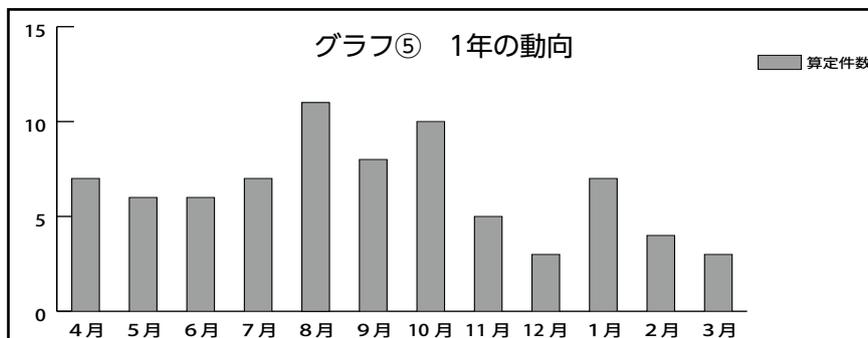


5、介護支援連携指導料算定

表⑤

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023年度計	2022年度計
算定件数	7	6	6	7	11	8	10	5	3	7	4	3	77	78

(件)

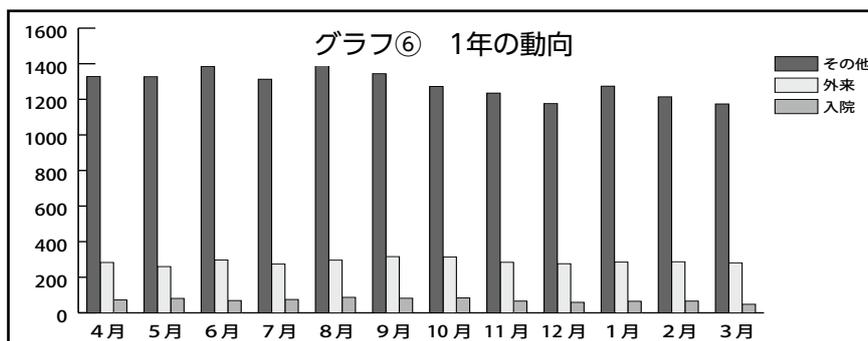


6、入院/外来区分

表⑥

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023年度計	2022年度計
入院	1,328	1,327	1,384	1,313	1,564	1,344	1,272	1,235	1,176	1,274	1,214	1,174	15,605	15,642
外来	283	260	297	274	296	316	314	284	276	285	287	281	3,453	4,106
その他	73	81	69	75	87	82	84	66	59	65	66	48	855	994

(件)



7、定期会議・委員会・地域活動等

院内	課科長師長会、事務部会、事務部課長会、コロナ対策会議、コンサルヒアリング、関連施設委員会、事務部管理会議、ボランティア委員会、ボランティア対応、病院管理会議、感染対策会議、互礼会、公休日数検討会議	1名
	1-3病棟初期カンファレンス、1-3病棟カンファレンス、3-4病棟COVID-19カンファレンス、びわこ学院大学看護臨床実習、職場体験実習（愛知中学校、秦荘中学校、稲枝中学校、彦根中学校、豊日中学校）、クリニカルパス委員会	1名
	精神科新規入院カンファレンス、行動制限最小化委員会、精神科急性期パスカンファレンス	3名
	虐待防止委員会	3名
	精神保健福祉士実習生オリエンテーション・巡回指導対応（京都医療福祉専門学校、京都文教大学、佛教大学）、認知症患者医療センター及び認知症外来運営委員会	2名
	係長・主任会議、リハビリカンファレンス	2名
	3-2病棟カンファレンス	3名
	3-3病棟カンファレンス	2名
	3-4病棟カンファレンス	2名
	3-5病棟カンファレンス、退院支援委員会	2名
	5-2病棟初期カンファレンス、リハビリカンファレンス	2名
	透析入院カンファレンス	3名
	地域包括ケア病棟運用合同会議	2名
	サービス向上員会	1名
	エコ委員会	1名
互助会美化運動	7名	
院外	障害支援区分認定審査会、湖東地域ネットワーク会議	1名
	滋賀県医療観察制度運営連絡協議会、心神喪失者等医療観察法に係るケア会議、湖東圏域入退院支援ルール評価検討事業合同会議（コア会議）	1名
	ひこっとパス研修会、東近江脳卒中地域連携連絡会議、湖東地域脳卒中地域連携検討会ワーキング部会	2名
	認知症患者医療センター推進会議、管内認知症施策担当者会議、湖東圏域認知症患者医療連携協議会、認知症患者センター相談員情報交換会	1名
	彦根市自殺未遂対策ネットワーク会議	1名
	滋賀県MSW協会研修部会	1名
	地域移行推進協議会	3名
	認知症カフェ～豊豊～出前講座	1名

8、各種研修会等

4月	感染対策研修会	7名
	滋賀県MSW協会令和5年度通常総会	2名
5月	BLS研修	2名
	メンタルヘルス研修	1名
6月	精神保健福祉士実習指導者講習会（ZOOM）	1名
	相談室勉強会（心理検査について）	7名
7月	ことう地域チームケア研究会	3名
	精神保健医療福祉業務従事者研修会（基礎コース）	1名
8月	社会福祉士実習指導者研修	1名
9月	カイゴとフクシ就職フェアinしが	1名
	ことう地域チームケア研究会	3名
	湖東圏域入退院支援ルール評価検討事業 病院・介護支援専門員拡大会議	2名
	湖東圏域施設・病院交流会	1名
	社会福祉士実習指導者研修	1名

10月	BLS研修	3名
	第20回日本医療マネジメント学会 京滋支部学術集会	1名
	感染対策研修会	5名
11月	ことう地域チームケア研究会	3名
	医療安全研修	7名
	滋賀県MSW協会研修会	1名
	滋賀県SW3団体合同研修会	2名
	退院支援強化事業全体研修会	1名
12月	BLS研修	1名
1月	虐待防止研修	4名
	湖東圏域施設・病院交流会	1名
2月	個人情報保護対策・ITセキュリティ対策研修会	7名
	感染対策研修会	7名
	ACP研修	7名
	湖東圏域入退院支援ルール評価検討事業 病院・介護支援専門員拡大会議	2名
	精神保健福祉手帳・自立支援医療の適正な運営を考える講演会	3名
	精神保健福祉法改正に係る説明会 (ZOOM)	3名
	滋賀県MSW協会研修会	3名
	虐待防止研修	1名
3月	人権研修会	7名
	虐待防止研修	2名
	豊郷病院公開セミナー	7名

9. スタッフ

室長 上野 志保

係長 西村 啓

主任 笹木 一希

担当 西村 知美 北村 一 入谷 恵

〈事 務 部 門〉

〈診療情報管理室部門〉

〈各種統計資料〉

事務部理念

豊郷病院事務部は病院の基本理念に基づき、医療の質とサービスの向上につとめ、合理的で安定した運営管理を行い、地域医療に貢献する

基本目標

1. 地域に必要な医療設備と患者さま本位の快適な環境の整備に努める。
2. 人権を尊重し、思いやりの心で明るく優しい対応に努める。
3. 優秀な人材確保と育成に努める。
4. 法令遵守と安全・安心・信頼を築く。
5. ムダをなくし、経費削減に努め、健全経営を行う。
6. 地域に開かれた運営と連携に努める。

1 事務部・診療情報管理室事業報告

管理課

① 概要

職員の労務時間管理、給与・福利厚生、ライフイベントに沿って生じる諸手続きの管理、任免・賞罰、労使関係、教育研修、職員採用、人権関係などを行う。

② スタッフ

課長 宇野玲子、課長補佐 熊木英夫、主任 北川未奈実、課員 2名

③ 活動実績

- ・看護職のための豊郷病院見学・相談会（毎月第3土曜日に実施）
- ・人権尊重と質の向上
人権教育の推進（全体研修、新人研修）
- ・人材確保に向けた取り組み
介護士・ケアワーカー人材不足対策としての外国人材の登用
ネパールから技能実習生受け入れ
- ・業務改善
 - ①休暇届の電子化導入準備
 - ②スマイルホリデーの制度構築

④ 研修活動

課内研修会
人権研修
接遇研修

企画財務課

① 概要

法人全体の経営方針・経営戦略・中期計画策定、ならびに実績評価と課題の検討、改善の方法の策定。財務諸表、予算、決算、監査に関すること。財産管理、資産繰り等を幅広く取り扱う。

② スタッフ

課長 山本 保 課長補佐 山本洋道 課員 2名

③ 活動実績

- ・収益UPに向けた企画立案
 - ・各部署の目標や課題、その取り組み内容の把握ヒアリング実施と、実績評価
 - ・現・預金の出納管理
 - ・法定調書の作成
 - ・固定資産台帳作成・管理
 - ・各金融機関・行政・税務署などと交渉、調整
 - ・コンサルタント会社と法人各担当者と折衝
 - ・各税金・保険料等の納税納付
 - ・財務諸表の作成・分析
 - ・公益法人手続き関連
- 2023.06.06…会計監査
2023.09.05…公益法人立ち入り検査
2023.11.24…中間役員会
- 2023.06.23…決算役員会
2024.03.22…予算役員会

④ 研修活動

TQM活動、医療安全、感染管理等

- 2023.04.24 事務部勉強会 テーマ：インボイス制度（発表者:山本洋道）
2023.12.25 事務部勉強会 テーマ：電子帳簿保存（発表者:近藤・岡本）
2023.10月 課内人権研修
2023.11.18 公開セミナー&HPコンサート

診療情報管理室

① 概要

患者と職員が診療情報を共有し、相互の信頼関係を深め、質の高い医療を提供するための診療情報の管理と情報の提供を行う。また、診療情報の統一を行い、その情報が広域的に活用されることにより、患者および病院や地域医療の医療・保健・福祉に貢献する。院内のシステム機器の管理や修理・調整をおこない、診療を円滑にする環境を提供する。

② スタッフ

担当課長 山本 保、係長 清水宏美、主任 木村 延也 室員2名

③ 活動実績

- 個人情報資料の破棄
電子カルテサーバー定期再起動（年6回）

④ 研修活動

- 診療情報管理室内研修 接遇マナー研修
事務部勉強会 SNS利用時に気をつける事

医療支援室

① 概要

医療支援室として独立し、業務を拡充。医師負担軽減のタスクシフトをすすめる。

② スタッフ

課長 山本 保、係長 森田 克哉、主任 平木 真理奈、ニチイ学館3名

③ 活動実績

- ・待ち時間削減を目的とした外来医師補助業務
- ・年間3,000件以上の診断書作成補助
- ・書類全般の問い合わせ窓口
- ・カルテ代行入力や診断書補助による医師の事務作業補助
- ・介護保険主治医意見書の作成補助
- ・訪問看護指示書の作成補助
- ・臨床研修医の受入れ補助

④ 研修活動

- ・医療クラーク内勉強会（1回/月）
- ・人権学習（課内）（1回/年）
- ・接遇研修（課内）（1回/年）

医事課

① 概要

診療報酬明細書（レセプト）作成業務、各種請求業務、外来受付業務、入退院業務、患者サービスに係る業務、健康診断（人間ドック）、各種データ作成・分析、未収金管理など

② スタッフ

課長 岡村昌彦、係長 上林真紀・南典宏、主任 若林香菜、課員12名 外部委託22名

③ 活動実績

毎月の保険請求業務
毎日の総合受付及び各科窓口での窓口業務、会計業務
毎月の診療内容の分析及び報告
未収金対策

④ 研修活動

〈医事課内活動〉

保険診療減点等検討会（毎月1回 10日頃） 医事課内 人権学習（1回/年）
医事課内 接遇研修（1回/年） 医事課内 個人情報研修（1回/年）
TQM活動

〈医事課内委員会〉

サービス向上委員会（毎月1回 月末）

業務改善委員会（毎月1回 20日頃）

レセプト博士委員会（不定期）

保険証確認強化日（毎月2回）

未収金強化日（毎月1回）

〈院外活動〉

豊郷町人権問題学習講座への参加（数回に分かれての参加）

総務課

① 概要

総務、資材、営繕、リネン、宿舎、保育、学童、警備、清掃、電気を担当。

- ・公益財団法人豊郷病院の開設事項、役員会の業務、施設の改変事務、設備管理、社宅管理、施設基準、諸補助金並びに各種申請報告に関すること。
- ・諸契約事項及び通達、文書物件の収発管理に関すること。
- ・病院内諸会議事項及び病院内連絡調整に関すること。
- ・当直業務、保安、警備、防災、救急情報センター業務、電話交換業務、自動車運行管理に関すること。
- ・リネン、清掃、給食業務の各委託業務管理に関すること。
- ・病院のボイラー、給水湯、冷暖房、自家発電装置、電気、ガス、上下水道、廃水、コ・ジェネレーション等設備管理に関すること。
- ・医療機器、事務機器、医療材料消耗品、事務消耗品、被服、伝票類、発注購買、検収、保管、管理及び入出庫業務に関すること。

② スタッフ

課長 岩佐 武、主任 山本真弓、吉田章人、木村貴子、草野千晴、渡邊由美子、吉岡美香子、丸橋作彦、金子三喜夫、北川悟司、土田利絵、松田和男

③ 活動実績

公益法人手続き

役員会事務局

その他

④ 研修活動

人権研修

接遇研修

2 各種統計資料

各科月別新患者統計（保険別）

(自.2023.4.1～至.2024.3.31)

科別		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
循環器科	国保		9	9	7	10	8	15	10	5	14	6	6	5	104	
	健保		16	18	11	17	23	19	7	12	12	15	8	14	172	
	後期高齢		10	16	11	17	7	7	6	2	13	8	9	6	112	
	生保		1			1	1		1	1	1	1			7	
	労災														0	
	自費				2					1				1	4	8
	その他															0
	合計		36	43	31	45	39	41	25	20	40	30	24	29	29	403
消化器科	国保		11	13	14	14	23	12	10	12	7	14	9	17	156	
	健保		31	47	43	44	46	52	41	36	32	29	46	38	485	
	後期高齢		17	12	13	12	21	19	16	15	15	10	19	18	187	
	生保		1		1	2	1	1	2	1	1	2			12	
	労災		1												1	
	自費		2			1	4	5	5	1	1		5	5	29	
	その他															0
	合計		63	72	71	73	95	89	74	65	56	55	79	78	78	870
内科(糖尿・透析)	国保		2	2	5	6	6	6	5	3	6	7	1	3	52	
	健保		15	5	10	14	13	8	5	6	15	4	14	10	119	
	後期高齢		5	3	2	7	3	2	4	6	2	5	2	3	44	
	生保				1	3	2				2	1	1		10	
	労災					1		1							2	
	自費			2	1	6	4	1	1	2	1	1	2	1	22	
	その他															0
	合計		22	12	19	37	28	18	15	17	26	18	20	17	17	249
呼吸器内科	国保		22	38	32	52	46	36	34	26	40	37	28	29	420	
	健保		88	111	105	143	198	128	101	106	157	151	134	101	1,523	
	後期高齢		20	22	47	27	38	47	34	29	32	36	32	23	387	
	生保		2	2	1	6	3	4	2	4	2	6	2	3	37	
	労災		1		1										2	
	自費		3	3	3	15	10	7		4	2	2	8	8	65	
	その他															0
	合計		136	176	189	243	295	222	171	169	233	232	204	164	2,434	
呼吸器外科	国保														0	
	健保														0	
	後期高齢														0	
	生保														0	
	労災														0	
	自費														0	
	その他														0	
	合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
泌尿器科	国保		9	14	13	16	13	12	15	14	10	12	11	11	150	
	健保		26	19	33	22	20	24	17	21	19	19	15	16	251	
	後期高齢		13	12	18	20	13	9	14	14	20	13	10	19	175	
	生保		1		1	2		2	1	2	1			1	11	
	労災														0	
	自費		1		2				2	1					6	
	その他															0
	合計		50	45	67	60	46	47	49	52	50	44	36	47	47	593

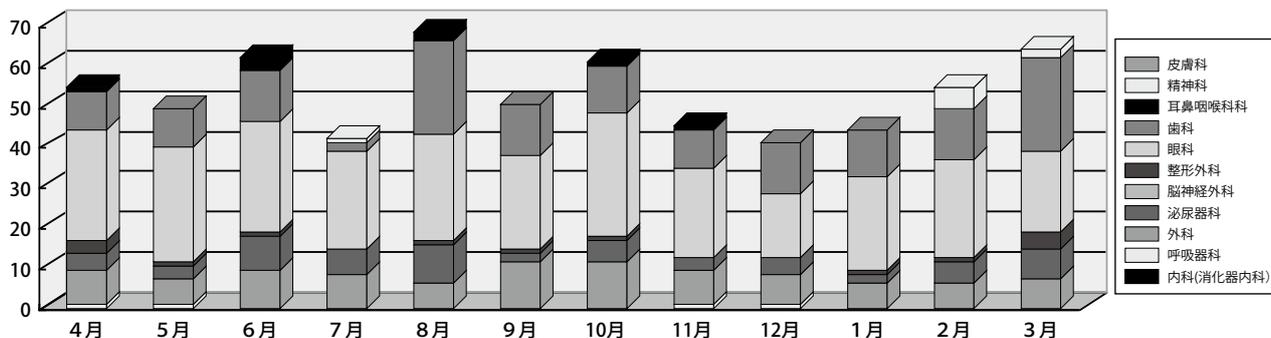
科別		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
透析	国保					2				1					3
	健保	1													1
	後期高齢														0
	生保											1			1
	労災														0
	自費									1					1
	その他														0
合計		1	0	0	2	0	0	0	0	2	0	1	0	0	6
外科	国保	14	13	9	14	20	12	17	10	8	13	11	13	154	
	健保	23	29	26	30	25	31	25	37	25	21	28	24	324	
	後期高齢	10	17	14	12	18	19	14	8	12	17	18	9	168	
	生保		3	1		1	2	2	1		1	2	2	15	
	労災	2	3	1	1	1	1	1	1	2		1	2	16	
	自費	14	12	14	10	10	14	13	11	10	17	12	12	149	
	その他	1		1				1						5	
合計	64	77	66	67	75	79	73	68	57	69	72	64	831		
脳神経外科	国保	8	8	6	12	7	9	5	7	6	9	4	2	83	
	健保	14	15	20	14	16	12	10	17	15	10	7	4	154	
	後期高齢	5	12	9	7	10	3	7	10	11	10	5	6	95	
	生保		2								1		2	5	
	労災								1					1	
	自費			1	1		1			2	1			6	
	その他	1					1	1					1	4	
合計	28	37	36	34	33	26	24	34	34	31	16	15	348		
脳神経内科	国保	2	1		1		1	2		2		1		10	
	健保		2	6		1	1		1	2	2	1	2	18	
	後期高齢				1			1	1	1		2		6	
	生保			1										1	
	労災													0	
	自費											1		1	
	その他													0	
合計	2	3	7	2	1	2	3	2	5	2	5	2	36		
整形外科	国保	34	33	36	42	36	40	24	39	35	35	18	35	407	
	健保	100	82	97	94	80	84	70	58	59	91	67	86	968	
	後期高齢	32	44	30	43	35	20	32	34	44	38	25	36	413	
	生保	2	2	5	2	2	3	4	4	1	2	2	1	30	
	労災		2		2	1	4			1		1	1	12	
	自費	11	10	8	22	13	18	13	9	10	15	10	12	151	
	その他	5	5	7	5	1	3	3	7	6	11	2	6	61	
合計	184	178	183	210	168	172	146	151	156	192	125	177	2,042		
眼科	国保	19	23	26	33	19	17	19	19	11	27	18	31	262	
	健保	37	53	53	45	34	35	24	38	27	37	36	53	472	
	後期高齢	13	24	31	26	22	31	24	20	17	30	24	47	309	
	生保	1	1	4	2	3	1	4	4	4	4	2	1	31	
	労災													0	
	自費	1	1	1				3	1		1	1	1	10	
	その他													0	
合計	71	102	115	106	78	84	74	82	59	99	81	133	1,084		

科別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
耳鼻咽喉科	国保	20	25	19	29	30	18	24	19	23	22	27	26	282
	健保	57	65	66	58	68	49	60	58	69	73	75	82	780
	後期高齢	24	25	29	26	24	26	9	23	18	21	27	29	281
	生保	1	2	4	6		4	3	2	5		5	9	41
	労災													0
	自費				1		3	1	2	1		1	2	11
	その他					1	1							2
	合計	102	117	118	120	123	101	97	104	116	116	135	148	1,397
皮膚科	国保	18	12	13	16	12	15	13	8	8	11	10	14	150
	健保	29	39	26	22	31	20	23	26	11	18	14	23	282
	後期高齢	20	20	19	17	17	15	16	17	19	20	17	20	217
	生保	3	2	4	6	2	1	2		1		1	3	25
	労災													0
	自費				1			1		1				3
	その他													0
	合計	70	73	62	62	62	51	55	51	40	49	42	60	677
歯科・歯科口腔外科	国保	16	30	31	26	29	21	26	25	25	26	30	26	311
	健保	54	45	45	56	35	40	50	40	57	61	42	59	584
	後期高齢	41	40	53	35	41	34	32	45	33	36	46	50	486
	生保	1	4	6	10	4	4	2	5	5	2	5	5	53
	労災													0
	自費	1						1			5	1	1	9
	その他							1						1
	合計	113	119	135	127	109	99	112	115	120	130	124	141	1,444
婦人科	国保	3	4	1	2	5	1	7		1	2	3	2	31
	健保	5	5	4	5	8	14	4	5	6	3	1	6	66
	後期高齢	3	4			4	2	2	2	1	3	3	1	25
	生保		1	1			1			1	2			6
	労災													0
	自費													0
	その他													0
	合計	11	14	6	7	17	18	13	7	9	10	7	9	128
小児科	国保	13	18	22	26	7	19	17	14	25	13	29	15	218
	健保	60	81	91	81	73	80	88	73	136	81	130	88	1,062
	後期高齢													0
	生保	1	1	2	3		1		1	1				10
	労災													0
	自費			3		1	2	1	2		2	1	2	14
	その他	1					1		1					3
	合計	75	100	118	110	81	103	106	91	162	96	160	105	1,307
精神科	国保	14	16	13	20	20	11	10	13	14	12	10	17	170
	健保	18	19	23	15	11	25	27	19	27	16	20	17	237
	後期高齢	35	32	37	33	32	29	33	38	34	35	25	29	392
	生保	3	8	5	3	2		4	7	5	3	3	4	47
	労災													0
	自費	1	1	1		3		3	2	2	2	6	1	22
	その他							2						2
	合計	71	76	79	71	68	65	79	79	82	68	64	68	870

科別		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心療内科	国保													0
	健保													0
	後期高齢													0
	生保													0
	労災													0
	自費													0
	その他													0
	合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	国保	214	259	247	321	281	245	238	215	235	246	216	246	2,963
	健保	574	635	659	660	682	622	552	553	669	631	638	623	7,498
	後期高齢	248	283	313	283	285	263	244	264	272	282	264	296	3,297
	生保	17	28	37	46	21	24	27	32	30	26	23	31	342
	労災	4	5	2	4	2	6	2	1	3		2	3	34
	自費	34	29	36	57	45	51	45	36	30	46	49	49	507
	その他	8	5	8	5	2	6	8	8	6	11	2	9	78
	合計	1,099	1,244	1,302	1,376	1,318	1,217	1,116	1,109	1,245	1,242	1,194	1,257	14,719

手術の件数

科別		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科(消化器内科)														0
呼吸器科		1	1						1	1				4
外科		8	6	9	8	6	11	11	8	7	6	6	7	93
泌尿器科		4	3	8	6	9	2	5	3	4	2	5	7	58
脳神経外科														0
整形外科		3	1	1		1	1	1			1	1	4	14
眼科		26	27	26	23	25	22	29	21	15	22	23	19	278
歯科		9	9	12	2	22	12	11	9	12	11	12	22	143
耳鼻咽喉科		1		3		2		1	1					8
精神科					1							5	2	8
皮膚科														0
合計		52	47	59	40	65	48	58	43	39	42	52	61	606



各科診療取扱患者数《外来・通所》

(自 2023.4.1～至 2024.3.31)

(医 療)

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器内科		766	732	797	767	763	780	749	711	745	714	719	705	8,948
消化器内科		484	497	489	543	531	505	531	473	471	388	504	474	5,890
内科一般		429	386	446	423	401	454	446	378	416	380	363	379	4,901
呼吸器内科		924	945	1,040	1,041	1,188	1,069	1,021	957	1,077	1,008	972	968	12,210
呼吸器外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科		289	298	292	276	292	304	275	242	252	241	234	252	3,247
泌尿器科		637	572	678	642	601	559	608	598	613	559	590	595	7,252
透 析		612	724	619	608	623	601	615	583	595	591	542	585	7,298
皮膚科		237	284	305	276	274	280	249	230	246	214	187	287	3,069
脳神経外科		133	148	139	120	132	130	125	141	137	117	73	64	1,459
脳神経内科		76	83	89	71	76	76	73	92	77	90	84	71	958
整形外科		816	842	898	910	844	831	804	771	785	782	717	797	9,797
婦人科		66	68	60	53	80	70	70	50	67	50	44	62	740
耳鼻咽喉科		440	469	424	464	435	413	360	398	413	394	477	448	5,135
眼 科		645	646	724	708	621	674	650	595	577	541	551	702	7,634
歯 科		477	429	466	478	457	361	374	415	419	361	418	420	5,075
小児科		194	243	250	224	195	204	223	182	310	200	284	226	2,735
心療内科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科		1,691	1,626	1,693	1,642	1,669	1,597	1,641	1,625	1,635	1,526	1,645	1,585	19,575
合 計		8,916	8,992	9,409	9,246	9,182	8,908	8,814	8,441	8,835	8,156	8,404	8,620	105,923

(介 護)

訪問看護ステーション	1,405	1,379	1,400	1,328	1,450	1,328	1,429	1,383	1,439	1,364	1,314	1,424	16,643
介護老人保健施設	266	291	321	260	287	316	352	333	304	262	278	330	3,600
彦根デイサービス	717	741	702	714	666	678	667	679	578	552	561	622	7,877
甲良デイサービス	428	452	391	397	350	376	399	351	334	323	384	420	4,605

各科診療取扱患者数《入院・入所》

(自 2023.4.1～至 2024.3.31)

(医 療)

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器内科		377	303	401	473	347	371	328	314	293	325	294	337	4,163
消化器内科		473	657	538	502	502	460	444	505	535	435	431	590	6,072
内科一般		65	48	100	121	128	135	142	115	146	228	59	56	1,343
心療内科		314	387	491	336	369	192	168	246	341	252	199	283	3,578
呼吸器内科		765	550	463	579	604	577	737	712	626	708	672	568	7,561
呼吸器外科		290	284	288	468	544	476	484	334	283	408	546	474	4,879
外科		526	708	669	537	605	660	651	537	405	466	494	502	6,760
泌尿器科		339	423	352	349	324	284	243	335	334	314	298	360	3,955
脳神経外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科		0	0	29	177	251	184	214	197	123	112	263	433	1,983
眼 科		88	66	83	73	66	45	57	44	36	39	51	39	687
歯 科		11	11	12	3	30	13	25	28	14	12	13	28	200
小児科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科		109	118	107	59	71	52	51	39	73	49	0	9	737
精神科		3,083	3,045	2,940	2,946	3,055	2,898	2,911	2,927	2,812	2,822	2,639	2,882	34,960
1:3(10月から感染)病棟		0	0	54	238	138	231	0	0	0	0	0	0	661
回復期リハ		840	883	887	861	826	838	835	753	822	790	833	885	10,053
合 計		7,280	7,483	7,414	7,722	7,860	7,416	7,290	7,086	6,843	6,960	6,792	7,446	87,592

(介 護)

介護老人保健施設	2,747	2,887	2,806	2,899	2,969	2,688	2,873	2,809	2,977	2,993	2,749	2,812	34,209
彦根グループホーム	270	279	252	217	186	210	200	210	244	279	232	279	2,858
甲良グループホーム	257	250	270	266	248	227	279	270	279	186	319	277	3,128

外来地域別診療患者数

(自2023.4.1～至2024.3.31)

郡市	犬上郡			愛知郡	三市			その他	合計
	豊郷町	甲良町	多賀町	愛荘町	彦根市	東近江市	近江八幡		
内科	1,009	699	264	1,058	1,024	391	58	59	4,562
消化器内科	1,110	546	266	1,303	1,027	424	35	102	4,813
循環器内科	2,566	1,092	419	1,950	1,690	492	59	155	8,423
外科	461	260	137	559	478	152	13	60	2,120
脳神経外科	246	127	34	272	392	94	6	65	1,236
整形外科	1,513	1,082	430	1,417	1,642	395	78	136	6,693
婦人科	140	65	14	200	150	47	6	17	639
耳鼻咽喉科	1,010	574	236	1,088	1,104	267	24	72	4,375
眼科	1,612	979	488	1,706	1,424	385	35	74	6,703
精神科	1,093	618	525	1,480	5,389	2,499	425	672	12,701
脳神経内科	124	74	25	193	289	77	14	41	837
歯科	797	336	159	656	1,038	335	37	72	3,430
呼吸器科	1,907	961	592	2,146	3,557	958	141	277	10,539
泌尿器科	1,216	797	492	1,467	1,446	661	8	79	6,166
皮膚科	827	389	154	535	550	158	26	38	2,677
小児科	954	181	90	787	198	15	7	33	2,265
透視	199	82	37	137	107	40	0	1	603
オアシス	281	289	177	316	949	246	5	10	2,273
合計	17,065	9,151	4,539	17,270	22,454	7,636	977	1,963	81,055

入院地域別診療患者数

(自2023.4.1～至2024.3.31)

郡市	犬上郡			愛知郡	三市			その他	合計
	豊郷町	甲良町	多賀町	愛荘町	彦根市	東近江市	近江八幡		
内科	8	17	8	16	24	14	0	0	87
消化器内科	77	48	27	70	122	37	0	6	387
循環器内科	59	38	8	48	60	9	0	5	227
外科	77	65	19	134	142	33	3	3	476
脳神経外科	11	9	8	15	76	17	0	4	140
整形外科	42	55	32	87	217	7	1	11	452
眼科	34	27	22	65	49	10	3	1	211
精神科	93	60	65	123	598	256	61	81	1,337
歯科	14	9	12	35	63	9	1	0	143
呼吸器科	157	100	66	173	281	85	14	11	887
泌尿器科	67	40	15	58	88	22	4	17	311
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心療内科	10	11	1	10	18	0	0	2	52
透視	14	31	4	17	81	23	5	21	196
合計	663	510	287	851	1,819	522	92	162	4,906

診療科別・月別・患者数(入院実人数)

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総 数	計	1,966	166	164	173	161	173	165	188	161	138	145	142	190
	男	969	73	87	89	80	96	83	95	67	60	74	80	85
	女	997	93	77	84	81	77	82	93	94	78	71	62	105
内 科	計	27	3	1	-	4	1	-	6	1	-	5	2	4
	男	11	1	1	-	2	-	-	2	1	-	1	1	2
	女	16	2	-	-	2	1	-	4	-	-	4	1	2
消化器科	計	176	12	22	26	14	20	13	18	7	12	7	10	15
	男	111	6	15	19	8	9	10	14	4	6	6	4	10
	女	65	6	7	7	6	11	3	4	3	6	1	6	5
循環器科	計	93	9	10	5	15	2	5	8	10	4	9	6	10
	男	34	5	5	-	5	1	-	3	4	1	3	4	3
	女	59	4	5	5	10	1	5	5	6	3	6	2	7
外 科	計	253	23	23	26	22	17	24	25	25	17	17	14	20
	男	134	12	12	11	12	10	15	17	10	10	10	8	7
	女	119	11	11	15	10	7	9	8	15	7	7	6	13
脳神経外科	計	35	5	2	2	7	3	1	3	3	3	1	2	3
	男	18	2	1	2	5	1	1	-	1	2	-	2	1
	女	17	3	1	-	2	2	-	3	2	1	1	-	2
整形外科	計	138	10	5	5	13	12	13	20	12	10	8	15	15
	男	38	1	2	1	3	3	4	9	2	1	4	5	3
	女	100	9	3	4	10	9	9	11	10	9	4	10	12
婦 人 科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
耳鼻咽喉科	計	29	4	1	4	1	4	-	4	2	4	2	1	2
	男	9	1	-	-	-	2	-	1	2	1	1	-	1
	女	20	3	1	4	1	2	-	3	-	3	1	1	1
眼 科	計	203	15	16	20	20	19	19	24	16	9	13	17	15
	男	84	7	7	9	6	8	7	14	4	4	7	9	2
	女	119	8	9	11	14	11	12	10	12	5	6	8	13
精神神経科	計	188	20	18	11	6	15	17	17	20	20	14	16	14
	男	78	10	7	5	4	7	4	7	11	5	6	6	6
	女	110	10	11	6	2	8	13	10	9	15	8	10	8
歯 科 口 腔 外 科	計	125	10	9	8	3	21	11	8	12	15	6	3	19
	男	45	2	4	3	-	12	-	3	5	5	2	1	8
	女	80	8	5	5	3	9	11	5	7	10	4	2	11
呼吸器科	計	292	26	19	26	29	25	31	19	23	21	23	25	25
	男	173	16	11	19	20	18	21	8	6	13	10	17	14
	女	119	10	8	7	9	7	10	11	17	8	13	8	11
泌尿器科	計	188	12	19	22	18	18	11	12	16	11	14	10	25
	男	123	3	11	12	12	15	9	5	11	6	11	9	19
	女	65	9	8	10	6	3	2	7	5	5	3	1	6
呼吸器外科	計	145	13	10	5	4	11	14	19	12	8	18	16	15
	男	87	6	7	2	2	7	11	11	6	5	13	11	6
	女	58	7	3	3	2	4	3	8	6	3	5	5	9
皮 膚 科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小 児 科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
心療内科	計	74	4	9	13	5	5	6	5	2	4	8	5	8
	男	24	1	4	6	1	3	1	1	-	1	-	3	3
	女	50	3	5	7	4	2	5	4	2	3	8	2	5
麻 酔 科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

時間内救急患者

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転帰別	入院	39	42	43	34	39	24	56	32	36	44	44	42	475
	その他	52	54	53	72	54	56	52	60	51	55	63	65	687
	計	91	96	96	106	93	80	108	92	87	99	107	107	1,162
来院方法	救急車	25	29	21	30	21	19	32	24	23	25	31	17	297
	その他	66	67	75	76	72	61	76	68	64	74	76	90	865
	計	91	96	96	106	93	80	108	92	87	99	107	107	1,162
種別	交通事故	1	4	1	2	2	3	1	3	3	3	3	4	30
	その他	90	92	95	104	91	77	107	89	84	96	104	103	1,132
	計	91	96	96	106	93	80	108	92	87	99	107	107	1,162
1日平均		3.8	4.0	3.7	4.2	3.6	3.3	4.3	3.8	3.6	4.3	4.7	4.3	4.0
日数		24	24	26	25	26	24	25	24	24	23	23	25	293

※平日 8:30~16:50

土曜日 8:30~12:40

時間外救急患者

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
転帰別	入院	16	18	17	19	19	20	20	11	18	22	17	23	220	
	その他	80	97	84	115	95	87	68	41	85	80	72	76	980	
	計	96	115	101	134	114	107	88	52	103	102	89	99	1,200	
来院方法	救急車	31	31	31	34	33	28	33	16	30	31	25	24	347	
	その他	65	84	70	100	81	79	55	36	73	71	64	75	853	
	計	96	115	101	134	114	107	88	52	103	102	89	99	1,200	
種別	交通事故	5	2	4	12	6	13	10	3	13	7	4	5	84	
	その他	91	113	97	122	108	94	78	49	90	95	85	94	1,116	
	計	96	115	101	134	114	107	88	52	103	102	89	99	1,200	
1日平均		3.2	3.7	3.4	4.3	3.7	3.6	2.8	1.7	3.3	3.3	3.1	3.2	3.3	
日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
診療科別	内科	17	24	23	23	23	16	19	8	22	24	14	25	238	
	心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	呼吸器科	9	10	11	16	11	18	6	4	6	14	12	7	124	
	外科	37	40	36	41	42	35	30	28	33	24	19	23	388	
	泌尿器科	3	1	3	3	1	1	0	0	1	2	0	5	20	
	皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	脳神経外科	0	2	0	0	0	2	0	0	3	3	1	0	11	
	整形外科	27	26	19	38	25	23	27	8	34	32	27	30	316	
	婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	耳鼻咽喉科	1	2	1	2	2	1	1	1	1	0	3	2	1	17
	眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	精神科	2	0	8	10	9	10	4	3	4	0	13	6	69	
	オアシス	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	5	
	歯科・歯科口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	透析	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	96	105	101	134	114	107	88	52	103	102	89	99	1,190		

※日曜・祭日 8:30~ 翌8:30

土曜日 12:40~ 翌8:30

(統計:総務課)

病歴統計

疾病別・診療科別・患者数(大分類)

コード	国際分類大項目分類	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形外科	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼外	皮膚科	小児科	心内	麻酔科
	不明	計	24	1	1	3	4	1	2	-	-	-	3	1	5	3	-	-	-	-
		男	7	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-
		女	17	1	1	1	3	1	2	-	-	3	-	-	4	1	-	-	-	-
	総数	計	1,942	26	175	90	249	34	136	-	29	185	124	287	185	145	-	-	-	74
		男	962	11	111	32	133	18	38	-	9	84	78	44	172	121	-	-	-	24
		女	980	15	64	58	116	16	98	-	20	119	107	80	115	64	-	-	-	50
I	感染症及び寄生虫症	計	104	2	9	2	5	-	1	-	-	-	-	-	61	1	23	-	-	-
		男	55	1	7	1	4	-	1	-	-	-	-	-	31	1	9	-	-	-
		女	49	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	30	-	14	-	-	-
II	新生物(悪性新生物)	計	130	1	13	1	46	-	-	6	-	-	1	16	38	8	-	-	-	-
		男	97	1	10	-	29	-	-	1	-	-	-	14	35	7	-	-	-	-
		女	33	-	3	1	17	-	-	5	-	-	1	2	3	1	-	-	-	-
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	7	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		男	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		女	4	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	46	7	13	5	3	-	-	-	-	2	-	3	2	6	-	-	-	5
		男	22	2	9	1	1	-	-	-	-	1	-	2	2	5	-	-	-	1
		女	24	5	4	4	2	-	-	-	-	1	-	1	2	1	-	-	-	4
V	精神及び行動の障害	計	242	-	2	1	5	-	-	-	-	177	-	1	3	1	-	-	-	52
		男	91	-	1	1	1	-	-	-	-	75	-	-	2	-	-	-	-	12
		女	151	-	1	1	4	-	-	-	102	-	-	1	1	1	-	-	-	40
VI	神経系の疾患	計	76	1	1	1	-	1	-	1	-	3	-	45	1	15	-	-	-	7
		男	57	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	37	-	12	-	-	-	6
		女	19	1	1	-	-	1	-	1	-	2	-	8	1	3	-	-	-	1
VII	眼及び付属器の疾患	計	203	-	-	-	-	-	-	-	203	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	84	-	-	-	-	-	-	-	84	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	119	-	-	-	-	-	-	-	119	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	4	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX	循環器系の疾患	計	99	1	1	38	9	26	1	-	-	1	-	6	4	10	-	-	-	2
		男	53	-	-	18	5	11	1	-	-	1	-	5	3	7	-	-	-	2
		女	46	1	1	20	4	15	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-
X	呼吸器系の疾患	計	253	7	15	15	6	-	-	7	-	-	-	126	5	72	-	-	-	-
		男	146	4	6	7	5	-	-	3	-	-	-	75	5	41	-	-	-	-
		女	107	3	9	8	1	-	-	4	-	-	-	51	-	31	-	-	-	-

コード	国際分類大項目分類	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形外科	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼吸器	皮膚科	小児科	心内	麻酔科
XI	消化器系の疾患	計 297	2	86	3	76	-	-	-	-	-	-	122	6	-	1	-	-	-	-
		男 159	1	61	-	50	-	-	-	-	-	-	43	2	-	1	-	-	-	-
		女 138	1	25	3	26	-	-	-	-	-	-	79	4	-	-	-	-	-	-
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計 16	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	1	2	2	-	-	-	-	-
		男 8	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-
		女 8	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計 48	1	5	2	16	2	13	-	-	-	-	-	1	3	3	-	-	-	2
		男 22	-	4	-	7	2	5	-	-	-	-	-	2	2	1	-	-	-	1
		女 26	1	1	2	9	-	8	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	1
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計 147	1	13	11	6	-	-	-	1	-	-	-	14	100	1	-	-	-	-
		男 72	-	3	2	3	-	-	-	1	-	-	-	2	60	1	-	-	-	-
		女 75	1	10	9	3	-	-	-	-	-	-	-	12	40	-	-	-	-	-
XV	妊娠,分娩及び産じょく	計 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI	周産期に発生した病態	計 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII	先天奇形,変形及び染色体異常	計 1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女 1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類	計 41	1	8	10	4	-	-	-	3	-	2	-	5	3	5	-	-	-	-
		男 22	1	7	2	3	-	-	-	1	-	-	-	2	3	3	-	-	-	-
		女 19	-	1	8	1	-	-	-	2	-	2	-	3	-	2	-	-	-	-
XIX	損傷,中毒及びその他の外因の影響	計 224	1	3	-	58	5	121	-	8	-	-	-	1	22	-	-	-	-	5
		男 68	1	1	-	19	5	31	-	1	-	-	-	1	8	-	-	-	-	1
		女 156	-	2	-	39	-	90	-	7	-	-	-	-	14	-	-	-	-	4
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計 4	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男 1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女 3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXII	特殊目的用コード	計 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病別・在院期間別・患者数(大分類)

コード	国際分類大項目分類	総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数	
	不明	計	24	4	4	1	1	3	6	3	1	-	1	752.5
		男	7	4	2	-	-	1	-	-	-	-	-	13
		女	17	-	2	1	2	2	6	3	1	-	1	1,056.9
	総数	計	1,942	828	232	137	123	227	218	126	28	13	10	70.1
		男	962	462	127	68	57	96	65	61	14	6	6	94.8
		女	980	366	105	69	66	131	153	65	14	7	4	45.9
I	感染症及び寄生虫症	計	104	35	42	11	1	7	4	2	2	-	-	20.9
		男	55	20	20	8	-	4	2	1	-	-	-	16.5
		女	49	15	22	3	1	3	2	1	2	-	-	25.9
II	新生物(悪性新生物)	計	130	58	27	12	12	13	2	5	1	-	-	19.2
		男	97	48	16	10	9	7	1	5	1	-	-	19.5
		女	33	10	11	2	3	6	1	-	-	-	-	18.2
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	7	4	-	-	1	1	-	1	-	-	-	26.7
		男	3	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	14
		女	4	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	36.3
IV	内分泌,栄養及び代謝疾患	計	46	5	5	5	6	6	12	5	-	2	-	67.1
		男	22	5	2	2	5	2	4	1	-	1	-	56.5
		女	24	-	3	3	1	4	8	4	-	1	-	76.9
V	精神及び行動の障害	計	242	28	26	22	20	43	46	36	7	6	8	335.3
		男	91	10	10	7	6	13	13	19	3	5	5	749.9
		女	151	18	16	15	14	30	33	17	4	1	3	85.5
VI	神経系の疾患	計	76	64	5	1	-	-	3	2	-	1	-	14.4
		男	57	54	1	1	-	-	1	-	-	-	-	3.9
		女	19	10	4	-	-	-	2	2	-	1	-	45.9
VII	眼及び付属器の疾患	計	203	201	-	1	-	-	-	-	-	1	-	6
		男	84	83	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4.1
		女	119	118	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7.4
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8
		男	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5
		女	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
IX	循環器系の疾患	計	99	15	6	8	14	18	10	20	5	1	2	105.1
		男	53	13	6	4	8	7	3	9	2	-	1	75.7
		女	46	2	-	4	6	11	7	11	3	1	1	138.8
X	呼吸器系の疾患	計	253	37	55	34	28	43	26	23	6	1	-	43.8
		男	146	21	40	19	14	24	13	11	4	-	-	39.6
		女	107	16	15	15	14	19	13	12	2	1	-	49.6

コード	国際分類大項目分類	総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数	
XI	消化器系の疾患	計	297	14	6	8	12	5	5	1	1	-	11.6	
		男	159	9	3	1	6	3	2	2	1	-	-	10.3
		女	138	5	3	7	6	2	3	3	-	1	-	13.1
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	16	3	4	1	2	-	-	1	-	-	28.4	
		男	8	3	2	1	2	-	-	-	-	-	-	15
		女	8	2	1	3	1	-	-	-	1	-	-	41.8
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	48	3	4	3	16	12	2	-	-	-	43.1	
		男	22	4	2	3	6	4	1	-	-	-	-	38.9
		女	26	4	1	2	10	8	1	-	-	-	-	46.7
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	147	29	12	11	12	8	6	4	-	-	26.5	
		男	72	10	4	4	6	4	4	2	-	-	-	26.4
		女	75	19	8	7	6	4	2	2	-	-	-	26.7
XV	妊娠,分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XVI	周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XVII	先天奇形,変形及び染色体異常	計	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	16	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	16
XVIII	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類	計	41	18	5	3	4	3	3	-	-	-	26.8	
		男	22	10	3	1	2	-	2	2	-	-	-	23.4
		女	19	8	2	2	2	3	1	1	-	-	-	30.6
XIX	損傷,中毒及びその他の外因の影響	計	224	34	12	15	50	86	15	1	-	-	53.7	
		男	68	14	6	6	16	17	6	6	1	-	-	50.4
		女	156	20	6	9	34	69	9	9	-	-	-	55.1
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	4	2	-	-	-	1	1	-	-	-	53	
		男	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
		女	3	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	70
XXII	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

疾病別・年齢階層別・患者数(大分類)

コード	国際分類大項目分類	0歳~4歳	5歳~9歳	10歳~14歳	15歳~19歳	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳~69歳	70歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~94歳	95歳~99歳	100歳~	平均年齢
	不明	計	24	-	-	3	1	-	1	-	5	1	4	6	3	-	74.9
		男	7	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	2	1	-	74
		女	17	-	-	2	1	-	1	-	2	1	4	4	2	-	75.3
	総数	計	1,942	5	13	52	62	80	142	202	465	310	273	178	71	13	70.9
		男	962	5	8	20	32	54	86	129	274	136	118	47	20	3	68.6
		女	980	-	5	32	46	26	56	73	191	174	155	131	51	10	73.1
I	感染症及び寄生虫症	計	104	-	-	-	1	1	2	12	17	25	20	16	6	4	81.7
		男	55	-	-	-	1	1	1	10	11	17	9	4	1	-	77.6
		女	49	-	-	-	-	-	1	2	6	8	11	12	5	4	86.3
II	新生物(悪性新生物)	計	130	-	-	-	-	5	8	19	43	24	17	10	3	1	75.4
		男	97	-	-	-	-	4	6	13	34	19	11	8	1	1	75.2
		女	33	-	-	-	-	1	2	6	9	5	6	2	2	-	75.9
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	2	-	-	78.7
		男	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	65.3
		女	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	88.8
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	46	-	-	-	1	2	2	2	1	9	12	8	2	-	80
		男	22	-	-	-	1	1	2	1	8	3	4	2	-	-	73.9
		女	24	-	-	-	-	1	-	-	1	6	8	6	2	-	85.5
V	精神及び行動の障害	計	242	-	1	9	14	26	18	34	31	39	30	28	10	2	61.6
		男	91	-	-	2	8	10	8	9	14	24	7	9	-	-	59.8
		女	151	-	1	7	6	16	10	25	17	15	23	19	10	2	62.6
VI	神経系の疾患	計	76	-	-	4	9	10	20	9	15	3	4	1	1	-	58.4
		男	57	-	-	3	9	9	15	6	10	2	2	1	-	-	55.6
		女	19	-	-	1	-	1	5	3	5	1	2	-	1	-	67
VII	眼及び付属器の疾患	計	203	-	-	-	5	24	113	32	24	4	-	-	-	-	75.8
		男	84	-	-	-	4	8	54	12	5	-	-	-	-	-	74.4
		女	119	-	-	-	1	16	59	20	19	4	-	-	-	-	76.8
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	4	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	66.3
		男	2	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	64
		女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68.5
IX	循環器系の疾患	計	99	-	-	-	1	5	21	27	17	12	9	1	9	1	80.9
		男	53	-	-	-	1	4	3	11	17	11	1	4	4	-	78
		女	46	-	-	-	-	-	1	2	10	10	6	11	5	1	84.2
X	呼吸器系の疾患	計	253	-	2	4	4	6	10	17	59	50	45	32	21	3	78.6
		男	146	-	1	2	2	6	8	12	43	24	24	12	11	1	76.3
		女	107	-	1	2	2	-	2	5	16	26	21	20	10	2	81.7

コード	国際分類大項目分類	総数	0歳~4歳	5歳~9歳	10歳~14歳	15歳~19歳	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳~69歳	70歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~94歳	95歳~99歳	100歳~	平均年齢	
XI	消化器系の疾患	計	297	5	12	35	46	16	17	23	34	51	25	18	11	3	1	51.9	
		男	159	5	8	12	11	8	10	17	27	36	36	10	12	3	-	-	55.1
		女	138	-	4	23	35	8	7	6	7	15	15	15	6	8	3	1	48.3
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	16	-	-	1	-	1	-	3	2	3	1	3	1	1	-	68.3	
		男	8	-	-	1	-	-	2	1	1	1	1	1	1	-	-	64.6	
		女	8	-	-	-	-	1	-	1	1	2	-	2	-	1	-	72	
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	48	-	-	-	-	1	3	1	3	12	10	9	6	2	1	78.4	
		男	22	-	-	-	-	-	2	1	1	6	6	5	2	-	-	77.7	
		女	26	-	-	-	-	1	1	2	2	6	4	4	4	2	1	79	
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	147	-	-	4	3	2	2	12	26	31	21	21	23	2	-	73.2	
		男	72	-	-	4	3	1	2	7	20	18	4	7	5	1	-	66.2	
		女	75	-	-	-	-	1	-	5	6	13	17	14	18	1	-	80	
XV	妊娠,分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XVI	周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XVII	先天奇形,変形及び染色体異常	計	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	45	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45
XVIII	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類	計	41	-	-	-	1	1	2	3	3	7	7	8	7	2	-	76.8	
		男	22	-	-	-	1	-	1	1	3	5	4	5	2	-	-	74.6	
		女	19	-	-	-	-	1	1	2	-	2	3	3	5	2	-	79.4	
XIX	損傷,中毒及びその他の外因の影響	計	224	-	-	1	3	-	10	11	16	43	44	43	35	16	2	79	
		男	68	-	-	-	1	-	7	8	10	12	9	13	5	2	1	72.1	
		女	156	-	-	1	2	-	3	3	6	31	35	30	30	14	1	82	
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	1	-	84.5	
		男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	76	
		女	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	87.3	
XXII	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

コード	ICD分類	総数		内科		消化器		循環器		外科		脳外科		整形外科		婦人科		耳鼻科		眼科		精神科		歯科		呼吸器		泌尿器		呼吸器		皮膚科		小児科		心臓		麻酔科		剖検				
		死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検			
XX	(V01-Y98)傷病および死亡の要因	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-		
XXI	(Z00-Z99)健康状態に影響をおよぼす要因	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-
XXII	(U04-U89)特殊目的用コード	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-

II

介護事業の部

レインボウとよさと・サテライトはたしょうは、積極的に加算等を算定することで単価UPできましたが、入院や施設入所による終了者が多く、利用者数は伸び悩みました。しかし、感染症発生時の協力体制や人材育成に関して助け合いが出来、新人の定着と特定行為終了者1名を育成することが出来ました。'24年度の診療報酬改定ではさまざまな加算が新設される予定であり、特定行為による専門性の発揮、医療機関との共同指導の実績、人材交流を積み上げて機能強化型のステーションとして地域のニーズに対応できるよう努力します。

レインボウひこねにおいても、職員の離職による人員が不安定な状況が続き、断らない体制で臨みましたが、長期で関わった方々の終了等もあり、利用者数減少となりました。精神・認知症に関して地域からの期待は大きく、看護職とリハ職による協働で専門性が発揮できました。今後一層の人材確保が難しくなることが予想されますが、レインボウの強みを活かして利用者確保に努めます。

介護老人保健施設パストラールとよさとは、これまでのコロナの影響が緩和され、入所者数・稼働率ともに改善、通所については、入所から在宅へ繋ぐ際、家族への大きな安心となっていることから、在宅から入所という循環で安定した最上級の超強化型にランクUPしたことで、運営が健全化されました。しかしながら、支出面では1996年の開設から28年が経ち、施設の老朽化で修繕費がかさみ、またDXの推進として補助金を活用した介護システムの入替え等大きな経費がかかっており、今後もできる限り収入増となる取り組みを続け、大切な人材を育成・確保することにも取り組んでまいります。

経営理念

施設を通じて地域社会に密着し人間らしく
心豊かに暮らせるよう 仁愛の精神で奉仕し
生活文化向上に役立ち社会に貢献する

基本方針

- ・ 自立支援と家庭復帰をめざす。
- ・ 明るい家庭的雰囲気づくり。
- ・ 施設、地域、家庭の結びつき重視。
- ・ 親切、快適、安心、満足、可能性の追求。

行動規範

- ・ 誠心誠意のサービスの提供をしよう。
- ・ 柔軟発想で創造しよう。
- ・ バイタリティーあふれる考動をしよう。
- ・ 頑強な心身をつくろう。

バストラールとよさと

経営理念

しあわせな老後をめざし普通の生活を活力
をつけてゆったり気分で仲間といっしょに
楽しむためにあたたかいもてなしの心で提
供し、地域社会に貢献する。

彦根市デイサービスセンター **きらら**
彦根市在宅介護支援センター
甲良町デイサービスセンター **けやき**

彦根市グループホーム **ゆゆう**
甲良町グループホーム **らくらく**

1 介護事業・各事業所業績

1 各種教室・講師派遣

2. 研修受入状況

① 実習受け入れ

○レインボウとよさと・サテライトはたしょう

- ・滋賀県立大学 2クール
- ・神戸常盤大学 1クール
- ・聖泉大学 2クール
- ・びわこ学園大学 1クール
- ・県立看護専門学校 5クール
- ・訪問看護管理者研修 1名
- ・訪問看護養成講習eラーニング実習 1名

○レインボウひこね

- ・滋賀県立大学 2クール
- ・聖泉大学 3クール
- ・県立看護専門学校 1クール

② パストラールとよさと

学生受け入れ

受入：延べ 175名

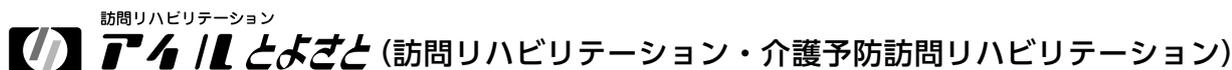
学校：滋賀県立大学、京都文教短期大学、京都橘大学

びわこリハビリテーション専門職大学、彦根総合高等学校

③ グループホームゆうゆう

○びわこ学院大学短期大学部 11月6日(月)～11月17日(金) 2名

2 介護事業・各事業所別事業報告



概要

開設日	平成13年5月1日
責任者	山田 知美
定員(サービス提供量)	理学療法士1名あたり12回/日→理学療法士1名あたり6回/日(縮小体制のため)
職員	理学療法士2名(北川恭子 木村香奈子)

事業経過

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問回数(回)	152	158	177	169	160	151	155	153	155	131	116	127
利用者数(人)	19	20	21	21	21	21	19	19	19	16	16	16
新規者数(人)	2	1	1	2	0	0	0	1	0	0	1	0
終了者数(人)	0	0	2	0	0	0	2	0	2	1	0	2

要介護度	要支援1.2	3
	要介護1	6
	要介護2	12
	要介護3	0
	要介護4	5
	要介護5	0

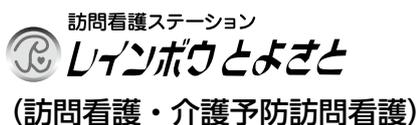
年齢	40歳代	0
	50歳代	0
	60歳代	2
	70歳代	4
	80歳代	12
	90歳代	8

地域	彦根市	16
	豊郷町	4
	甲良町	4
	多賀町	0
	愛荘町	2
	圏域外	0

疾患	脳血管	10
	整形	12
	特定疾患	2
	呼吸器	2
	内科	0
	廃用	0

利用状況

- 延べ利用者数は228名、延べ訪問回数は1,804回。
1か月平均で利用者数は19名、訪問回数は約150.3回と昨年より減少。
- 新規利用は1年間で8名、短期集中加算対象者は3名と昨年に比べ減少した(昨年新規利用は11名、短期集中加算対象者3名)。終了者は9名。1月より院内業務のフォロー開始に伴い訪問業務を徐々に縮小(実質稼働人数2人→1人)した。
- 要介護度では、要介護1・2が6.9割、要介護3～5が1.9割、要支援は1.1割となった。前年度の割合に比べ、要介護1・2の割合が増加した。
- 年齢別では前年度同様80歳代が多く、利用の4.6割。次いで90歳代の3割。
- 地域別では前年同様に彦根市の利用が最も多い。
- 疾患別では整形外科疾患が最も多く、全体の4.6割。次いで脳血管疾患で全体の3.8割。内科、廃用の利用はなかった。
- 当事業所は2023年1月より院内業務のフォロー開始。そのため訪問業務を縮小し、実質稼働人数は1人(2人で0.5+0.5)。訪問回数は減少傾向。
- R3年度の介護報酬改定以降、リハビリテーションマネジメント加算のA(ロ)を取るためには3か月に1回、リハビリテーション会議が必須であり、厚労省が運用している科学的介護情報システムLIFEの情報提供及び入力作業、リハビリテーション会議を開催するにあたっての事務作業や会議に大きく時間を要するようになった。また、事業所担当医師のリハビリテーション会議参加体制を整え、より多職種連携につながるシステム構築を図った。



概要

レインボウ統括所長 山田 里美

レインボウとよさと サテライトはたしょう

所長 西川 くるみ

看護師 常勤 8人 非常勤 5人 OT2人常勤、1人非常勤(3ステーション兼務)

事務員2人(常勤1人、パート1人)

レインボウひこね

所長 奥川 喜美枝

看護師 常勤5人 非常勤1人 OT1人常勤、1人非常勤 PT1人常勤(3ステーション兼務)

事務員 1人常勤

事業経過

2023(令和5)年度 訪問看護ステーション事業報告

2023年度は「アフターコロナ」への転換に伴い、人材の定着に努め、「断らない体制」で積極的に訪問看護を提供してきましたが、新規ステーションの参入や物価高騰による介護サービスの利用控え等から、レインボウ全体の利用者数は前年度比-4%、収支前年度比-28%でした。次年度は改定により事業所の大規模化や看護の専門性が評価されます。母体病院との共同指導の実績、人材交流の実績、地域への情報提供等を行い機能強化型ステーションの取得、特定行為研修修了者により専門性を発揮し増収に繋げていきたいと思えます。また、業務効率化に向けステーションのICT化、オンライン請求、オンライン資格確認を進め、災害時には多職種が有機的に連携できるよう地域の看護師として役割を發揮していきたいと思えます。

<レインボウとよさと・サテライトレインボウはたしょう>

とよさと・はたしょうが統合して3年が経過し、協働することでより効率的に、更に質の高い看護を目指してきました。新規を断らない体制で対応してきましたが、前年度比では利用者数・訪問件数とも-6%となりました。地域のニーズを把握し、訪問看護に理解を頂けるように、地域の会議への参加や地域住民への研修講義などは継続して行い交流を図りました。ターミナルや重傷者の受け入れは年々増加傾向にありタイムリーかつ柔軟な対応が求められています。ICT化をはじめとして更なる業務効率化を図り、利用者様への看護に注力できるように努め、レインボウが一丸となって地域の看護師として求められる役割を果たしていきたいと考えています。

<レインボウひこね>

2023年度は病欠職員が継続し、非常勤職員が2人退職となりました。人員不足ではありましたが利用者に迷惑をかけないようにと職員全員で認識し協力しながら支援に取り組みました。県委託事業の医療的ケア児の通学支援事業も継続して取り組み圏域の看護師として活動出来ました。月の利用者数は前年比-7%、という結果になりましたが、新規を断らない体制を継続していきます。地域におけるニーズを把握し、日々の訪問や有事においても地域の看護師として活躍出来るよう取り組んでいきたいと思えます。

職員研修

<レインボウとよさと・サテライトレインボウはたしょう>

講師派遣・会議	滋賀県訪問看護連絡協議会役員会(山田)・新卒看護師育成支援会議(山田)・圏域事例検討評価会議(西川)・潜在看護師サポート研修講師3回/年(山田)・訪問看護師養成講習会講師(山田)・全世代型地域包括ケアフォーラム(山田)・いのち支える自殺対策ネットワーク会議(西川)・認知症キャラバンメイト研修講師(西川)・愛荘町地域ケア会議(北川)・愛荘町虐待ネットワーク会議(松宮)・豊郷町多職種会議(山田)・災害対策会議(小野、岸本)
実習受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県立大学 2クール ・聖泉大学 2クール ・県立看護専門学校 5クール ・訪問看護養成講習eラーニング実習 1名 ・神戸常盤大学 1クール ・びわこ学園大学 1クール ・訪問看護管理者研修 1名

2023年度研修	5月	訪問看護管理の運営力向上に向けてZOOM
	6月	最新治療を学ぶ「透析看護」ZOOM
	6月	もう待たない命と暮らしを守るBCP作成
	7月	関西フットケア実技講習会
	8月	がん患者の看護の治療支援研修
	9月	マネジメントリーダーに基づく研修
	10月	意思決定プロセス支援研修
	11月	訪問看護サミットZOOM
	12月	今どきの学生、今どきの教育、指導方法について学びを深める
	奇数月	ことう地域チームケア研究会(ZOOM+集合)

<レインボウひこね>

講師派遣・会議	介護職員初任者研修講師(奥川)・認知症施策会議(右近)・彦根市在宅看取りを考える会議(奥川)・オレンジ定例会(右近)・病院・ケアマネジャー拡大会議(奥川)・オレンジキャラバンメイトステップコウアップ講座(右近)・災害対策会議(角間)・高齢者虐待防止会議(奥川)	
実習受け入れ	・県立大学 2クール ・聖泉大学 3クール ・県立看護専門学校 1クール	
2023年度研修	4月	オレンジ企業研修
	5月	訪問看護管理の運営力向上に向けてZOOM
	6月	最新治療を学ぶ「透析看護」ZOOM
	7月	高齢者の薬について学ぶZOOM
	8月	救急の現状と救急医から訪問看護師へメッセージZOOM
	9月	I C T機器を利用した在宅援助ZOOM
	10月	研修・現場支援でできるアセスメントオーダーメイドの支援のために
	11月	利用者からのハラスメントの研修、倫理についての研修
	1月	青年後見人の役割
	2月	重症心身障碍児に関する部会研修
3月	特定行為実践における指示と記録	
奇数月	ことう地域チームケア研究会(ZOOM+集合)	

事業所別利用者前年比較表

		2022年度	2023年度	増加率	備 考
とよさと	新規利用者	71	80	13%	(グループホーム4カ所 定期訪問)
	延べ人数	2,133	2,048	-4%	
	訪問延べ回数	11,338	11,008	-3%	
ひこね	新規利用者	40	42	5%	(グループホーム1ヶ所 定期訪問)
	延べ人数	1,654	1,555	-6%	
	訪問延べ回数	6,047	5,635	-7%	

事業経過・実績報告

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月間平均
利用者数	とよさと	177	171	164	166	166	171	168	166	175	172	172	180	2,048	171
	ひこね	132	130	132	132	130	130	131	133	131	127	121	126	1,555	130
	合計	309	301	296	298	296	301	299	299	306	299	293	306	3,603	300
延べ回数	とよさと	913	881	887	862	947	866	947	923	988	926	893	975	11,008	917
	ひこね	492	498	513	466	503	462	482	460	451	438	421	449	5,635	470
	合計	1,405	1,379	1,400	1,328	1,450	1,328	1,429	1,383	1,439	1,364	1,314	1,424	16,643	1,387
O T P T に よる利用者数	とよさと	24	21	20	22	21	22	26	29	31	29	31	36	312	26
	ひこね	14	14	11	10	12	13	13	10	11	12	13	13	146	12
	合計	38	35	31	32	33	35	39	39	42	41	44	49	458	38
O T P T に よる延べ回数	とよさと	140	130	147	140	166	165	215	227	243	199	214	249	2,235	186
	ひこね	102	104	93	76	84	82	81	66	71	73	75	16	923	77
	合計	242	234	240	216	250	247	296	293	314	272	289	265	3,158	263

年齢別

		とよさと		ひこね	
		総数	割合	総数	割合
年齢別	10歳未満	16	1%	6	1%
	10歳代	21	1%	23	1%
	20歳代	55	2%	31	2%
	30歳代	53	2%	58	4%
	40歳代	135	7%	200	13%
	50歳代	123	6%	217	14%
	60歳代	220	11%	155	10%
	70歳代	461	23%	222	14%
	80歳代	583	28%	500	32%
	90歳～100歳代	381	19%	143	9%
	計	2,048	100%	1,555	100%

地域別

		とよさと		ひこね	
		総数	割合	総数	割合
地域別	甲良町	305	15%	0	0%
	多賀町	179	8%	0	0%
	豊郷町	493	24%	10	0.6%
	愛荘町	480	23%	6	0.4%
	東近江市	16	1%	1	0.1%
	彦根市	574	28%	1,536	98.8%
	大津市	1	1%	2	0.1%
	計	2,048	100%	1,555	100%

疾患別

		とよさと		ひこね	
		総数	割合	総数	割合
疾患別	脳血管障害	116	6%	128	8%
	呼吸器疾患	68	3%	12	1%
	循環器疾患	337	16%	181	11%
	泌尿器疾患	84	4%	24	2%
	消化器疾患	50	2%	31	2%
	血液疾患	4	1%	3	1%
	各種癌	153	7%	38	2%
	内分泌疾患	130	6%	26	2%
	骨・筋肉疾患	146	7%	48	3%
	指定難病	74	4%	77	5%
	先天性疾患	37	2%	21	1%
	認知症系	163	8%	138	9%
	精神疾患系	592	29%	814	52%
	その他	94	5%	14	1%
	計	2,048	100%	1,555	100%

介護度別

		とよさと		ひこね	
		総数	割合	総数	割合
介護度別	申請中	16	1%	5	1%
	要支援1	26	2%	24	4%
	要支援2	81	7%	51	8%
	要介護1	252	23%	159	25%
	要介護2	374	35%	159	25%
	要介護3	141	13%	130	21%
	要介護4	130	12%	75	12%
	要介護5	77	7%	26	4%
	計	1,097	100%	629	100%

加算状況

			とよさと	ひこね
加算状況	介護保険	緊急時訪問看護加算	1,031	569
		特別管理加算	204	52
		退院時共同指導加算	18	10
		初回加算	54	21
		ターミナルケア加算	2	0
		在宅死者数	5	1
	医療保険	24時間対応体制加算	839	850
		特別管理加算	249	72
		退院時共同指導加算	9	20
		退院支援指導加算	7	6
		長時間加算	62	0
		ターミナルケア加算	4	1
		在宅死者数	5	1

指示書構成比

		とよさと		ひこね	
		総数	割合	総数	割合
指示書構成比	院内	987	48%	394	25%
	院外	1,061	52%	1,161	75%



(施設入所・短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護・通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション)

概要

平成8年(1996)6月開設	R C	3階建
敷地面積 6,012.00㎡	1 F	管理棟/通所リハ棟
建築面積 1,795.22㎡	2 F	一般棟(竹生・沖)
延床面積 4,376.38㎡	3 F	専門棟(比良・伊吹・鈴鹿)
	屋上	機械棟

定員	入所 100人	一般棟 55人(竹生・沖の2グループ)
		専門棟 45人(比良・伊吹・鈴鹿のさとの15人×3ユニット)
		(内短期入所療養介護 4人)
		通所リハビリテーション 20人/日

職員	施設長 奥田和美	副施設長 菅原幸一	師長 川野満寿美
	介護科長 鎌野亜紀	支援相談室長 高田知希	
	看護師 13名	介護職 45名	支援相談員 2名
	介護支援専門員 1名	P T・O T 6名	管理栄養士 3名
	事務 2名	その他職員 9名	合計 83人

事業経過

2023(令和5)年度は、在宅超強化型を算定し、在宅復帰への取組をさらに強化した。

利用状況(イ)

令和元年4月以降の利用状況は次の通り

1. 利用者数(年度別)

入所者	R1	R2	R3	R4	R5
一日平均入所者数(SS含)	89.1	86.9	88.6	90.1	93.5
うち一般棟	47	47	45	48	50
うち専門棟	40	37	38	38	43
平均年齢	86.7	86.3	86.2	85.5	86.8
男女比(男性%)	17.2	17.1	18.8	22.7	20.1
平均入所期間(日)	282	234	274	250	254

2. 要介護度別利用状況

平均介護度	R1	R2	R3	R4	R5
入 所	3.3	3.12	3.13	3.14	3.34
通 所	2.8	2.62	2.47	2.58	2.61

3. 市町別利用者の割合（年度別）

入所（ショート含）/通所

（%）

	R1		R2		R3		R4		R5	
	入所	通所								
彦根市	25	34	28	36	24	35	33	28	36	23
豊郷町	15	16	16	18	16	20	14	32	13	39
甲良町	17	22	14	22	12	19	15	15	16	16
多賀町	12	8	10	6	13	7	11	6	8	8
愛荘町	19	18	20	17	22	20	16	20	14	16
東近江市	8	0	10	0	8	0	8	0	5	0
(旧)一市七町外	3	1	2	1	3	0	1	0	4	0

職員研修

【内部研修】

開催年月日	研修会名	参加人員	研修内容
4月11日	排泄・オムツ研修	17人	正しいオムツのあて方と基本を学ぶ
5月17日	BCP・感染訓練	25人	PPEの理解と着脱の再確認
5月17日	BCP研修	33人	BCPについて理解する
6月13日	排泄内部研修	13人	オムツの基本的なつけ方を学ぶ
9月7日～10月31日	高齢者虐待防止研修	70人	不適切ケアが常態化すると、虐待が起こりやすくなるということについての理解を深めてもらう
10月5日	BCP訓練(自然災害)	12人	今後起こり得る自然災害に対して施設全体での動きの確認を行い、必要物品、連携について考える
10月24日	BCP策定研修	19人	各介護事業部ごとに実施したBCP机上シミュレーションの内容についての発表会を開催。課題確認、BCP策定へすすめていく
12月1日	防護用具の取り扱い、感染対策の基礎知識	28人	防護用具の必要性が理解でき着脱技術が修得できる
1月15日～1月24日	高齢者虐待防止研修会	70人	現場において不適切ケアが常態化していることに気づき、業務中心から利用者中心とした個別ケアへの意識を深める機会とする。
2月1日	BCP感染訓練	13人	前回のコロナでの対応の反省を行い今後スムーズな初期期が出来るよう訓練行う。
2月21日	権利擁護推進養成研修 自施設研修報告	70人	伝達研修の報告を聞いて、施設で取り組んだ自施設研修の内容を理解する
2月21日	褥瘡研修	25人	褥瘡発生0を目標に前年度の褥瘡発生率を知り共に考えていく
2月20～3月4日	ACP研修	60人	ACP&SDMIについて学ぼう

【外部研修】

開催 年月日	研修会名	参加人員	研修内容
4月20日	メンター育成研修	1人	新人職員が施設・事業所に定着していくためにこれまでと異なる環境の中で日々の仕事の中などで悩む新人職員に対してどのように関わるかを学ぶ
5月31日	滋賀県介護老人保健施設協会 階層別研修 新人研修	1人	介護老人保健施設の役割・介護保険制度について、接遇等学びグループワークなど行う
6月23日	業務改善・生産性向上セミナー	2人	働きがい、業務効率向上を実現させる取り組みとは
7月19日	滋賀県介護老人保健施設協会 合同研究発表会	26人	外国人労働者雇用事例研修会
8月2日	認知症介護基礎研修	1人	認知症介護に携わる者が認知症の人や家族の視点を重視しながら本人主体の介護を遂行するうえで基礎的な知識・技術とそれを実践する考え方をみにつける。
8月2日	実践的な新規顧客獲得方法	1人	デイサービスの新規利用者確保につながる実践的な方法について学ぶ。
8月23日～ 6日間	認知症介護実践者研修	1人	介護の実務者が認知症についての理解のもと本人主体の介護を行い、生活の質の向上を図り、BPSDを予防できるよう認知症介護の理念・知識・技術の修得をする。
8月22日～ 4日間	権利擁護推進委員養成研修	2人	身体拘束廃止と権利擁護について学び実際に身体拘束をしないケアを実践し学びを深めていく。自職場研修を2ヶ月行う。
8月22日	滋賀県介護老人保健施設協会 栄養部会研修会	1名	災害対応時の適切な判断等の危機管理能力の向上
9月13日	介護職員交流会	1人	新人職員を対象にした介護職員の交流会。 グループワーク。
9月22日	近畿ブロック介護老人保健施設大会	4人	基調講演、特別講演、研究発表会
10月26日	滋賀県介護老人保健施設協会 階層別研修 新人研修	1人	現在の学生の就職に対する考え方・傾向、若手育成のポイントを学ぶ。
10月27日	ゆたか会BCP訓練	2人	他施設の訓練を見学させていただき今後訓練を行っていく中で何が必要かを学ぶ。
11月2日 12月7日	糖尿病連続講座	1人	糖尿病の治療やかかわり方について学ぶ。
12月9日	しが栄養ケアステーション スキルアップ研修	2人	特保業務を遂行する上で必要な対象者行動変容のスキルについて学び特保業務従事者のスキルアップを図る。
1月10日	介護職種の技能実習指導員講習	2人	介護職種の技能実習指導員の育成
1月12日	外国人介護職員指導担当者研修	1人	技能実習評価試験のうちの初級試験について理解を深める
1月23日	介護老人保健施設協会職種別研修	2人	講演「高齢者がその人らしく生活できるように」虐待防止のための具体的な取り組みについてのグループワーク
1月30日	介護・福祉の人材採用強化セミナー	1人	採用活動におけるPR力とオンライン活用について学ぶ
2月2日	介護老人保健施設協会 事例発表研修会Ⅱ	3人	運営指導の状況と介護報酬改定について、全老健全国大会演題発表
2月20日	特定検診・特定保健指導改訂の ポイントと効果的な指導について	1人	特定検診、特定保健指導について学ぶと共に、住民の行動変容を促す効果的な栄養指導について学ぶ
2月29日	嚥下食を作ってみましょう	1人	学会分類2021に対応した嚥下調整食の調理を行う。
3月5日	人権を身近に感じよう管理者研修	4人	ハラスメントと人権について講義を受ける。令和6年度介護保険制度改正・介護報酬改定への対応について。

利用状況(〇)

入所者(含ショートステイ)利用状況

2023年度

パストラルとよさと

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均												
稼働率	本年(入所・SS)	91.6	93.1	93.5	93.5	95.8	89.6	92.7	93.6	96.0	96.5	98.2	90.7	93.7	定床100											
	本年(入所)	87.9	89.1	89.6	90.0	92.6	87.6	88.6	89.8	91.7	93.6	93.7	86.3	90.0												
	前年(入所・SS)	86.5	85.0	85.3	87.6	90.9	88.5	82.0	85.8	91.4	94.0	92.5	93.3	88.6												
月末在所者数	一般棟	51	50	48	51	51	49	49	51	54	48	46	51	50	定床55											
	専門棟	42	41	45	42	41	43	44	41	45	44	44	40	43	定床45											
	男	19	19	18	17	19	20	20	17	21	18	18	17	19	20.1%											
	女	74	72	75	76	73	72	73	75	78	74	72	74	74	79.9%											
	計	93	91	93	93	92	92	93	92	99	92	90	91	93												
	内SS	3	1	3	0	0	2	3	3	3	6	2	4	2	2	2.6%										
入所延数		2,637	2,761	2,689	2,791	2,871	2,629	2,746	2,693	2,843	2,901	2,624	2,674	退所日は含まず												
短期入所延数		110	126	117	108	98	59	127	116	134	92	125	138													
予防短期延数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
平均介護度		3.12	3.25	3.29	3.12	3.13	3.21	3.31	3.34	3.28	3.29	3.32	3.34	3.25												
在所日数	3ヶ月未満	46	44	38	38	38	46	45	42	41	35	29	43	40	45%											
	3～12ヶ月	28	27	33	33	36	25	27	28	29	34	36	29	30	34%											
	12ヶ月以上	17	16	19	20	18	20	19	20	21	22	23	21	20	22%											
	平均(日)	220	229	241	251	249	244	246	259	262	281	287	275	254												
年齢別	70歳未満	4	3	2	3	3	2	2	2	3	3	2	2	3	3%											
	70～79歳	21	13	13	12	12	13	14	16	19	16	14	12	15	16%											
	80～89歳	43	37	38	35	37	36	41	41	39	39	37	41	39	41%											
	90歳以上	51	34	37	41	40	40	34	34	31	33	37	38	38	40%											
	平均	86.2	85.9	88.5	87.0	86.8	86.9	86.3	86.5	86.4	86.9	86.7	87.0	86.8												
地域別	彦根市	39	39	34	32	36	31	36	33	32	30	30	34	34	36%											
	豊郷町	20	11	14	14	11	14	11	14	14	13	15	10	13	14%											
	甲良町	18	17	14	14	16	16	20	19	18	15	13	15	16	17%											
	多賀町	12	9	7	8	8	9	6	9	8	8	8	7	8	9%											
	愛荘町	20	11	13	15	12	14	14	12	17	14	14	16	14	15%											
	東近江市	6	5	4	4	4	5	3	5	5	7	6	5	5	5%											
	その他	4	4	4	5	5	4	2	1	4	4	4	3	4	4%											
入退所先		入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所																	
	家庭	9	8	9	6	7	7	14	4	5	7	4	7	10	12	9	6	19	9	3	7	8	7	14	13	
	社会福祉施設		4		7	7	3		4		4		2	1	4		6		2		3		1	2	2	
	病院(一般)	3	1	1			2	2	2	1	3	11	1		1					2				3		
	豊郷病院	8	4	7	4		3	5	6	8	3	9		6	3				3	5	2	1	3	4	4	
	老人保健施設																							1		
	その他	1	1	1	1		1		2	2	3	2		1		2	1	1	3	1	1		3		2	
計	21	18	18	18	14	14	21	18	17	18	18	20	19	19	19	13	21	17	9	13	11	14	24	21		

デイケア稼働・利用状況

2023年度

パストラルとよさと

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均	
稼働日数		20	20	22	20	21	20	21	20	20	19	19	20	20	
一日平均		12.4	13.2	13.5	12.2	12.3	14.7	15.9	15.9	14.5	13.4	14.3	15.8	14.0	
// (前年度)		13.8	13.9	11.0	13.7	12.6	14.4	14.9	14.4	14.3	13.7	11.5	12.4	13.4	
月平均稼働率(%)		61.8	66.0	67.7	60.8	61.7	73.5	79.3	79.5	72.5	66.8	71.3	79.0	70.0	
利用実人数	デイケア	42	42	43	39	38	43	46	46	46	45	45	44	43	92%
	予防デイケア	3	4	4	4	6	4	4	3	3	2	3	3	4	8%
	男	15	16	18	17	18	20	20	19	17	19	17	18	18	38%
	女	30	30	29	26	25	27	30	29	28	28	31	29	29	61%
	合計	45	46	47	43	44	47	50	49	49	47	48	47	47	
利用延人数	介護	230	237	266	226	229	272	314	303	276	246	260	302	263	93%
	予防	17	27	32	17	30	22	19	15	14	8	11	14	19	7%
	利用総合計	247	264	298	243	259	294	333	318	290	254	271	316	282	
平均介護度		2.59	2.69	2.43	2.56	2.50	2.60	2.54	2.75	2.80	2.60	2.58	2.70	2.61	
平均年齢		83.7	84.5	85.0	85.1	84.1	84.2	84.3	84.3	84.5	84.5	84.4	84.3	84.4	
短期集中個別リハ 実人数		1	1	1	1	2	3	4	3	3	1	1	0	2	
// 延回数		4	11	15	4	10	21	27	16	11	7	3	0	11	
認知症短期集中(延)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
重度療養管理加算(延)		0	0	0	0	0	3	8	7	8	5	0	0	2.6	
入浴加算(延)		69	74	70	49	45	53	70	61	61	53	59	74	61.5	
栄養スクリーニング加算		0	39	0	0	0	0	0	42	0	0	0	0	7	
栄養アセスメント加算		41	39	38	35	35	39	42	41	40	40	41	43	40	
口腔機能向上加算(延)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
提供体制加算 4		227	233	266	224	230	267	312	302	272	236	260	301	261	
// 3・2・1		3	4	0	1	1	2	2	1	3	3	0	1	2	
リハマネジメント加算A		26	24	24	23	23	22	23	22	22	21	21	21	23	
リハマネジメント加算B			18	17	16	15	20	23	23	22	22	23	23	20	
曜日別	月	13.3	14.6	14.2	12.2	10.8	14.3	16.3	16.5	14.3	15.0	14.0	15.0	14.2	71.0%
	火	13.0	13.2	13.5	12.7	14.0	16.7	16.2	14.8	14.5	14.3	15.3	17.3	14.6	73.1%
	水	9.8	10.2	10.2	9.2	8.8	10.2	13.2	13.6	11.8	10.3	12.3	13.0	11.1	55.3%
	木	12.8	14.7	15.2	15.0	15.4	17.2	16.3	17.8	15.5	12.8	14.2	16.0	15.2	76.2%
	金	13.5	13.3	14.0	11.5	13.0	14.8	17.3	18.0	16.5	15.0	16.0	16.4	14.9	74.7%
地域別	彦根市	11	12	13	12	11	11	11	11	11	10	9	6	11	23%
	豊郷町	16	15	16	15	17	20	22	21	18	20	18	21	18	39%
	甲良町	8	8	8	8	7	7	8	8	7	7	7	7	8	16%
	多賀町	3	3	3	3	5	5	5	4	3	4	4	4	4	8%
	愛荘町	7	8	7	6	4	6	6	8	8	10	10	9	7	16%
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%



概要

ケアプラン作成・給付管理業務・介護相談や代行手続き業務・施設紹介
関係機関との連絡調整・家庭訪問・認定調査受託（介護保険調査）等

定員 39人／介護支援専門員 1人

職員 マックスとよさと

管理者 山口 康子

所長 高田 奈緒

村上 真有美

堤 香菜子

マックスひこね

管理者・所長 西野 祐生

上田 紀子

三浦 麻知子

事業経過

マックスとよさととは職員4名体制、マックスひこねは職員3名体制で、各市町、医療・介護の連携の推進・地域共生社会の実現を意識して事業を継続しています。感染予防に努め、訪問や会議、入退院支援等で顔の見える関係を持続し、利用者の意向に寄り添えるように柔軟な対応を実践しました。また、ケアマネジャーの専門性を高める各種研修会への積極的参加、他法人の事業所を交えての勉強会を2回実施しています。

【年間実績】

	新規	終了	給付数
マックスとよさと	48	27	1,304
マックスひこね	43	37	1,133

【委員会】

①感染症対策委員会… 高田奈緒 西野祐生 ※介護事業部

4月10日/5月15日/6月6日/7月4日/12月14日

②高齢者虐待防止検討委員会…村上真有美 三浦麻知子 ※介護事業部

5月26日/7月28日/9月29日/11月24日/1月26日/3月22日

職員研修

※定期開催 彦根市ケアマネジメント支援会議 ・ 地域包括すばるNETカフェ
ことう地域チームケア研究会

<2023年～2024年>

- 6月15日「COPDの自立支援」
- 7月14日/11月22日「介護給付費適正化研修会」
- 8月24日/1月15日「管理者ミーティング」
- 9月13日「入退院支援ルール評価検討事業 病院・介護支援専門員拡大会議」
- 9月13日/9月15日「滋賀県災害派遣福祉チーム（しがDWAT）フォローアップ研修」
- 9月15日「地域資源としての身元保証制度の仕組みづくり」
- 9月15日「在宅ケア現場における暴力・ハラスメント対策について」
- 9月21日「排泄ケアマネジメント研修会」
- 9月29日「死を前にした人に向き合う心を育てる」
- 10月13日「相談支援における情報の捉え方・活かし方」
- 11月13日「BCP策定モデル事業報告会」
- 12月12日「主任介護支援専門員フォローアップ研修」
- 12月14日「在宅現場における利用者・家族からの暴力ハラスメント対策研修会」
- 12月16日/12月17日/1月27日/1月28日「ワークサポートケアマネージャー養成研修」
- 2月7日「福祉現場における虐待防止研修会」
- 2月14日「認知症研修会」
- 2月14日「連携について考える～様々な地域資源との連携～」
- 3月5日「介護サービス事業所・施設管理者等研修～介護保険制度改正・介護報酬改定への対応～」

【出務報告】

- ①主任介護支援専門員地域同行型実地研修部会
6月30日/7月11日/8月2日/8月4日/12月6日/12月8日/1月15日
- ②滋賀県COVID-19コントロールセンター
4月3日/5月24日/8月8日/
- ③介護職員初任者研修
6月29日/9月5日/9月19日/

④ 彦根市デイサービスセンター **きらら** (通所介護・介護予防通所介護)

概要

所在地 彦根市川瀬馬場町1015 - 1
 建物・構造 鉄骨平屋建
 敷地 3,100㎡
 実施時間 月曜日～土曜日
 きらら：午前9：50～午後15：55
 (休日：日曜日、年末年始 12/29～1/3)

サービス地域 彦根市(全域)
 豊郷町・甲良町(一部)
 定員 1日40名(介護予防を含む)
 職員配置 (2024年3月末現在)
 所長 土川 裕人
 主任 池野 昭彦
 相談員 2名
 介護職員 12名
 看護師 2名
 運転手 2名
 作業療法士 1名

事業経過

1日30名を目標に対して1日25名と下回る結果となった。5月末に入浴設備が故障し、取り換えが必要となり彦根市と協議を繰り返し12月に設備の入れ替えが完了し再開するが、6か月間は代替サービスで事業を継続するも新規の受け入れの減少や欠席もあり、稼働率等に影響があった。

また、今年度はコロナも5類となりボランティア活動の受け入れを再開し、4グループ程度が再開して下さり利用者の方も喜ばれ、新たな活気が出てきた。

利用実績(きらら)

*その他：月内の申請中の利用者

	開所 日数	令和6年3月末現在 登録者数										その他	計
		介護度による区分											
		非該当	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	25	0	0	4	5	22	12	18	12	4	0	77	
5月	27	0	0	4	5	20	13	19	11	3	0	75	
6月	26	0	0	3	6	17	16	18	8	3	2	73	
7月	26	0	0	3	4	16	16	18	9	3	1	70	
8月	27	0	0	3	3	14	17	17	10	3	1	68	
9月	26	0	0	2	3	14	17	16	10	3	0	65	
10月	26	0	0	2	4	14	16	16	9	3	2	66	
11月	26	0	0	2	4	16	13	15	12	3	0	65	
12月	24	0	0	3	3	16	13	14	10	3	1	63	
1月	24	0	0	3	4	17	14	13	12	2	0	65	
2月	25	0	0	3	3	14	16	13	9	2	1	61	
3月	26	0	0	4	3	14	16	14	8	4	0	63	
計	308	0	0	36	47	194	179	191	120	36	8	811	

	1日 あたりの 利用者数	利用者数(延べ人数)										その他	計
		介護度による区分											
		非該当	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	29	0	0	15	38	202	122	197	96	52	0	722	
5月	28	0	0	15	38	197	130	234	98	44	0	756	
6月	28	0	0	13	42	149	151	230	70	47	21	723	
7月	28	0	0	12	30	139	172	226	87	48	12	726	
8月	25	0	0	7	19	120	178	205	83	43	11	666	
9月	26	0	0	9	20	120	166	217	99	47	0	678	
10月	27	0	0	8	29	128	159	203	94	46	24	691	
11月	26	0	0	7	27	153	141	178	121	52	0	679	
12月	25	0	0	12	17	121	133	163	101	31	12	590	
1月	23	0	0	12	19	124	133	130	103	31	0	552	
2月	23	0	0	12	21	111	162	133	104	18	4	565	
3月	22	0	0	14	21	117	165	149	110	46	0	622	
計	25.833	0	0	136	321	1,681	1,812	2,265	1,166	505	84	7,970	

職員研修

施設外

開催日	研修名	内容	対象者
6/13	身体拘束ゼロセミナー	その人の尊厳が守られた生活を支えることについて、身体拘束の理解と緊急やむを得ない場合を問い直す視点について。	1名
6/20	風水害のBCP	通所部会において、BCPのモデル事業の報告。	1名
7/6・31	滋賀の福祉人・介護人材育成研修(中堅)	福祉従事者としての姿勢とあり方・権利擁護の視点・自己決定支援について。	1名
8/21	滋賀の福祉人・介護人材育成研修(中堅)	他事業所の介護職員との意見交換を通して、自身の目指す姿を考える。	1名
9/4・11	滋賀の福祉人・介護人材育成研修(中堅)	介護過程の展開、包括ケアの取り組み、チーム介護について。	1名
10/18・25	認知症介護実践者研修	認知症ケアの理念、倫理・疾患の理解、権利擁護、社会資源について。	1名
11/1・16・22	認知症介護実践者研修	認知症ケアの実践展開と共有、アセスメントとケアの実践の基本について。	1名
15	看護・介護現場における暴力・ハラスメント研修	利用者・家族からの職員に対する精神的暴力(悪質クレーム)・ハラスメント対策の共有と対応方法について。	1名
29	認知症介護基礎研修	認知症介護の理解と対応の基本・認知症ケアの実践上の留意点について。	1名
2/1	安全運転管理者講習	県下及び管轄の交通事故について。 安全運転の心得、職場における安全運転について。	1名

外部研修終了後に職員に伝達講習(報告会)を実施。

施設内

開催日	研修名	内容	対象者
4月	緊急時の対応について	送迎・入浴・利用時の緊急対応について。不参加者は資料回覧。	16名
5月	経営方針と基本方針 倫理・法令遵守	倫理と法令遵守、施設の経営方針について。 不参加者は資料回覧。	18名
6月	感染予防	施設内及び送迎車内での吐物処理について。 不参加者は資料回覧。	18名
7月	身体拘束	身体拘束ゼロセミナーの報告と施設における身体拘束と対応について。 不参加者は資料回覧。	18名
8月	内服	介護職員の服薬介助について。 不参加者は資料回覧。	18名
9月	高齢者虐待防止	施設内における高齢者虐待について。	18名
10月	個人情報とプライバシー	個人情報とプライバシーの取り扱いについて。	18名
	BCP訓練 (机上訓練)	地震を想定して、発災から2日間の対応。 17日、施設内における想定と対応について。 24日、法人で集まり、各施設からの報告・検討会。	17日(18) 24日(1)
11月	加算について	現在さららで取らせていただいている加算について内容や意味等を再確認する。	18名
	認知症	認知症高齢者と介護者(家族)の思いと認知症ケアの環境(人的、物的等)配慮について。	18名
12月	感染予防	感染予防と防護服の着脱について。	18名
1月	高齢者虐待防止	ストレス、不適切ケア、自己のストレスとの向き合い方等について介護事業部合同で、グループワークを行う。不参加者は資料回覧。	17名
	ITと個人情報保護	ネットや電子カルテにおけるウイルス被害とその対策について。不参加者は資料回覧。	16名
2月	事故再発防止	事故再発防止につなげられるよう危険予知トレーニングを学ぶ。 ひやりはっとの活用をしていくよう再度周知する。	18名
3月	人権学習	DVD研修「アサーションで防ぐセクシャル・ハラスメント」を見てコミュニケーション能力を身につける。	18名

自主事業(行事)

開催日	事業(行事)名	内容・回数	参加者数
5/4~5	菖蒲湯	季節のお風呂「菖蒲湯」を行う。リラックス効果もあり無病息災や様々な効能のある菖蒲湯を楽しんでいただく。	1日15名程度
5/12	梅ジュース作り	きららの中庭で取れた梅を使って梅シロップ作りを行う。	5名
5/18	春季避難訓練	火災を想定しての訓練と避難についての説明を行い、防災クイズを行う。	22名
7/1~6	七夕笹飾り作り	みどり幼稚園から頂いた笹に、飾りや短冊付けを行う。	1日10名程度
8/21~26	夏祭り行事	夏祭りレク(スイカ割り、射的、金魚釣り)を楽しんでいただき、職員と一緒に花笠音頭を踊り、おやつにフルーツポンチを味わう。	1日30名程度
9/13	おやつ作り	懐かしのおやつ「ふな焼き」を作って、おやつの時間に食べていただく。	6名
18~23	敬老会	ビンゴゲームや職員の出し物を見て楽しんでいただく。	1日30名程度
10/18~24	運動会	紅白に分かれて、座布団運び、玉入れ、借り物競争、応援合戦などを行う。	1日30名程度
31	秋季避難訓練	火災を想定しての避難訓練を行う。訓練後に防災クイズ等を行う。	26名
11/3~30	文化祭	文化祭行事で利用者・職員の作品展示を行う。	1日30名程度
12/20~23	ゆず湯	冬至でゆず湯を行い、季節感を味わっていただく。	1日20名程度
12/25	クリスマス行事	ケーキ作りを行う。(おやつの時間にいただく)また、職員のハンドベル演奏を楽しんでいただく。	26名
1/15~20	新春ビンゴ大会	年初めの「運試し」としてビンゴゲームを楽しんでいただく。	1日20名程度
2/3	節分	職員が鬼役となり、利用者さんに豆まきをしていただく。	20名
12	開所イベント	22周年記念行事。利用者の方々に感謝を込めてお祝い膳と紅白饅頭でお祝いさせていただきます。	31名
3/4	ひな祭り	皆さんでひな祭りをお祝いしながら、ひなあられを用意し、楽しい時間を過ごしていただく。	32名
毎月1回	イベントメニュー	季節の食材や行事にちなんだ食事を提供し、視覚、聴覚、嗅覚で食事を味わっていただく。	1日30名程度
毎月	ボランティア来所	様々なボランティアさんに、定期的に来ていただき、楽器演奏や劇、紙芝居などを見て、聞いて楽しんでいただく。	1日30名程度
毎月	お誕生会	誕生月の方を利用者皆さんに色紙をプレゼントし、お祝いさせていただきます。	1日30名程度

彦根市グループホーム **ゆうゆう** (認知症対応型共同生活介護)

概要

職員 所長 小島 由香里
介護職 常勤：5名
非常勤：4名

特色・実績

要支援2、要介護1～5の認知症高齢者。介護度に拘らず、その時々の利用者の状況を勘案し、入退居判定会議の上で決定。

事業経過

令和5年度は3名の入退居がありました。

大きな事故や急変もなく、入居者9名全員が健康に過ごすことが出来ました。

年齢や体力、認知症のレベルに応じた事柄をしていただく事で、入居者一人一人が役割を持ち、達成感・やりがいを感じながら小規模な施設内でゆったり・のんびり過ごしておられます。買い物や季節に応じた外出を行い、視覚・聴覚で、肌で外気に触れる事で季節を感じていただけるようにしています。

定期的に季刊誌を発行し、家族や地域、関係機関などに配布し、施設内の様子などをお知らせしています。

また、月に1回【ご様子報告】として入居者の日頃の様子を写真と書面にて、ご家族にお伝えしています。

利用状況

R5 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6 1月	2月	3月
9.0名	8.8名	8.4名	9.0名	8.0名	8.0名	6.5名	7.0名	7.9名	9.0名	8.0名	9.0名

職員研修

開催日	研修名	内容	対象者
6/19	令和5年度介護サービス事業者等感染対策推進事業	感染管理に関する知識と技術を習得し、介護サービス事業所における感染対策の充実・強化を図る。	小島
11/29	滋賀県認知症介護基礎研修	認知症高齢者の尊厳を守り、認知症の世界を生きる本人を理解する。認知症ケアに携わる者が、最低限の知識と技術を学ぶ。	高橋
1/15 ～1/24	2023年度第2回高齢者虐待防止研修会	各介護事業所で不適切ケアに気付き、改善し、虐待を防止するために、介護関連事業部全体で意見交換し意識改革を図る。(zoom)	職員全員 (8名)
2/8 ～2/28	2023年度個人情報保護対策・ITセキュリティ対策研修会	左記の期間中に研修動画を観て、思ったことや今後に活かそうな事を記載していく。	職員全員 (8名)
2/15 ～2/29	2023年度人権研修会 “アサーションで防ぐセクシュアルハラスメント”	左記の期間中に研修動画を観て、思ったことや今後に活かそうな事を記載していく。	職員全員 (8名)

④ 彦根市地域包括支援センター **きらら** (担当学区：河瀬・亀山・城陽・若葉)

概要

設立	平成24年4月	業務内容	①総合相談業務
営業日	月～土		②介護予防
営業時間	8時30分～16時50分 (土曜日のみ8時30分から12時40分)		ケアマネジメント業務
利用料	無料		③包括的・継続的
担当学区	河瀬・亀山・城陽・若葉		ケアマネジメント業務
職員	所長(管理者) 上田 康正		④権利擁護業務
	社会福祉士 上田 康正 濱田由紀子		
	主任介護支援専門員 青峰 龍誓 坂田 健一		
	保健師 高橋 ひとみ		

事業経過

コロナが明け地域活動は活発になっている。各学区地域のサロンや見守り会議、民生委員児童委員連絡協議会へも出席し、地域状況の把握や情報交換・情報共有の場として活用し、個別ケース介入へも繋げている。亀山学区では彦根市社協と協働し住民互助の助け合いグループの立ち上げにも携わり、河瀬学区では地域住民と地域を考える会議を検討する為に年度2回民生委員と意見交換会を実施。また担当圏域内の介護支援専門員向けの勉強会も二か月に1回集合型で企画し、関係構築と個々のスキルアップに繋げる取り組みをしている。

利用状況(実績報告)

総合相談

年間延べ回数

相談内容 相談方法	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
	介護方法	医療	認知症(疑いを含む)	保険・福祉サービス等	実態把握	介護保険	福祉用具等	施設入所・退所等	住宅改修	虐待(疑いを含む)	権利擁護	消費生活	金銭管理困難	介護保険外サービス	近隣トラブル	苦情
電話	0	135	30	4	65	181	20	10	5	20	0	0	2	4	0	1
来所	0	9	6	0	10	32	2	3	0	4	1	0	0	0	0	0
訪問	0	72	9	1	160	310	28	2	7	5	1	0	12	4	0	0
その他	0	2	1	0	1	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
計	0	218	46	5	236	527	50	15	12	30	2	0	14	8	0	1

相談内容 相談方法	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	年間累計
	経済的問題	安否確認	医療機関の入退院	在宅看取り	障害福祉	精神障害	ケアマネジメント	生活支援	介護予防	家族支援	支援拒否	申請手続き支援	他機関への引継ぎ	その他	
電話	16	6	81	0	3	14	17	42	0	11	0	0	1	27	695
来所	2	0	4	0	0	0	0	3	0	2	0	0	1	3	82
訪問	5	4	23	0	0	10	10	11	0	2	0	3	7	5	691
その他	0	0	4	0	2	3	0	2	0	0	0	0	0	1	21
計	23	10	112	0	5	27	27	58	0	15	0	3	9	36	1,489

指定介護予防支援事業（予防支援給付件数）

延べ件数

請求対象月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
地域包括支援センター 給付件数	166	166	170	167	163	168	170	169	170	168	162	162	2,001

- ・ 総合相談支援のためのネットワーク構築の取り組み 47回
- ・ 包括的、継続的ケアマネジメント支援のための取り組み 80回
- ・ 地域ケア会議 定期ケア会議（軽度認定者） 5回
 随時ケア会議（支援困難等） 7回
 地域包括支援センター単位地域ケア会議 2回

職員研修

研修日	研修参加者の職種・氏名	研修内容	内部・外部研修の区分
4月19日	上田康正 社会福祉士	事例から学ぶ成年後見制度	外部 (zoom)
5月19日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	彦根愛知犬上介護支援連絡協議会総会・記念公演 「介護支援専門員の仕事の魅力」	外部
6月13日	濱田由紀子 社会福祉士	身体拘束ゼロセミナー	外部 (zoom)
6月29日	坂田健一 主任介護支援専門員	認知症の疾患理解	外部
8月3日	全職員	感染症合同勉強会	内部
8月9日～	上田康正 社会福祉士	専門課程Ⅱ研修	外部(zoom) + 外部現地
8月26日 9月2日	上田康正 社会福祉士	社会福祉士実習指導者講習会	外部
9月13日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	入退院支援ルール	外部
9月14日	上田康正 社会福祉士	ことう地域チームケア研究会 「お薬の話 がん患者の在宅療養とお薬」	外部 (zoom)
9月15日	上田康正 社会福祉士	地域資源としての身元保証制度の仕組みづくり	外部
9月21日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	認知症キャラバンメイト養成研修	外部
9月21日	高橋ひとみ 看護師	排尿支援員フォローアップ研修	外部
10月24日	濱田由紀子 社会福祉士	相談機関交流会	外部
10月24日	上田康正 社会福祉士	法人内BCPシミュレーション研修	内部
11月13日	上田康正 社会福祉士	BCP策定モデル事業報告会	外部
1月17日	上田康正 社会福祉士	自殺対策研修会	外部
11月28日	濱田由紀子 社会福祉士	医療ガス安全研修	内部
12月7日	全職員	ケース事例検討	内部
12月12日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	主任ケアマネフォローアップ研修	外部

12月14日	上田康正 社会福祉士	感染BCP研修	外部 (zoom)
12月19日	全職員	ケース事例検討	内部
1月10日～	濱田由紀子 社会福祉士	介護支援専門員実務者研修	外部 (zoom) + 外部現地
1月15日	上田康正 社会福祉士	管理者ミーティング	外部
1月15日～	全職員	法人介護事業部虐待防止研修	内部 (zoom)
1月16日	上田康正 社会福祉士	災害ケースマネジメント研修	外部 (zoom)
1月18日	全職員	ケース事例検討	内部
1月18日	上田康正 社会福祉士	ことう地域チームケア研究会「緩和ケアとACP」	外部 (zoom)
1月21日	上田康正 社会福祉士	ALS講演会	外部 (zoom)
2月1日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	安全運転管理者講習研修	外部
2月10日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	滋賀県医療ソーシャルワーカー協会研修会	外部
2月13日	高橋ひとみ 看護師	病院・介護支援専門員拡大会議	外部
2月16日	全職員	ケース事例検討	内部
2月19日	青峰龍誓 主任介護支援専門員	相談機関交流会	外部
2月21日	上田康正 社会福祉士	難病医療ネットワーク研修	外部 (zoom)
3月8日	全職員	ケース事例検討	内部
3月12日	上田康正 社会福祉士	介護報酬改定研修	外部(zoom)
3月27日	全職員	ケース事例検討	内部

甲良町デイサービスセンター **けやき** (通所介護、第一号通所事業)

概要

所在地	犬上郡甲良町在士625	職員	
建物・構造	鉄骨平屋建	管理者	林 和弥
敷地	約2,820㎡	介護職員	8名(うち1名、事務職員兼務)
延床面積	201.68㎡	看護職員	3名
定員	1日25名(月～土)	生活相談員	1名
実施時間	午前9:20～午後16:25 (休日:日曜日、年末年始(12/29～1/3))	環境整備員	3名(清掃員1名、厨房業務2名)

事業経過

安定した経営を目指すも、常連層の入所等による多数離脱後のリカバーは難しく、デイの収入は大幅にダウン。また、GHへの配属が難しかった人材をデイに配置したことで人件費も大幅に高騰。過去に例を見ない厳しい結果となった。

甲良町からの委託事業の介護予防普及啓発事業では、堀尾師長を招いて認知症フォーラムを開催することが出来た。また、認知症カフェ事業は毎週木曜日に実施。カフェ利用者の送迎を行う外出支援事業も実施。家族介護支援事業(笑福の会)は今年度を最後に終了することになる。

TQMをきっかけに、地域に向けた活動(あいさつ、ゴミ拾い等)を開始することができた。今後も地域に関わっていけるよう、サステイナブルな活動として継続予定。

利用状況

月延人数(名)

	開所日数	各月末登録者数								
		介護度による区分								計
		非該当	要支援1 事業対象者	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	25	0	1	3	10	14	13	4	3	48
5月	27	0	1	3	11	14	10	4	3	46
6月	26	0	1	3	11	13	10	4	1	43
7月	26	0	1	4	9	13	9	6	0	42
8月	27	0	1	3	9	13	8	4	1	39
9月	26	0	1	3	9	13	7	4	0	37
10月	26	0	1	3	7	16	7	5	1	40
11月	26	0	1	2	6	15	7	5	1	37
12月	24	0	1	2	6	15	7	5	0	36
1月	24	0	1	3	9	13	7	5	0	38
2月	25	0	1	3	10	13	8	4	1	40
3月	26	0	1	3	10	13	9	5	1	42
計	308	0								

延人数(名)

	1日あたりの 利用者数	利用者数(延人数)								
		介護度による区分								計
		非該当	要支援1 事業対象者	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	17.12	0	4	19	97	148	120	28	12	428
5月	16.74	0	4	23	112	167	101	35	10	452
6月	15.03	0	5	21	112	134	84	33	2	391
7月	15.26	0	4	23	87	134	99	50	0	397
8月	12.96	0	4	15	92	133	65	39	2	350
9月	14.46	0	5	21	93	149	75	33	0	376
10月	15.34	0	4	20	69	181	72	43	10	399
11月	13.50	0	3	12	58	184	65	27	2	351
12月	13.91	0	4	12	63	160	63	32	0	334
1月	13.45	0	3	16	75	142	61	26	0	323
2月	15.36	0	4	20	92	162	60	34	12	384
3月	16.15	0	5	22	106	171	73	35	8	420
計	179.28	0	49	224	1,056	1,865	938	415	58	4,605
平均	14.94									

職員研修

開催年月日	研修内容	主催者	講師
2023年8月28日	認知症キャラバンメイト養成講座	4町(甲良・愛荘・多賀・豊郷)オレンジファイブ	豊郷病院認知症疾患医療センター長 成田 実医師
2023年9月9日 ～9月30日	高齢者虐待防止研修 「不適切ケアについて」	高齢者虐待防止検討委員会	—
2023年11月10日	感染研修～感染対策の基礎知識～	けやき研修委員会	—
2024年1月15日 ～1月24日	高齢者虐待防止研修 「不適切ケア意見交換会」	高齢者虐待防止検討委員会	—
2024年2月1日	安全運転管理者講習	安全運転管理者協会	—
2024年3月	人権研修「アサーションで防ぐセクシャルハラスメント」	人権教育推進委員会	—


甲良町グループホーム 5く5く (認知症対応型共同生活介護)
概要

所在地 甲良町在士625
 建物・構造 木造平屋建
 敷地 約2,820㎡
 延床面積 275.75㎡
 定員 9名
 職員 所長 山崎 京子・10名

利用状況

2023年4月1日～2024年3月31日
 平均月間9名

事業経過

- ・2024年はコロナ禍まへの生活にもどりつつあり、入居者の方々には、いろいろな行事に参加して季節を感じていただいて、生き活きとした生活が出来る工夫を行います。
- ・チーム一丸となってTQM活動への取り組みを行います。

職員研修

開催年月日	研修会名称	参加者数
2023年9月1日	高齢者虐待防止 「不適切ケアについて」	全職員
2023年11月10日	人権研修 「アサーションで防ぐセクシュアルハラスメント」	全職員
2024年1月17日	高齢者虐待防止 ZOOM	全職員

認知症初期支援チーム

オレンジファイブ (愛荘町、甲良町、多賀町、豊郷町からの委託事業)

所在地 パストールとよさと内

設立 平成28年4月

チーム員 5名

(医師1名、看護師2名、社会福祉士2名)

事業経過

活動内容

- ・認知症が疑われる方又は認知症の方に対し、自宅を訪問し、相談に応じる。医療サービスや介護サービスの利用へつなげるための支援を集中的に行う。
- ・医療サービスや介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している家族への相談支援。
- ・認知症に関する啓発活動

令和5年度実績報告

- ・新規ケース 18例 (相談のみ2例)
- ・前年度からの継続者 4例
- ・終了者 10例
- ・紹介経路 地域包括支援センター 17例 開業医 1例
- ・新規利用目的 (重複あり)
 - 相談支援 (生活状況をみながら適切なサービスにつなぎたい) 5例
 - 家族支援 9例 介護サービス利用につなぎたい 8例
 - 医療につながっていない 3例 認知症専門医につなぎたい 6例

毎月の活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問	4	10	3	7	3	5	9	10	7	6	10	5
電話	4	7	1	6	1	1	7	5	5	7	8	10
来所 相談	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0

- ・毎月1回チーム員会議開催 (第4木曜日)

会議等への参加

- 7月3日 認知症疾患センターオアシス外来にて個別ケースカンファレンス
- 10月17日 担当者会議（個別）
- 10月27日 事例検討会（愛荘町）
- 11月6日 担当者会議（個別）
- 11月11日 担当者会議（個別）
- 令和6年
- 1月15日 事例検討会（甲良町）
- 2月16日 湖東圏域認知症会議
- 3月13日 担当者会議（個別）
- 3月18日 認知症の人やご家族等の交流、意見交換の場（米原市役所）

啓発活動

- 4月20日 認知症サポーター養成研修（スーパー丸善職員）
- 6月4日 「認知症予防について」（愛荘町石橋サロン）

職員研修

- 8月28日 キャラバンメイト養成研修会（豊郷町 隣保館にて。受講者36名）
- 11月13日 ケアマネ研修会 「BPSDに応じた向精神薬などの使用と効果について～医師の狙いと家族や支援者の対応～ 講師：認知症疾患センター 成田 実 医師（豊郷町役場会議室にて）
- 2024年
- 1月23日 キャラバンメイトフォローアップ研修（竜王町にて）
（愛荘、甲良、多賀、豊郷、日野、竜王町のキャラバンメイト71名参加）

活動評価

令和5年度は、COVID-19も感染症分類5となり、感染予防に注意しながら以前のように集合しての啓発活動も行えるようになった。4町（愛荘町、甲良町、多賀町、豊郷町）の住民を対象としたキャラバンメイト養成講座の企画・開催や、滋賀県内6町（愛荘、甲良、多賀、豊郷、日野、竜王）のキャラバンメイトを対象にしたフォローアップ研修の企画・開催を行った。6町でのフォローアップ研修では、「自分たちの住む町でこれからどのような活動をしていきたいか」のグループワークを実施、他の町のキャラバンメイトと交流、意見交換することでモチベーションのアップ、今後の活動の参考になったという声が多数あった。

訪問実績については、新規利用者数は昨年より多かった。介護認定を受けており、家族が介護サービス利用を希望しても、比較的若い世代の70代でADLが自立している本人が利用を拒否するケースに関しては対応が難しいと感じた。また、高齢者世帯や独居世帯は生活実態が把握しづらいことも多く、地域ぐるみの支援の必要性を感じた。

Ⅲ

教育研究事業の部

臨床精神医学研究所は、「内因性精神病の長期経過と転帰に関する研究」を継続いたしました。
また、看護師やコメディカルのための精神医学講座や各種講演会の講師、ならびに外部からの依頼の原稿を引き受けています。毎年発行する臨床精神医学研究所年報は、現在編集中です。
附属准看護学院につきましては2022年3月休校しております。

臨床精神医学研究所 報告

当研究所は「内因性精神病の長期経過と転帰に関する研究」を継続しております。なお、臨床精神医学研究所所長は2023年11月より法人副代表・精神科顧問 波床将材^{はとこまさき}先生が就任致しましたので、前任者林拓二先生同様よろしくお願い致します。

従い毎年発行しておりました臨床精神医学研究所年報は、現在未稿の第13巻は次の巻との合同版として発行計画中です。

編集後記

2023（令和5）年より第11代 代表理事に川上賢三先生が就任されました。

2020年から続いたコロナ感染症は2023年に入って国は5類へ移行しましたが、まだまだクラスターの発生もあって運営に苦慮し、更にまた看護師の流動化にも悩まされました。従いコロナが終息する時のむずかしさを人・物・金の面から感じました。

一方、介護事業の老健では職員が一致協力し目的に向かって努力した結果、類型のうち「超強化型」に移行することができました。

また、整形外科については、外来部門の人員強化と2024年3月から手術体制の復活をすすめ、2024年新年度から整形外科出身の新病院長 難波江正浩先生が就任され更に新たにドクターを迎え、これから念願の手術治療の拡充とリハビリテーションにつなぐ在宅に向けた地域医療に取り組み、更に拡充してまいります。

このような状況のなか2023（令和5）年度版Vol.23の年報を発行致しましたので、ご高覧願いたいと思います。

2024（令和6）年8月 広報委員会・年報編集チーム 山本真弓

2023（令和5年度版） 公益財団法人 豊郷病院 年報 vol.23

発行 公益財団法人 豊郷病院
〒529-1168 滋賀県犬上郡豊郷町八目 12
TEL(0749)35-3001 FAX(0749)35-2159

編集 公益財団法人 豊郷病院 広報委員会

印刷 近江印刷株式会社
滋賀県愛知郡愛荘町川原 771-1
TEL(0749)42-8400(代) FAX(0749)42-6700

豊郷病院

内科・外科・消化器外科・整形外科・消化器内科・呼吸器内科・呼吸器外科・循環器内科・脳神経外科・眼科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・歯科・歯科口腔外科・小児科・婦人科・皮膚科・精神科・心療内科・神経内科
リハビリテーション科・放射線科・血液浄化センター
TEL 0749 (35) 3001 FAX 0749 (35) 2159

認知症疾患医療センター

オアシス

TEL.0749 (35) 5345
TEL.0749 (35) 3003 (夜間・日曜・祝日)

介護老人保健施設 パストラルとよさと

〒529-1169 滋賀県犬上郡豊郷町石畑212
TEL.0749 (35) 3002 FAX.0749 (35) 3122

居宅介護支援センター

MAX マックスとよさと

〒529-1169 滋賀県犬上郡豊郷町石畑212
TEL.0749 (35) 0151 FAX.0749 (35) 3122
(パストラルとよさと内)

居宅介護支援センター

MAX マックスひこね

〒522-0086 滋賀県彦根市後三条町520-1
TEL.0749 (21) 4800 FAX.0749 (21) 2810
(レインボウひこね内)

訪問看護ステーション

レインボウとよさと

〒529-1169 滋賀県犬上郡豊郷町石畑199-7
TEL.0749 (35) 3035 FAX.0749 (35) 4799

サテライト

レインボウはたしよ

〒529-1234 滋賀県愛知郡愛荘町安孫子1216-1
TEL.0749 (37) 8181 FAX.0749 (37) 8182

訪問看護ステーション

レインボウひこね

〒522-0086 滋賀県彦根市後三条町520-1
TEL.0749 (21) 2855 FAX.0749 (21) 2810

訪問リハビリテーション

アイルとよさと

〒529-1168 滋賀県犬上郡豊郷町八目12
TEL.0749 (35) 3001 FAX.0749 (35) 2159
(豊郷病院内)

彦根市デイサービスセンター きらら

彦根市地域包括支援センター
彦根市グループホーム ゆうゆう
〒522-0223 滋賀県彦根市川瀬馬場町1015番地1
TEL.0749 デイサービス (28) 7353 FAX.0749 (28) 9322
支援センター (28) 9323 (28) 9322
グループホーム (28) 7662 (28) 7662

甲良町デイサービスセンター けやき

甲良町グループホーム くらくら
〒522-0244 滋賀県犬上郡甲良町在土625番地
デイサービス TEL.0749 (38) 8181 FAX.0749 (38) 8180
グループホーム TEL・FAX.0749 (38) 8182

オレンジファイブ

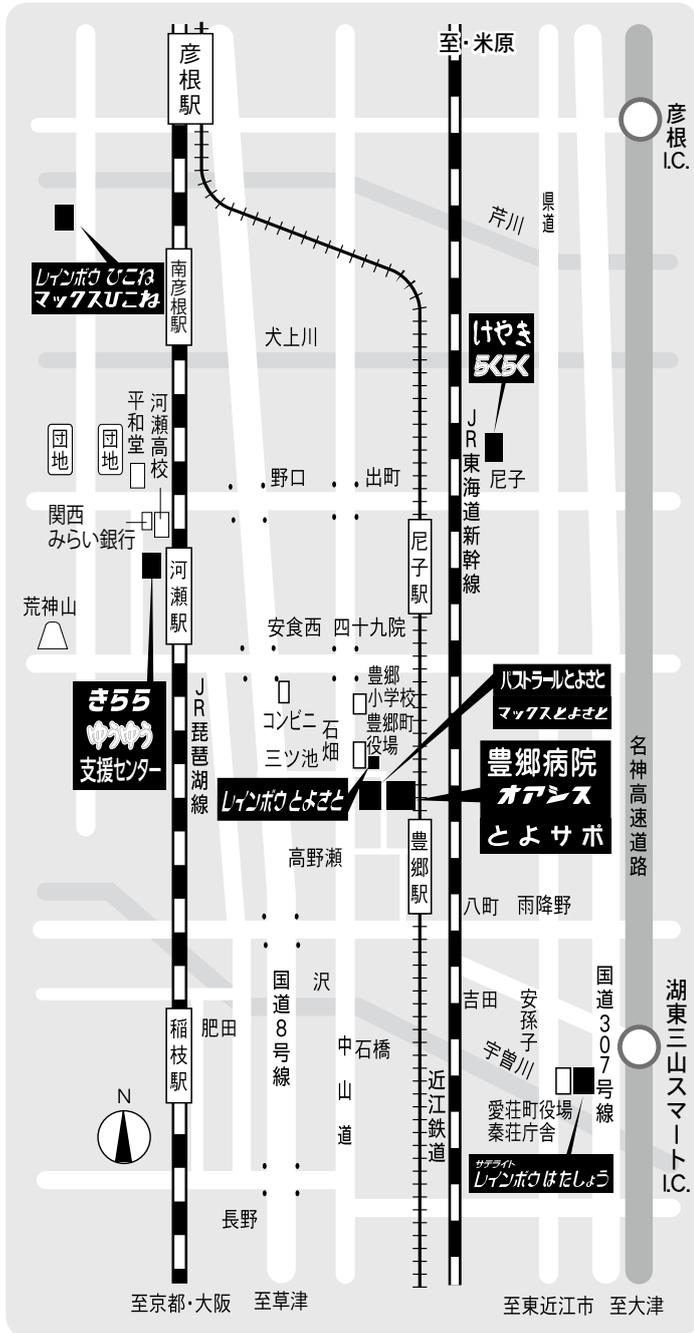
〒529-1169 滋賀県犬上郡豊郷町石畑212
TEL.0749 (35) 3117 FAX.0749 (35) 3122
(パストラルとよさと内)

在宅療養サポートセンター

とよサポ

〒529-1168 滋賀県犬上郡豊郷町八目12
TEL.0749 (35) 5096 FAX.0749 (35) 5097
(豊郷病院内)

グループ施設



交通アクセス

■電車利用の場合

JR河瀬駅または稲枝駅から車で10分
JR彦根駅から車で20分
近江鉄道 豊郷駅から徒歩1分

■車利用の場合

湖東三山スマートI.C.から10分、名神彦根I.C.から20分
国道8号線 高野瀬交差点を東へ5分



公益財団法人 豊郷病院

〒529-1168 滋賀県犬上郡豊郷町八目12
TEL. 0749(35)3001 FAX. 0749(35)2159
<http://www.toyosato.or.jp/>
E-mail:toyosato@toyosato.or.jp